

平成 6 年 度

学 校 教 育 要 覧

日野市教育委員会

日野市立図書館 ☎81-7354



1888849

目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点	1
◇ 学校における課題と指導の重点	2
◇ 東京都教育委員会の教育目標	5
◇ 平成6年度日野市の教育目標及び学校教育の課題・指導の重点の構造	8
◇ 日野市教育委員会学校教育部関係及び日野市立幼・小・中学校(園)行事予定表	9
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画	21
◇ 平成6年度日野市教育委員会研修事業	26
◇ 日野市教育委員会の学校訪問	32
◇ 日野市教育委員会事務局組織	34
◇ 指導主事事務分担	42
◇ 日野市立教職員研究室	44
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	47
◇ 日野市立小学校科学教育センター	49
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧	52
◇ 校長・教頭事業担当一覧	54
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表	58
◇ 日野市立小・中学校主任及び担当一覧	60
◇ 研究奨励事業	64
◇ 授業研究主題一覧	67
◇ 都教育研究員等一覧	68
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	69
◇ 就職・進学状況の推移	70
◇ 園児・児童・生徒・学級数	71
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移	73
◇ 日野市公立小中学校施設一覧	74
◇ 避難場所と地区割当表	76
日野市立第一幼稚園	77
" 第二 "	78
" 第三 "	79
" 第四 "	80
" 第五 "	81
" 第六 "	82
" 第七 "	83
日野市立日野第一小学校	84
" 日野第二 "	87
" 日野第三 "	90
" 日野第四 "	93
" 日野第五 "	96
" 日野第六 "	99
" 潤 徳 "	102
" 平 山 "	105
" 日野第八 "	108
" 百 草 台 "	111
" 滝 合 "	114
日野市立高幡台小学校	117
" 日野第七 "	120
" 南 平 "	123
" 程久保 "	126
" 旭が丘 "	129
" 平山台 "	132
" 東光寺 "	135
" 三沢台 "	138
" 仲 田 "	141
日野市立日野第一中学校	144
" 日野第二 "	147
" 七 生 "	150
" 日野第三 "	153
" 日野第四 "	156
" 三 沢 "	159
" 大 坂 上 "	162
" 平 山 "	165

平成 6 年 度

日野市教育委員会の教育目標と重点

教 育 目 標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調として、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動できる市民の育成と生涯を通じて学び続けることのできる学習社会の実現を目指し、次のことを目標にして教育・文化・スポーツの発展・充実を図る。

1. 豊かな心、生きる力としての知識、健やかな体を培うとともに、社会人としての徳性を涵養し、広く国際社会に生きる市民の育成に努める。
2. 自他の生命を尊び、個性と創造性を伸ばし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲の育成に努める。
3. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携のもとに、青少年の健全な育成を図るとともに、郷土を愛する心を培い、地域の自然や文化を大切にする態度の育成に努める。

重 点

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 学校教育における指導内容・方法の改善・充実に努め、生涯にわたる学習の基礎を培うとともに一人一人の個性や能力の伸長を図り、人間性豊かな幼児・児童・生徒を育む教育を推進する。
2. 教育施設・設備の充実に努め、その有効な活用・保全を図るとともに地域社会の人々に広く開放し、社会活動への参加をより一層促進する。
3. 公民館活動並びに図書館・ふるさと博物館の資料及びその機能の充実に努め、市民の学習機会の拡充を図り、文化の向上に寄与する。
4. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用を進めるとともに、指導体制の充実並びに地域における活動組織の育成を図る。
5. 学校週 5 日制への移行に伴い、家庭及び地域社会と学校の教育が一体として働き、幼児・児童・生徒が自ら考え、主体的に判断し、行動できる意欲や態度を育成する。

平成6年度 学校における課題と指導の重点

【教育課題】

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進すべき課題として設定する。

1. 人権尊重の教育の推進

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するために、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底する。

各学校においては、一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、人権尊重の精神を培い、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育む。

2. 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するために、郷土を愛する心を培い、地域社会の一員としての自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を育てる。

各学校においては、学校・地域・関係諸機関等との連携を一層深めるとともに、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れ、地域に根ざした学校教育を推進し、児童・生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を育む。

3. 環境教育の推進

地球上の全ての生命の生存と尊厳に重大な影響をもたらす事象に関心をもちその保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加する態度を育てる。

各学校においては、児童・生徒が全教育活動を通して、自然をいつくしむ心を育てるとともに、環境の改善に主体的に働きかける行動や実践的な意欲、能力、態度を育む。

4. 国際理解教育の推進

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童・生徒を育成するために我が国と諸外国との生活や文化の相違を理解し、これを尊重する態度を育むとともに、コミュニケーション能力の育成に努め、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てる。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割について主体的に学ぶ態度を育む。

【指導の重点】

各学校では、教育研究・研修の充実を図り、教師一人一人が識見や指導力を高めるとともに、家庭・地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開する。さらに、次のことを日常の

教育における指導の重点として、学校教育の一層の充実・向上に努める。

1. 学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動する児童・生徒を育成するために、児童・生徒の発達段階に即して基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、一人一人の能力・適性等の伸長を図り、個性を生かす教育の充実に努める。

各学校においては、次の点に重点をおいて体験的な活動を重視するなど指導内容・方法及び評価の改善を図り、各教科等の基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、個性尊重の教育を進め柔軟な思考力や創造力を育成し、生涯を通して学び続ける意欲と態度を育む。

- (1) 教育課程の編成方針を基に、各学校の教育目標の具現化を目指し、学校の創意を生かした教育課程の編成と実施、評価に努める。
- (2) 小集団による主体的・創造的な学習活動、ティーム・ティーチングによる指導、体験的な学習活動、地域の素材を生かした指導等について研究を推進するとともに、児童・生徒の学習過程に視点を置いた授業研究を進める。
- (3) 多様な指導方法や指導形態を創意工夫することによって、児童・生徒の側に立った学習活動を推し進め、思考力や表現力を一層伸長する。
- (4) 全教育活動を通し、心の教育や生き方にかかわる教育を推進し、豊かな感性や自主性を涵養するとともに、好ましい人間関係を育てる。
- (5) 各教科・領域の学習活動で、積極的に教育機器や、学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し、活用していく能力と態度を育てる。

2. 生活指導・進路指導の充実

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童・生徒を育成するために、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め社会規範を守る態度を育むとともに、全教育活動を通して自己実現を図る能力と態度を育成する。

各学校では、次の点に重点をおき、児童・生徒が生き生きと意欲的に生活することができるよう教育相談を積極的に進め、一人一人の児童・生徒のよさを深く理解し指導・援助するなど、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う。

- (1) 学級経営の充実に努め、一人一人を生かす指導の徹底を図り、児童・生徒の自己存在感を高めるとともに、互いに認め合い、励まし合い、支え合う態度を育成する。
- (2) 児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身につけることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努める。
- (3) 児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進し、地域社会の一員としての自覚を高める。
- (4) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人との関わりを重

視した指導の徹底に努め、健全な児童・生徒を育成する。

3. 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある学校生活を送ることができるようにするために、児童・生徒の心と体の健康づくりに努める。

各学校においては、計画的・組織的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底させ、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育成する。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 全教育活動を通して、性教育を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性やエイズに関する理解を深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう指導・援助する。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。

4. 心身障害教育の充実

児童・生徒一人一人の能力や適性を最大限に伸ばし、積極的に社会参加できるようにするため、教育環境の整備・充実や指導内容・方法の改善・充実に努める。

各学校においては、交流教育や理解教育を積極的に進めるとともに、個別的教育プログラムによる指導の展開等の研究を深め、心身障害教育を充実する。

- (1) 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に即した交流教育を推進する。
- (3) 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実する。
- (4) 個に応じた教育プログラムによる指導方法の工夫改善に努める。

5. 幼児教育の充実

幼児期は心身の発達が著しく、人格を形成する上で重要な時期である。各幼稚園においては、幼児教育にかかわる研究・研修を充実し、幼児の発達にともなう課題を適切にとらえ、具体的な体験を通して、人間形成の基礎となる心情、意欲、態度を育むとともに、豊かな心、健やかな体を培う指導内容・方法の改善・充実に努める。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達に基づき、短期・長期の指導計画の見直しと指導内容・方法等を改善する。
- (2) 基本的な生活習慣や社会性を育み、人間としての在り方生き方の基礎を培う。
- (3) 地域の特性を生かした教育活動を充実し、多様な体験を通して豊かな感性を育み、表現力や人とかかわる力を高める。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者、地域社会との連携を図り、幼児の健全な育成に努める。

※学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

平成6年度 東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童・生徒の育成を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる学習社会の実現を図り、もって、普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化などの社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる学習を促進する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯認識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即してあらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教育を深め、スポーツに親しむことのできる環境を醸成し、生涯学習の振興を図る。

学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常の教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実向上に努めることが大切である。

学校教育の課題

人権尊重の教育の推進

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校のエ育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

また、障害のある人に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないように十分に配慮することが大切である。

社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、人間と環境とのかかわりについて理解を深めるとともに、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を地域社会の人々に広く開放し、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興を図るとともに、児童・生徒の奉仕的な活動など社会活動への参加を一層促進することが大切である。

国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち、世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、国際社会の中に生きる日本人としての自覚を促し、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国の文化や伝統についての理解を一層深めさせる必要がある。

また、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かし、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度を育成するとともに、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させることが大切である。なお、外国人児童・生徒が充実した学校生活をおくることができるよう配慮することが大切である。

◎指導の重点

学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、体験的な活動を重視するなど教育内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に、学習が遅れがちな児童・生徒や心身に障害のある児童・生徒に対しては、一人一人の実態を適切に把握し、能力、適性が十分伸長されるよう指導の徹底に努めることが大切である。

また、情報化社会の進展に対応するため、児童・生徒の発達段階に即して情報を主体的に選択し、活用していく態度と能力を養うことが大切である。

生活指導・進路指導の充実

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

特に、生活指導については、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人とのかかわりを重視した指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。

また、進路指導については、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努めることが大切である。

健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる必要がある。

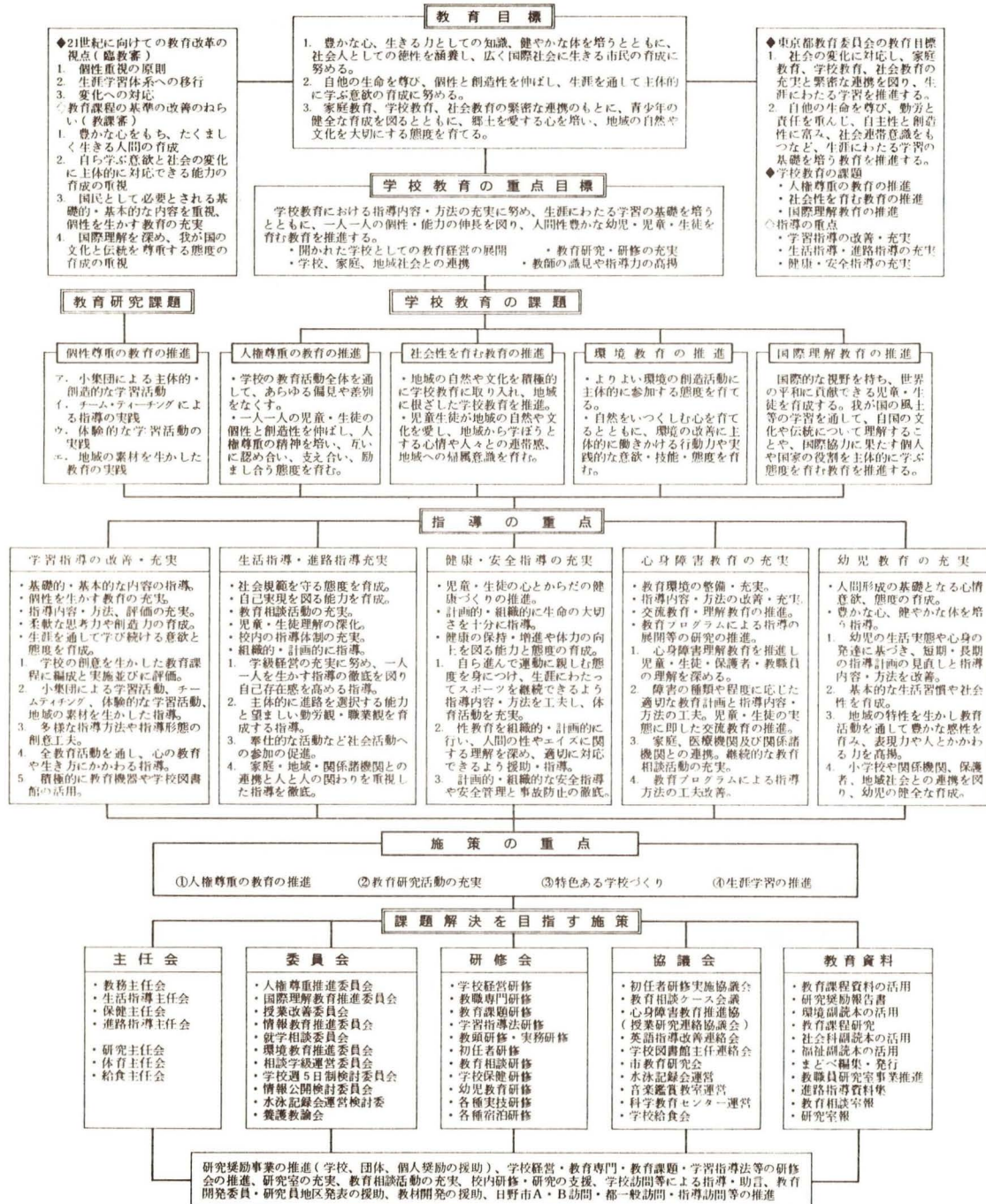
特に、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図る必要がある。

また、性にかかわる指導においては、人間の性やそれとのかかわりの深いエイズなどに関する理解を十分深めさせ、成長過程における課題に対応できるよう援助・指導することが大切である。

さらに、体育活動や日常生活における事故及び交通事故の防止に努めるとともに、地震などの災害に対して、児童・生徒の安全を確保することが大切である。

(注) 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

平成6年度 日野市の教育目標及び学校教育の課題・指導の重点の構造



平成6年度

日野市教育委員会学校教育関係及び日野市立幼・小・中学校(園)行事予定表

平成6年4月1日作成

4 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前、○：午後、□：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	金		○新補・転補校長・教頭辞令伝達式 13:30～14:10(504) ○教職員辞令伝達式 14:30～16:00(市民会館小ホール)		1
2	土				2
3	日				3
4	月	△校長会(504)(502)	○再雇用嘱託員辞令伝達式 13:30～14:00(506) ○初任者研修 14:00～16:00(503)		4
5	火	△幼稚園長会(506)	●第二地区指導連絡会(稲城市)	(春季休業日・終)	5
6	水	△小学校入学式()		△小・中学校始業式 △小学校入学式	6
7	木	△中学校入学式		△中学校入学式	7
8	金	■都市指導主事会定例会・総会() △養護教諭会(505)			8
9	土	(休業日)			9
10	日				10
11	月	△幼稚園入園式		△幼稚園入園式	11
12	火			○教育研究員総会(i)	12
13	水	▲指導主事連絡協議会()	○市教育研究会	○教育研究員総会(2)	13
14	木	▲学校訪問協議会()	◆教育委員会定例会(506)		14
15	金	△教頭会(505)	●新任指導主事研修() ○進路指導主任会()		15
16	土				16
17	日				17
18	月		○小・中学校生活指導主任会(504)		18
19	火	▲体育・保健・給食担当指導連絡()	○小学校体育主任会(504) ○給食主任会()		19
20	水	△初任者研修実施協議会()	○幼児教育研修会(研究室)		20
21	木	△多摩地区指導主事連絡協議会()	○教務主任会(504) ・都教育施策連絡会《委員長・教育長》		21
22	金	▲教員研修担当指導主事連絡協議会()	○保健主任会(505) ○一、二年次教頭研修会(研究室) ●新任指導主事研修()	・ハケ岳移動教室実地 (大成荘)	22
23	土			・ハケ岳移動教室実地 (大成荘)	23
24	日				24
25	月	▲都市指導主事会定例会(府中市教育センター)	○就学相談委員会(研究室) ○学校経営研修会(研究室)		25
26	火	▲生活指導担当指導連絡会() △日野市教育委員会施策連絡会(505)	○授業改善委員会(505) ○心身障害教育推進協議会()		26
27	水	△人権尊重教育推進委員会役員会(506)		○中・開発委員会委員総会	27
28	木	▲外国人児童・生徒教育担当指導()	○学習指導法研修会+初任者研修(研究室) ○相談学級運営協議会()		28
29	金	(みどりの日)			29
30	土			開校記念日(二中)	30
備考		・ハケ岳移動教室実地踏査・大成荘(4/22～23)			

5 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	日			開園（三幼）	1
2	月		●第2地区指導連絡会（八王子市）		2
3	火	（憲法記念日）			3
4	水	（休日）			4
5	木	（子どもの日）			5
6	金	△校長会（505）（502）	○心身障害教育推進協議会・総会（ ） ●新任指導主事研修（ ） ○教育課題研修会（研究室）		6
7	土				7
8	日				8
9	月	▲同和教育指導推進委員会（ ） □日光移動教室実地踏査（栃木県日光市方面）	○学校経営研修会（研究室）	日光移動教室実地踏査 開校（一中） 小開発総会	9
10	火	▲都市指導主事会定例会（ ） □日光移動教室実地踏査（栃木県日光市方面）		日光移動教室実地踏査 開校（平山小） 園（二幼）	10
11	水		○市教育研究会総会（ ） ○中学校教育研究会総会（ ）		11
12	木	■区市指導主事研究会議	○教育相談ケース会議（ ） ○教職員互助会評議委員会	開校（潤徳小）	12
13	金	■区市指導主事研究会議（ ） △養護教諭会（505）	○市内めぐり（ ）＋初任者研修		13
14	土	（休業日）			14
15	日				15
16	月	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○小・中学校生活指導主任会（504） （教職専門研修会）	修学旅行（一中） 5年移動教室（一小）	16
17	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ） ▲人権尊重教育推進校委員会	○研究奨励受給者説明会・授業改善委員会（504） ○学校給食会・総会（ ）	5年移動教室（二小）	17
18	水	□A訪問（南平小） △幼稚園長会（ ）	○幼児教育研修会（研究室）	5年移動教室（四小）	18
19	木		○教務主任会（504）	5年移動教室（五小）	19
20	金	△教頭会（505） ▲国際理解教育推進委員会・他（ ）	○保健主任会（504） ○研究主任会（505） ●新任指導主事研修（ ） （教職専門研修会）	5年移動教室（六小）	20
21	土				21
22	日				22
23	月	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○中学校生活指導主任会（一中） ○学校経営研修会（ ）	5年移動教室（潤徳小）	23
24	火	□A訪問（三沢台小）	●多摩地区健全育成行政連絡会（多摩教育センター）	5年移動教室（平山小）	24
25	水	□A訪問（第六幼稚園）		開園（一幼） 5年移動教室（八小）	25
26	木	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）	○相談学級運営協議会（ ） ○実技研修会（研究室）	5年移動教室（百草小）	26
27	金	□進路指導主任宿泊研修会（ ） ▲消費者教育・環境教育推進委員会（ ）	○初任者研修 ○学習指導法研修会（研究室）	5年移動教室（滝台小）	27
28	土	□進路指導主任宿泊研修会（ ）			28
29	日			□修学旅行（三沢中） 開園（六幼）	29
30	月	□A訪問（第二幼稚園）		5年移動教室（高幡小）	30
31	火	□A訪問（神田小）	○小学校体育主任会（学校）	5年移動教室（七小）	31
備 考		・運動会：5/29（三小） 体育祭：5/29（三中） ・移動教室《小学校5年生》（一小：5/16～17）（二小：5/17～18）（四小：5/18～19）（五小：5/19～20）（六小：5/20～21） （潤徳小：5/23～24）（平山小：5/24～25）（八小：5/25～26）（百草台小：5/26～27）（滝台小：5/27～28） （高幡台：5/30～31）（七小：5/30～6/1） ・修学旅行《中学校3年生》（一中：5/16～18）（三沢中：5/29～31） ・日光移動教室実地踏査・栃木県日光市（5/9～10） ・5/25 地区協定期大会			

6 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水	□市B訪問（第三幼稚園）	○市教育研究会（ ）	開校（百草、滝合、七生） 5年移動教室（南平小） 修学旅行（大坂上中）	1
2	木	▲第二地区指導連絡会（町田市）		5年移動教室（程久保小）	2
3	金	□教務主任宿泊研修会（塩山市）		5年移動教室（旭が丘小）	3
4	土	□教務主任宿泊研修会（甲府市）			4
5	日				5
6	月	△幼稚園長会（ ）	○学校経営研修会（研究室）	5年移動教室（平山台小）	6
7	火	△校長会（505）（503）	○小学校体育主任会（東部会館プール）＋○実技研修会 ○心身障害教育推進協議会（ ）	5年移動教室（東光寺小）	7
8	水	□市B訪問（一小）	○市中学校教育研究会	5年移動教室（三沢台小）	8
9	木	▲生活指導担当指導主事連絡会（ ）		5年移動教室（仲田小） 開校（五小）	9
10	金		○初任者研修会＋○学習指導法研修会（ ） ○進路指導主任会（ ）	開校（三小）	10
11	土	（休業日）			11
12	日				12
13	月		○中学校生活指導主任会（ ） ○就学相談委員会（ ）	修学旅行（四中・平山中）	13
14	火	▲都市指導主事会定例会（稲城市）	○学校給食主任会（ ）		14
15	水		○市教育研究会・夏季体育大会		15
16	木	▲中学校学校評価基準説明会（ ）			16
17	金	△教頭会（505）	○保健主任会（505）＋○教職専門研修会 ○多摩地区生活指導研究協議会（ ）	修学旅行（三中）	17
18	土				18
19	日				19
20	月	□市B訪問（第七幼稚園）	○学校経営研修会（研究室）		20
21	火		○授業改善委員会（504） ○教育相談研修会（研究室）		21
22	水		○幼児教育研修会（研究室）		22
23	木		○市中学校教育研究会（夏季体育大会）		23
24	金	▲在日外国人児童生徒教育連絡協議会（ ） □生活指導主任宿泊研修会（小田原）、障理解教		開校（二小、高幡台小）	24
25	土	△養護教諭会（101） □生活指導主任宿泊研修会（小田原）		修学旅行（七生中）	25
26	日				26
27	月	□市B訪問（第一幼稚園）			27
28	火	▲福祉教育推進委員会（ ）			28
29	水	□都一般訪問・市B訪問（八小） □都一般訪問・市B訪問（七小）			29
30	木	▲教員研修担当指導主事連絡協議会（ ）		開園（七幼） 開校（六小）	30
備考		・体育祭：6/4（平山中） 6/5（一中） 6/11（大坂上中） ・移動教室《小学校5年生》（程久保小；6/2～3）（旭が丘小；6/3～4）（平山台小；6/6～7）（東光寺小；6/7～8） （三沢台小；6/8～9）（三沢台小；6/9～10） ・修学旅行《中学校3年生》（大坂上中；6/1～3）（四中、平山中；6/13～15）（三中；6/17～19）（七生中；6/25～27） ・地区協・婦人部大会（6/22）			

7 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 金	▲指導主事連絡協議会（ ）	○進路指導主任会（ ）	修学旅行（二中）	1
2 土				2
3 日				3
4 月	▲男女平等教育推進委員会 △幼稚園長会	○小・中生活指導主任会（504）		4
5 火	△校長会（505）（503）	○教務主任会（504） ○学校経営研修会（研究室） ○心身障害教育推進協議会（ ）		5
6 水		○市教育研究会 ○市中学校教育研究会		6
7 木	□日光移動教室・始（第一班） ▲都市指導主事会定例会（ ）	○教育相談ケース会議（研究室） ○相談学級運営委員会（ ）	小・6年移動教室（一班）	7
8 金	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ）	●第二地区指導連絡会（日野市）		8
9 土	□日光移動教室（第二班） （休業日）		小・6年移動教室（二班）	9
10 日				10
11 月	□日光移動教室（第三班）	○中学校生活指導主任会（503）	小・6年移動教室（三班）	11
12 火	▲同和教育指導推進委員会（ ）	○学校給食合同会（学校給食主任、栄養士）	中・移動教室（三沢中）	12
13 水	□日光移動教室・終（第三班）			13
14 木				14
15 金	△教頭会（505） ▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ）	○養護教諭会（504）		15
16 土				16
17 日				17
18 月				18
19 火	▲都市指導主事会定例会（ ）			19
20 水			△小・中学校終業式	20
21 木	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）		（夏季休業日・始）	21
22 金	△初任者研修（503）			22
23 土				23
24 日				24
25 月	△学習指導法研修会＋初任者研修（504） □実技研修会（ ）	○教育課題研修会＋初任者研修（504）		25
26 火	□初任者研修・宿泊研修会①（大成荘） □教育相談研修会（研究室）			26
27 水	□初任者研修・宿泊研修会②（大成荘） □教育相談研修会（研究室）			27
28 木	□初任者研修・宿泊研修会③（大成荘） □科学教育センター・夏季講座（大成荘）			28
29 金	□初任者研修・宿泊研修会④（大成荘） □科学教育センター・夏季講座（大成荘）			29
30 土				30
31 日				31
備 考	・移動教室《小学校6年生》（7月7日～9日；三小、百草台小、滝台小、七小、平山台小、東光寺小、仲田小） （7月9日～11日；二小、調徳小、平山小、高幡台、程久保小、旭が丘小、三沢台小） （7月11日～13日；一小、四小、五小、六小、八小、南平小） ・移動教室《中学校2年生》（7月12日～14日；三沢中） ・修学旅行《中学校3年生》（7月1日～3日；二中）			

8 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	月				1
2	火				2
3	水				3
4	木				4
5	金				5
6	土				6
7	日				7
8	月				8
9	火				9
10	水				10
11	木	□教頭一日研修（ ）			11
12	金				12
13	土				13
14	日				14
15	月				15
16	火				16
17	水				17
18	木	□研究員御岳研究集会・小学校			18
19	金	□研究員御岳研究集会・小学校 ○幼稚園長会（ ）			19
20	土	□研究員御岳研究集会・小学校 □研究員御岳研究集会・中学校			20
21	日	□研究員御岳研究集会・中学校			21
22	月	□研究員御岳研究集会・中学校			22
23	火				23
24	水				24
25	木				25
26	金				26
27	土				27
28	日				28
29	月	△学習指導法研修会＋初任者研修（504）	○教育課題研修会＋初任者研修（504）		29
30	火	△初任者研修（503）	○初任者研修（503）		30
31	水			（夏季休業日・終）	31
備 考					

9 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 木			△小・中学校始業式	1
2 金	▲学校訪問協議会（ ） △幼稚園長会	○中学校水泳記録会 ●都市指導主事会定例会（ ）	○中学校水泳記録会	2
3 土				3
4 日				4
5 月	▲同和教育指導推進委員会（ ） ▲消費者教育推進委員会、環境教育（ ）		○小・水泳記録会（川南）	5
6 火	△校長会（505）（503） ▲多摩地区指導主事連絡協議会（ ）		○小・水泳記録会（川北）	6
7 水		○市教育研究会		7
8 木	▲人権尊重教育推進委員会（ ） □市A訪問			8
9 金	○第二地区指導連絡会（多摩市）	○進路指導主任会（ ） ○養護教諭会（505）		9
10 土	（休 業 日）			10
11 日				11
12 月	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ）	○小・中生活指導主任会（505）		12
13 火	▲生活指導担当指導主事連絡会（ ）	○多摩地区生活指導研究協議会（ ）○学校給食会主任会 ○心身障害教育推進協議会（ ）○教育相談研修会（研究室）		13
14 水		○市中学校教育研究会		14
15 木	（敬 老 の 日）			15
16 金	△教頭会（505） ▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ）	○保健主任会（505） ○道德教育助言者研究協議会（ ）	開校記念日（三沢中）	16
17 土				17
18 日				18
19 月	▲男女平等教育推進委員会（ ）			19
20 火	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○就学相談委員会（ ）		20
21 水	□市B訪問（三小）			21
22 木	▲国際理解教育推進委員会、他（ ） ▲心身障害教育理解教育地域推進委員会（ ）	○教務主任会（504）		22
23 金	（秋 分 の 日）			23
24 土				24
25 日				25
26 月	■指導主事会管外研修			26
27 火	■指導主事会管外研修			27
28 水	□市B訪問（百草台小） ■指導主事会管外研修			28
29 木	▲在日外国人児童生徒教育連絡協議会（ ）			29
30 金	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会（ ）	○学習指導法研修会＋初任者研修（研究室）		30
備 考	・運動会・体育祭；9/22（二中） 9/23（四中） 9/25（一小、四小、平山小、百草台小、七小、南平小、平山台小、東光寺小、仲田小、七生中、三沢中）			

10 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●午後 ■：全日】

日曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 土			（都 民 の 日）	1
2 日	□運動会		開校（三中、平山中）	2
3 月	□A訪問（四中） △幼稚園長会（ ）			3
4 火	△校長会（505）（503） ▲都市指導主事会定例会（八王子市）	○心身障害教育推進協議会（ ） ○小学校体育主任会（504） ○養護教諭会（101）		4
5 水	□都一般訪問＋B訪問（東光寺小） ■都市指導主事会管外研修（ ）		合唱祭（大坂上中）	5
6 木	■都市指導主事会管外研修	○教育相談ケース会議（研究室） ○一、二次教頭研修会（研究室）		6
7 金	□A訪問（滝合小） ■都市指導主事会管外研修（ ）		合唱祭（平山中）	7
8 土	□運動会（幼稚園） （休 業 日）			8
9 日				9
10 月	（体 育 の 日）			10
11 火	□A訪問（大坂上中）	○学校給食主任会（ ）		11
12 水	□都一般訪問＋B訪問（平山中）			12
13 木		●道德教育指導助言者研究協議会（ ）		13
14 金	▲教員研修担当指導主事連絡協議会（ ）	○進路指導主任会（ ）		14
15 土		○就学相談（研究室）		15
16 日				16
17 月		○小・中学校生活指導主任会（504） （教職専門研修会）		17
18 火	●第2地区指導連絡会（稲城市）	●多摩地区健全育成行政連絡会議（多摩教育センター） ○授業改善委員会（ ）		18
19 水	□市A訪問（第四幼稚園）	○市教育研究会 ○市中学校教育研究会		19
20 木		○教務主任会（504）	開校（程久保小） 合唱祭（三中）	20
21 金	△教頭会（505）	○教育課題研修会（研究室）＋初任者研修	合唱祭（三沢中）	21
22 土				22
23 日				23
24 月	□市B訪問（程久保小）	○中学校生活指導主任会（ ）		24
25 火	□市A訪問（二小）		合唱祭（一中）	25
26 水				26
27 木	■同和教育指導推進委員会・地域視察（ ）	・東京都僻地教育研究発表会（ ）		27
28 金	■同和教育指導推進委員会・地域視察（ ） ▲在日外国人児童生徒教育担当指導主事会（ ）	●在日外国人児童生徒教育担当指導主事会（ ）	合唱祭（二中）	28
29 土				29
30 日				30
31 月	□市A訪問（一中）			31
備 考	・運動会；10/2（二小、五小、六小、八小、滝合小、高幡台小、程久保小、三沢台小） 10/8（第一幼稚園、第二幼稚園、第三幼稚園、第四幼稚園、第五幼稚園、第六幼稚園、第七幼稚園） ・10/26（教研集会）			

11 月

【各種会議・主任会、委員会等、△；午前 ○；午後 □；全日】【指導主事会議 ▲；午前 ●；午後 ■；全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	火	△校長会（505）（501） ▲都市指導主事会定例会（ ）	○体育主任会（504）	開校（四幼、五幼、四小、八小） 合唱祭（七生中）	1
2	水	□都一般訪問・市B訪問（五小）		開校（大坂上中）	2
3	木	（文化の日）			3
4	金	□市A訪問（ ） ▲消費者教育、環境教育推進委員会（ ）	○心身障害教育推進協議会（ ）	合唱祭（四中）	4
5	土				5
6	日				6
7	月	▲男女平等教育推進委員会（ ）	○道德教育指導助言者研究協議会（ ）		7
8	火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ）			8
9	水	■都市指導主事会管外研修（ ）	○市教育研究会 ○市中学校教育研究会		9
10	木	■都市指導主事会管外研修（ ）			10
11	金	▲人権尊重教育推進校委員会（ ） ■指導主事管研修 △幼稚園長会（ ）	○学校給食研修会＋学校給食会（研究室） ○教育課題研修会（505）＋初任者研修会 ・心とからだの健康づくりシンポジウム		11
12	土	（休業日）			12
13	日				13
14	月	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○小・中学校生活指導主任会（504）		14
15	火	▲第2地区指導連絡会（八王子市）	○実技研修会（研究室） ○養護教諭会（505）		15
16	水	□市B訪問（三沢中）			16
17	木	▲生活指導担当指導主事連絡会（ ） ▲心身障害教育理解教育地域推進委員会（ ）			17
18	金	△教頭会（505）	○家庭裁判所との連絡会（ ） ○進路指導主任会（ ）		18
19	土		○就学相談（ ）	周年行事（二小）	19
20	日				20
21	月	▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ）	○中学校生活指導主任会（ ）		21
22	火	□市A訪問（二中）		開校（南平、旭が丘、仲田東光寺、平山台、四中）	22
23	水	（勤労感謝の日）			23
24	木	▲都市指導主事会定例会（ ）	○教務主任会（504） ○相談学級運営委員会（ ）		24
25	金	□市A訪問（四小）	○学校保健研修会（研究室）		25
26	土				26
27	日				27
28	月				28
29	火	□市A訪問（平山台小）			29
30	水	□都一般訪問・市B訪問（第五幼稚園） □都一般訪問・市B訪問（潤徳小）			30
備 考					

12 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	木	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会（ ）	○人権尊重教育推進委員会（ ） ○教育相談ケース会議（ ） ○学校給食会管外視察		1
2	金	△校長会（505）（503） ▲福祉教育推進委員会（ ）	○保健主任会（504） ○教育課題研修会＋初任者研修（研究室）	・図画工作展	2
3	土		○就学相談	・図画工作展	3
4	日				4
5	月	△幼稚園長会（ ）	○小・中生活指導主任会（505）		5
6	火	□音楽鑑賞教室〈小学校〉	○心身障害教育推進協議会（ ）		6
7	水	□音楽鑑賞教室〈中学校〉	○市小学校教育研究会（ ）		7
8	木	▲第二地区指導連絡会（町田市）	○教務主任会（505）＋教職専門研修会 ○実技研修会（研究室）		8
9	金		○心身障害教育推進協議会（ ） ○養護教諭会（505）		9
10	土	（休業日）			10
11	日				11
12	月		○中学校生活指導主任会（ ）		12
13	火	▲同和教育指導推進委員会（ ）	○生涯学習研修会（研究室）		13
14	水	▲指導主事連絡協議会（ ）	○市小学校教育研究会		14
15	木				15
16	金	△教頭会（505）	●都市指導主事会定例会（ ）		16
17	土				17
18	日				18
19	月		○初任者研修実施協議会（501）		19
20	火				20
21	水				21
22	木			△幼稚園終業式	22
23	金	（天皇誕生日）			23
24	土			△小・中学校終業式	24
25	日				25
26	月			（冬季休業日・始）	26
27	火				27
28	水				28
29	木				29
30	金				30
31	土				31
備					
考					

1 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1 日	（元 日）			1
2 月				2
3 火				3
4 水				4
5 木				5
6 金	▲都市指導主事会定例会（ ） △幼稚園長会（ ）			6
7 土			（冬季休業日・終）	7
8 日				8
9 月		●第二地区指導連絡会（日野市）	△小・中学校始業式	9
10 火	△校長会（505）（502）	○心身障害教育推進協議会（ ）		10
11 水		○市教育研究会	移動教室（七生中）	11
12 木	▲幼・小・中教育課程説明会（ ）	○教育委員会定例会（506）		12
13 金	▲国際理解教育推進委員会、他（ ）			13
14 土	（休 業 日）			14
15 日	（成 人 の 日）			15
16 月	（振 替 休 日）		移動教室（三中）	16
17 火	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会（ ） △教頭会（505）	○授業改善委員会（研究室） ○市中学校教育研究会		17
18 水				18
19 木	▲男女平等教育推進委員会（ ） ▲人権尊重教育、健全育成推進校委員会（ ）	○学校給食会・講演会（ ）		19
20 金	▲多摩地区指導主事連絡協議会（ ）	○進路指導主任会（504） ○初任者研修（501）		20
21 土		○就学相談		21
22 日			移動教室（大坂上中）	22
23 月	▲進路指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○小・中学校生活指導主任会（ ） ○学校保健研修会（研究室）		23
24 火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会（ ）		移動教室（二中）	24
25 水	□都一般訪問・市B訪問（旭が丘小）			25
26 木	▲都市指導主事会定例会（町田市）	○教務主任会（504） ○教護教諭会（505）		26
27 金	▲第2地区指導連絡会（多摩市） ▲心身障害理解教育地域推進委員会（ ）	○多摩地区生活指導研究協議会（ ）		27
28 土			小・中「書き初め」展	28
29 日			小・中「書き初め」展 移動教室（四中）	29
30 月				30
31 火	□A訪問（高幡台小）			31
備 考	・移動教室《中学校1年生》（三中；1/16～18）（四中；1/29～31） 《中学校2年生》（七生中；1/11～13（二中；1/24～26） 《中学校1・2年生》（大坂上中；1/22～24）			

2 月 【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水	□市B訪問（六小）			1
2	木		○市教育研究会・冬季体育大会		2
3	金	□初任者研修・宿泊研修会 □教頭一日研修	●消費者教育・環境教育推進委員会（ ）		3
4	土	□初任者研修・宿泊研修会（ ）			4
5	日				5
6	月	□市B訪問（七生中）			6
7	火	△校長会（505）（502）	○小学校体育主任会（504） ○心身障害教育推進協議会（ ）		7
8	水				8
9	木	▲教育研修担当指導主事連絡協議会（ ）	○教育課程届説明会〈心障学級、小中学校〉（ ）	移動教室（平山中）	9
10	金	△幼稚園長会（ ）	○教育課程届説明会〈幼稚園〉（ ）	開校（三沢台小）	10
11	土	（建国記念の日）			11
12	日				12
13	月		○小・中学校生活指導主任会（505）		13
14	火	▲都市指導主事会定例会（ ）	○学校給食会合同会（給食主任・栄養士）		14
15	水	▲学校訪問協議会（ ）	○市中学校教育研究会・研究発表（ ）		15
16	木	▲生活指導担当指導主事連絡会（ ）			16
17	金	△教頭会（505） ▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会（ ）	○研究主任会（505） ○保健主任会（504）		17
18	土				18
19	日				19
20	月		○中学校生活指導主任会（ ）		20
21	火		○養護教諭会（505）		21
22	水		○市教育研究会・研究発表（ ）		22
23	木	▲同和教育指導推進委員会（ ） ▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会（ ）	○教育相談ケース会議（ ） ○相談学級運営委員会（ ）		23
24	金		○進路指導主任会（ ）	心障合同発表会（ ）	24
25	土				25
26	日			移動教室（一中）	26
27	月				27
28	火	▲第二地区指導連絡会（稲城市）	○多摩地区教育推進委員会研究発表（多摩教育センター）		28
備考		・移動教室《中学校2年生》（平山中；2/9～11） 《中学校1年生》（一中；2/27～29）			

3 月

【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考（学校関係）	日
1	水		○市小学校教育研究会（ ）	開校（七小）	1
2	木	▲都市指導主事会定例会（ ）	○就学相談委員会（ ）		2
3	金	▲指導主事連絡協議会 △幼稚園長会（ ）	○授業改善委員会研究発表（504） ○初任者研修・初任者研修実施協議会（504）		3
4	土				4
5	日				5
6	月		○小・中学校生活指導主任会（504）	就職者激励会（中学校）	6
7	火	△校長会（505）(503)	○心身障害教育推進協議会・研究発表会（五小）		7
8	水		○市中学校教育研究会（ ）		8
9	木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会（ ）	○教務主任会（504） （教職専門研修会）		9
10	金	△教頭会（505）	○進路指導主任会（505）		10
11	土	（休業日）			11
12	日				12
13	月	△教育課程届受付	○中学校生活指導主任会（ ）		13
14	火	□教育課程届受付	○学校給食主任会（ ） ○養護教諭会（505）		14
15	水	□教育課程届出受付			15
16	木	▲都市指導主事会定例会	○教育課程届受付		16
17	金	△幼稚園修了式	○教育課程届受付	△幼稚園修了式	17
18	土				18
19	日				19
20	月	△中学校卒業式		△中学校卒業式	20
21	火	（春分の日）			21
22	水	□教育課程届受付			22
23	木	□教育課程届受付			23
24	金	□教育課程届受付		△小学校修了式	24
25	土	△小学校卒業式		△小学校卒業式 △中学校修了式	25
26	日				26
27	月	△初任者研修		（春季休業日・始）	27
28	火				28
29	水				29
30	木				30
31	金				31
備					
考					

日野市教育委員会指導室の年間事業計画

A 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	・教務主任の職務 ・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方 ・当面する教育課題	市役所 又は 研究室	教務主任
小・中生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	・生活指導上の臨床的対策 ・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方	市役所 又は 研究室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実に図る。	・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方 ・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立	市役所 又は 学 校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	・学校保健の在り方 ・保健指導の実態と望ましい在り方 ・分科会研究 ・研究発表	市役所 又は 研究室	保健主任

名称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに、進路情報を交換する。	・ 全校的な指導体制の確立 ・ 進路指導上の問題点の整理と検討 ○ 進路指導の全体計画 ○ 各学年の指導の重点 ○ 進路指導を推進するための組織運営 ○ 指導資料の作成	市役所 及び 学 校	進路指導主任
手引作成委員会 環境副読本指導の会	中学校環境副読本「美しいまち日野」の指導の手引きを作成する。	・ 指導の手引きの作成 ・ 活用のための具体策の検討	市役所 又は 学 校	推進委員
就学相談委員会	心身に障害のある幼児・児童・生徒の障害と発達の状態に応じた適切な教育措置をするための相談等を行う。	・ 東京都教育委員会、教育相談所及び児童相談所等との連絡と就学に関する継続相談 ・ 各種専門家による就学相談	学 校 又は 幼稚園	教育相談員 就学指導委員
授業改善委員会	日野市の教育研究課題の解決を目指し、個性重視の教育や創造性を育てる教育の具体化を図る研究を推進する。	・ 研究奨励事業の推進 ・ 「児童、生徒の願いを生かし、育てる学習活動」の研究と公開授業・研究協議。 ・ 研究集録の作成 ・ 先進校等の管外視察	市役所 及び 学 校	委 員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
授業研究委託	幼児・児童・生徒の実態に応じ、個々の能力を生かす指導法を改善するため授業研究を行う。	・各小・中学校に授業研究委託費を支給 ・授業記録（３事例）の提出 ・研究授業の公開	各学校	小・中学校
教育ケース会議	事例研究を通して、望ましい教育相談技術を探る。	・事例研究	研究室	兼任相談員
体育主任会	児童の健康・運動能力の実態を把握し、その増進を図るための具体的方策を考え、学校教育活動全体を通した体育指導の実践化と生活化を図る。	・体位・体力向上をめざした学校教育活動全体の検討 ・体育科の教科指導の充実を図る研究・研修 ・「体力づくりの日」の効果的実践 ・水泳記録会、陸上記録会の企画	市役所 又は 学校	体育主任
教育課程委員会	学校週５日制への対応について、教育課程の編成及び、児童、生徒の実態把握を行う。	・教育課程の編成と実施について、調査、研究する。	市役所 又は 学校	委員
「編集委員会」	教育委員会と学校とを結ぶ機関紙を発行する。	・「まどべ」の企画、原稿依頼、編集、校正	学校	作成委員
研究主任会	児童・生徒が自ら考え主体的に判断し、行動したりすることができる資質や能力の育成を目指した教育活動をさらに充実・発展するための校内研究の進め方等について研修を進める。	・授業研究の推進 ・各校の校内研究の敷衍	市役所 及び 現地	研究主任会

名 称	ね ら い ・ 方 針	内 容 ・ 方 法	会 場	対 象
水 泳 記 録 会 運 営 委 員 会	水泳記録会で、児童・生徒が 日ごろの学習の成果を競い、体 力の向上を図るとともに、学校 間の交流を図る。	・ 水泳記録会の企画、連絡、調 整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
日 光 移 動 教 室 運 営 委 員 会	日光移動教室を連合で行うに 際し、円滑な運営が行われるよ う連絡、調整にあたる。	・ 日光移動教室の企画、実地踏 査、連絡、調整、運営	市役所 及び 現 地	運 営 委 員
人 権 尊 重 教 育 推 進 委 員 会	人権尊重教育の推進の方法に ついて検討し、学校における人 権尊重教育の在り方について連 絡協議する。	・ 人権尊重教育の推進方法の協 議 ・ 研修会の開催及び人権尊重教 育推進校の成果の活用	市役所 又は 学 校	推 進 委 員
国 際 理 解 教 育 推 進 委 員 会	国際理解教育の推進の方法に ついて研究、協議し、日野市の 実態に応じた国際理解教育の在 り方について連絡協議する。	・ 帰国子女教育の推進の方法を 協議 ・ 国際理解教育の在り方につい ての研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員
情 報 教 育 推 進 委 員 会	社会の情報化への対応をめざ し、学校教育でのコンピュータ 活用について研究、協議する。	・ 学校におけるコンピュータの 活用について協議 ・ 教育方法としてのコンピュ ータの活用について研究	市役所 又は 学 校	推 進 委 員

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をととしての資質を高める。	・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導 ・学級指導を実践している学校の参観 ・研究協議	山梨県	教務主任
生活指導主任会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をととして生活指導主任の資質を高める。	・他域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ ・研究協議	神奈川県	生活指導主任
進路指導主任会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をととして進路指導主任の資質を高める。	・進路指導の指導計画並び指導組織とその実践 ・研究協議	山梨県	進路指導主任
新任者・新採教員会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」 ・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」	山梨県清里他	新規採用教諭

平成 6 年度日野市教育委員会研修事業 (A)

№	研 修 会 名	回	主 題	期 日 (曜)
1	学 校 経 営 研 修 会	1	生涯学習社会における学校の役割と課題	4 月 25 日(月)
2	〃	2	アカウンタビリティを高める学校経営	5 月 9 日(月)
3	〃	3	学校改善を目指す教育課程経営	5 月 23 日(月)
4	〃	4	教師の職能成長へのアプローチ	6 月 6 日(月)
5	〃	5	人間性の尊重と地域からの発想の教育	6 月 20 日(月)
6	〃	6	新しい時代の学校運営組織の機能と構造	7 月 5 日(火)
7	教 職 専 門 研 修 会	1	社会性を育む教育活動と生活指導	5 月 16 日(月)
8	〃	2	新しい学力観を具体化する校内研修の推進	5 月 19 日(木)
9	〃	3	子どもの心とからだの成長・発達と性	6 月 17 日(金)
10	〃	4	心理療法家から見た子どもと生活指導	10 月 17 日(月)
11	〃	5	教育課題をとらえた教育課程の編成	12 月 8 日(木)
12	〃	6	創意ある教育課程の編成と実施のために	3 月 9 日(木)
13	教 育 課 題 研 修 会	1	人権を尊重する子どもを育む教育活動	5 月 6 日(金)
14	〃	2	心身障害教育の課題と通級による指導	7 月 25 日(月)
15	〃	3	豊かな心情や実践力を高める指導	8 月 29 日(月)
16	〃	4	国際化への対応の基本的な在り方と教育	10 月 21 日(金)
17	〃	5	校内における実践的研究を科学化する方法	11 月 11 日(金)
18	〃	6	生涯学習時代における進路指導	12 月 2 日(金)
19	学 習 指 導 法 研 修 会	1	子どもの心を耕す指導と学級経営	4 月 28 日(木)
20	〃	2	自ら学ぶ意欲を高める指導と評価	5 月 27 日(金)
21	〃	3	視聴覚教材や教育機器の活用と指導の工夫	6 月 10 日(金)
22	〃	4	ティームティーチングによるグループ指導	7 月 25 日(月)
23	〃	5	基礎基本の徹底と個性を生かす指導	8 月 29 日(月)
24	〃	6	子どものよさを生かす道徳教育の実践	9 月 30 日(金)

※備考欄に時間が記載されていないものは、午後2時から4時までとなります。

講 師	会 場	備 考
前板橋区立高島第二中学校長 藤ヶ谷敏明	教職員研究室	
東京都立南多摩高等学校長 犬丸 章門	教職員研究室	
東京都多摩教育研究所所長 宇津木順一	教職員研究室	
前千代田区立永田町小学校長 蓮池 守一	教職員研究室	
前荒川区立第一日暮里小学校 三神 光磨	教職員研究室	
前世田谷区立希望丘中学校長 木山 高美	教職員研究室	
多摩市立南豊ヶ丘小学校長 菊池 幸次	市役所 504 会議室	
府中市立府中第一小学校長 宮下 英雄	市役所 505 会議室	
三鷹市教育委員会指導主事 上原 健夫	市役所 505 会議室	
新宿少年センター主査	市役所 504 会議室	
台東区立根岸小学校長 馬淵 金男	市役所 505 会議室	
都・教育庁指導部初等教育指導課指導主事	市役所 504 会議室	
日野市立仲田小学校長 中村 孝一	教職員研究室	
目黒区立五本木小学校長 高橋 晃	市役所 504 会議室	午前 9:30 ～ 11:30
都・多摩教育事務所指導課指導主事 小谷野茂美	市役所 504 会議室	午前 9:30 ～ 11:30
目黒区立八雲小学校長 矢沢 公雄	教職員研究室	
東京都立多摩教育研究所指導主事 富山 謙一	市役所 505 会議室	
指導部中学校教育指導課指導主事 新藤 久典	教職員研究室	
都・多摩教育事務所指導課指導主事 佐藤 正吉	教職員研究室	
羽村市教育委員会指導主事 矢崎 良明	教職員研究室	
東京都立多摩教育研究所指導主事 島 治行	多摩教育研究所	
東京都立多摩教育研究所指導主事 鷺津 進	市役所 504 会議室	午後 1:30 ～ 3:30
多摩市立豊ヶ丘中学校教頭 島崎 政男	市役所 504 会議室	午後 1:30 ～ 3:30
都・指導部初等教育指導課指導主事 後藤 忠	教職員研究室	

平成 6 年度日野市教育委員会研修事業 (B)

№	研 修 会 名	回	主 題	期 日 (曜)
1	教 育 相 談 研 修 会	1	学校教育相談と心理療法	6 月 21 日 (火)
2	〃	2	子どもの心の発達と心の健康	7 月 26 日 (火)
3	〃	3	子ども理解と人間関係の心理	7 月 27 日 (水)
4	〃	4	子ども理解と教育相談的技法Ⅰ (教育相談の理論と方法)	7 月 28 日 (木)
5	〃	5	子ども理解と教育相談的技法Ⅱ (教育相談の体験学習ーロールプレイを中心にー)	7 月 28 日 (木)
6	〃	6	自己理解・自己調整のための心理学	9 月 13 日 (火)
7	一・二年次教頭研修会	1	教頭の効果的な実務処理	4 月 22 日 (金)
8	〃	2	教頭の職務	10 月 6 日 (木)
9	学 校 保 健 研 修 会	1	臨床現場からみた思春期の性	11 月 25 日 (金)
10	〃	2	今蝕まれている 子どもの心と体	1 月 23 日 (月)
11	学 校 給 食 研 修 会	1	食料・栄養と学校給食の役割	11 月 11 日 (金)
12	〃	2	食品の添加物実験	1 月 19 日 (木)
13	幼 児 教 育 研 修 会	1	幼稚園と小学校の連携	4 月 20 日 (水)
14	〃	2	昆虫の飼育と観察	5 月 18 日 (水)
15	〃	3	楽しい楽器指導	6 月 22 日 (水)
16	各 種 実 技 研 修 会	1	水泳の基本とその指導	6 月 7 日 (火)
17	〃	2	運動会に活用できるダンス	7 月 25 日 (月)
18	〃	3	社会科地域教材の作成Ⅰ (日野駅周辺の昔調べ)	8 月 30 日 (火)
19	〃	4	同 上 Ⅱ (まとめ)	10 月 13 日 (木)
20	〃	5	理科地域教材の作成Ⅰ (浅川で何ができるか) (川の教材化)	7 月 1 日 (金)
21	〃	6	同 上 Ⅱ (電気教材)	10 月 14 日 (金)
22	〃	7	児童画の見方ー低学年を中心にー	5 月 26 日 (木)
23	〃	8	楽しい薬細工	12 月 9 日 (金)
24	〃	9	学校図書館の新時代を迎えて ーその経営と指導のあり方ー	11 月 15 日 (火)
25	生 涯 学 習 研 修 会	1	子どもの心・あいさつは心の窓	11 月 24 日 (木)
26	〃	2	現代っ子の姿ー雑誌の編集の中からー	12 月 13 日 (火)

※備考欄に時間が記載されないものは、午後２時から４時までとなります。

講 師	会 場	備 考
都立教育研究所指導主事	未 定	教職員研究室
都立梅ヶ丘病院医師	海老島 宏	午後１：００～３：００
明星大学教授	磯貝 芳郎	午後１：００～３：００
東京学芸大学助教授	佐野 秀樹	午前９：３０～１１：３０
同 上	〃	午後１：００～３：００
東京学芸大学教授	福島 脩美	〃
前日野市立平山台小学校校長	波多野 坦	〃
前日野市立南平小学校校長	有泉 徹郎	〃
虎ノ門病院医師	堀口 雅子	〃
関東医療少年院	未 定	兼生活指導主任会
実践女子短期大学教授	藤沢 良知	〃
少年写真新聞社編集部長	鳥居厚一他	潤徳小・理科室
前全国公立小学校校長会会長	蓮池 守一	教職員研究室
多摩動物公園昆虫係長	小林 俊樹	多摩動物公園
中野区立沼袋小学校教諭	大湊 勝弘	教職員研究室
目黒区立五本木小学校教諭	飯島俊之他	東 部 会 館
立川市立第五小学校教諭 板橋区立大谷口小学校教諭	高杉 裕子 鈴木千鶴穂	潤徳小・体育館
日野市立潤徳小学校校長 日野市立日野第八小学校教頭	香川 善平 小杉 博司	日野駅周辺巡検
同 上	〃	教職員研究室
日野市立第五小学校校長 日野市立第二小学校教頭	畑石 重輝 太田由紀夫	ふれあい橋周辺
日野市立第二小学校校長 日野市立高幡台小学校校長	馬場 武 兼島 政邦	潤徳小・理科室
千葉経済大学短期大学部助教授	野々目桂三	教職員研究室
元日野市立日野第四中学校校長	立川 泰司	〃
玉川大学教授	保岡 孝之	〃
港区立青南小学校校長	宮本 一史	〃
学習研究社編集部	助川 進	〃

平成 6 年度 日野市教育委員会研修事業 (C)

(1) 初心者研修

研修会コース名	研修会番号	内 容
A. 初心者コース	A-1	・パソコンの動かし方、扱い方。・パソコンの仕組みを知る。 ・キーボードになれる。・簡単な命令でパソコンを動かしてみる。
	A-2	・ BASIC で簡単なプログラムを作ってみる。 ・ 汎用ソフト (ハイパーキューブ) の紹介。

(2) 初級コース-1

研修会コース名	研修会番号	内 容
B. ハイパーキューブコース	B-1	・ ワープロ パソコンで文書を作成、編集、保存をする。
	B-2	・ 表計算 電卓として活用し、グラフを簡単に作成、文書に挿入する。
	B-3	・ グラフィックス 図や絵を描く。また、絵や写真をパソコンに取り込む。描いた絵や写真を作成済みの文書に取り込む。
	B-4	・ データベース データベースの作り方。 登録したデータの並べ換えや検索を体験する。

(3) 初級コース-2

研修会コース名	研修会番号	内 容
C. 教育事務管理コース	C-1	・ 学校における教育事務を効率的に進めるためのパソコンの活用法 ・ マスターファイルの作り方-1
	C-2	・ マスターファイルの作り方-2 ・ マスターファイルの活用法

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5/17 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	5/24 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校

回 数	日 時	研 修 会 場
1 講 座	5/31 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	6/7 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	6/14 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校
1 講 座	6/21 2:00 ~ 4:00	日 野 第 二 中 学 校

回 数	日 時	研 修 会 場
2 講 座	8/1 9:00 ~ 3:00	日 野 第 二 中 学 校
2 講 座	8/2 9:00 ~ 3:00	日 野 第 二 中 学 校

日野市教育委員会の学校訪問

1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通し、下記の事柄について、理解を深め、日野市の教育の充実・発展に資する。

- ① 学校の当面する教育指導上の諸問題への対応を図る
- ② 学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況を把握する
- ③ 日野市の教育活動の全体を把握し、教育行政上の参考にする
- ④ 各学校の教職員との協議・懇談を行い相互の理解を深める
- ⑤ 学校訪問の成果を日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する

(1) A 訪問

2年に一度、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容の充実・発展のために協議する。

- ①学校概況、②授業参観、③施設・設備の活用状況、④諸帳簿閲覧、⑤協議・懇談

なお、教育委員長、教育委員も時間の許す範囲で、訪問する。

(2) B 訪問

市教育委員会訪問Aのない学校に指導主事が訪問し、教育指導上の課題について、協議・懇談する。

- ①教科・道徳・特別活動の指導に関すること、②教育課題に関すること、③生活指導・進路指導に関すること、④授業研究に関すること、⑤学級・学年経営に関すること、⑥指導要録等に関すること、⑦教育研究・研修に関すること、⑧教育課程に関すること。

(3) 一般訪問

各学校、各幼稚園の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事並びに日野市教育委員会指導主事が訪問し、それぞれの学校（園）の置かれている条件に応じ、教職員とともに学校（園）のもっている問題について、实际的に解決する方途を見いだすなど、隔意のない協議・懇談を行う。

ただし、一般訪問は、A訪問のない学校にB訪問と合わせて行う。

訪問日程

№	幼稚園名	A 訪問	B・都一般訪問
1	第一幼稚園		6月27日(B訪問)
2	第二幼稚園	5月30日	
3	第三幼稚園		6月23日(B訪問)
4	第四幼稚園	10月19日	
5	第五幼稚園	5月10日	11月30日(一般訪問)
6	第六幼稚園	5月25日	
7	第七幼稚園	5月25日	6月20日(B訪問)

№	小学校名	A 訪問	B・都一般訪問
1	日野第一小学校		6月8日(B訪問)
2	日野第二小学校	10月25日	
3	日野第三小学校		9月21日(B訪問)
4	日野第四小学校	11月25日	
5	日野第五小学校		11月2日(一般訪問)
6	日野第六小学校		2月1日(B訪問)
7	潤徳小学校		11月30日(一般訪問)
8	平山小学校	11月4日	
9	日野第八小学校		6月29日(一般訪問)
10	百草台小学校		9月28日(B訪問)
11	滝合小学校	10月7日	
12	高幡台小学校	1月31日	
13	日野第七小学校		6月29日(一般訪問)
14	南平小学校	5月18日	
15	程久保小学校	10月14日	10月24日(B訪問)
16	旭が丘小学校		1月25日(一般訪問)
17	平山台小学校	11月29日	
18	東光寺小学校	6月28日	10月5日(一般訪問)
19	三沢台小学校	5月24日	
20	仲田小学校	5月31日	

№	中学校名	A 訪問	B・都一般訪問
1	日野第一中学校	10月31日	
2	日野第二中学校	11月22日	
3	七生中学校		2月6日(B訪問)
4	日野第三中学校	9月8日	
5	日野第四中学校	10月3日	
6	三沢中学校		11月16日(B訪問)
7	大坂上中学校	10月11日	
8	平山中学校		10月12日(一般訪問)

日野市教育委員会事務局組織

(平成6年6月1日現在)

教育委員会
委員長
古谷 洋太

職務代理
小松 恒夫

委員
黒澤 保雄
中田 俊子
長澤 三郎



教育長
長澤 三郎

社会教育部長
大谷 俊夫

社会教育課長
青山 武
課長補佐
山下 雅臣
副主幹
中野 修

社会教育係長
(課長補佐事務取扱)
文化財係長
藤井 和夫
主査
鷹取 孝

社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興に関すること。

文化財の調査、保護に関すること。

体育課長
奥住 文男
課長補佐
宮園幸一郎

体育係長
(課長補佐事務取扱)
主査
関 逸男
井上 秀樹

社会体育事業及び市民プール、南平体育館、市営陸上競技場等の管理、運営、学校開放、体育、レクリエーション団体の育成に関すること。

市立図書館長
斎藤 隆夫
副主幹
古沢 元武

庶務整理係長
(副主幹事務取扱)
奉仕係長
竹村 純一
業務係長
中尾 順一
主査
若林 康子
小川 幸子
西村久美子
藤沢 和男

文書管理、人事、予算、物品及び施設管理に関すること。

図書館奉仕網の整理、分館の運営、奉仕計画及び蔵書構成の調整に関すること。

図書の貸出し及び図書館運営の調査研究及び企画に関すること。

中央公民館長
斉藤 好美

管理係長
高橋 國夫
指導係
(管理係長兼務)

予算、文書管理、施設の維持管理、物品の保管、施設の利用に関すること。

公民館活動の企画運営、成人、青年、婦人教育関係行事の実施に関すること。

ふるさと博物館長
高野 隆

庶務係
(事務次長事務取扱)
学芸係
(社会教育課文化財係長兼務)

予算、経理、施設の維持管理に関すること。

資料の収集、展示、整理、保管に関すること。

事務次長
梅崎満洲夫

教育庶務課事務分担表

課長 加藤侃一郎

係 名	職 名		分 担 事 務 の 内 容
庶務係	係 長	飯山 光一	① 教育委員会の会議に関すること。 ② 教育委員会の条例、規則の制定、改廃に関すること。
	主 査	山口 義信	① 労働安全衛生に関すること。 ② 中学校委託業務に関すること。 ③ 中学校の校庭整備及び警備に関すること。 ④ 用務員の研修に関すること。
	主 事	佐藤ミツ子	① 教育委員の報酬の支払い及び出張に関すること。 ② 教育委員会対外関係に係る事務及び予算執行に関すること。 ③ 予算決算に関すること。 ④ 教育委員会職員の休暇等に関すること。 ⑤ 教育委員会事務局及び学校の購読物、帳票に関すること。 ⑥ 学校職員の職務免除に関すること。 ⑦ 学校臨時職員に関すること。 ⑧ その他、部及び課内庶務に関すること。
	主 事	菅野 雅巳	① 小学校委託業務に関すること。 ② 特別整備用備品購入、管理事務に関すること。 ③ 小学校の校庭整備及び警備に関すること。 ④ 予算決算に関すること。 ⑤ 用務員の被服貸与に関すること。
	主 事	佐藤 早苗	① 小中学校の支払事務に関すること。 ② 小中学校の公共料金の執行管理事務。 ③ 施設の修繕、工事等の支出に関すること。 ④ 児童・生徒の派遣費に関すること。 ⑤ 予算決算に関すること。
	主 事	宮澤 優子	① 学校物品購入に係る契約事務及び単価契約に関すること。 ② 高校生奨学金、私立高校入学生貸付斡旋に関すること。 ③ 特別整備用備品の購入・管理事務。 ④ 予算決算に関すること。 ⑤ 学校備品管理に関すること。

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
庶務係	主 事	松田江身子	① 教育委員会の文書受付に関すること。 ② 小中学校の支払事務に関すること。 ③ 施設の修繕、工事等の支出に関すること。
施設係	係 長	福永 捷吉	① 係の統括・調整に関すること。 ② 教育施設の整備計画に関すること。 ③ 中学校、幼稚園営繕・施設整備に関すること。 ④ 林間施設整備に関すること。
	主 事	三沢 健治	① 文部省の学校施設補助に関すること。 ② 新規時事業の統括・調整に関すること。 ③ 予算・決算に関すること。 ④ 契約業務に関すること。
	主 事	小平 裕明	① 文部省の学校施設補助に関すること。 ② 新規事業の統括・調整に関すること。 ③ 小学校の営繕・修繕・施設整備に関すること。
	主 事	小峰 克之	① 防衛庁関係補助に関すること。 ② 中学校の修繕施設整備に関すること。 ③ 委託業務に関すること。 ④ 係の備品・消耗品の購入に関すること。

学 務 課 事 務 分 担 表

学務課長 小寺 瑞彦

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
学務係	係 長	田辺 貞義	① 学務係の予算・決算に関すること ② 学校配当予算に関すること ③ 課予算・決算の取りまとめに関すること ④ 幼稚園に関すること ⑤ 新設校、園設置届けに関すること
	主 事	山田 尚美	① 課内の庶務に関すること ② 幼稚園使用料の徴収に関すること ③ 幼稚園就園奨励費に関すること ④ 幼稚園臨時職員の雇用、賃金支払に関すること ⑤ 幼稚園、学校配当予算の財務会計執行事務に関すること ⑥ 学務係の決算に関すること
	主 事	佐藤 真	① 就学援助費に関すること ② 特殊教育就学奨励費に関すること ③ 学校の備品等に関すること ④ 幼稚園の設備・備品等に関すること ⑤ 幼稚園、学校災害賠償補償に関すること ⑥ 小・中学校予算編成に関すること
	主 事	佐藤 文昭	① 入学事務に関すること ② 転出、転入学に関すること ③ 学齢簿に関すること ④ 学級編制に関すること ⑤ 学区域に関すること ⑥ その他就学事務に関すること

係 名	職務名	氏 名	事 務 分 担 内 容
保健 給食係	係 長	池田 邦雄	① 保健給食の全般に関すること ② 学校保健会、給食会等の関係団体に関すること ③ 学校（園）医等に関すること ④ 給食関係視察等の対応に関すること ⑤ 通学路に関すること ⑥ 学校給食関係の各種委員会に関すること
	主 事	國栖 光男	① 給食関係委託事務に関すること ② 給食備品に関すること ③ 給食関係予算に関すること ④ 学校給食会に関すること ⑤ 給食関係の統計調査報告等に関すること ⑥ その他給食関係の庶務に関すること
	主 事	宮澤 功一	① 幼稚園、学校の環境衛生に関すること ② 園児・児童・生徒及び教職員の各種健康診断に関すること ③ 日本体育・学校保健センターに関すること ④ 学校医等に関すること ⑤ 学校保健会に関すること ⑥ 養護教諭会に関すること ⑦ 保健関係予算に関すること ⑧ 通学路に関すること
	主 査	梶村 和子	① 栄養士、調理員の庶務事務に関すること ② 幼稚園教諭、栄養士、調理員の研修に関すること ③ 児童・生徒の就学猶予、免除、措置等に関すること ④ 栄養士、調理員等の臨時職員の雇用及び派遣に関すること ⑤ 幼稚園、給食関係職員の被服貸与に関すること

指導室事務分担表

指導室長 小沢 春童

係 名	職 名	氏 名	分 担 事 務 の 内 容
指導係	係 長	小沢 賢二	① 校長会、教頭会に関すること ② 指導室関係予算の調整及び執行に関すること ③ 学校図書事務嘱託員に関すること ④ 帰国児童生徒講師及び外国人英語指導補助員雇用に関すること ⑤ 庁内調査等に関すること ⑥ その他連絡調整に関すること
	主 事	檜木 昭	① 児童用教科書に関すること ② クラブ活動謝礼金に関すること ③ 奨学金に関すること ④ 教育相談に関すること ⑤ 就学相談に関すること ⑥ 特殊学級の学級編成に関すること ⑦ 障害児教育関係の予算、各種事業、援助に関すること
	主 事	梅田 時万	① 移動教室・修学旅行の実施及び援助に関すること ② 水泳記録会及び陸上記録会に関すること ③ プール指導謝礼金に関すること ④ 教職員用図書購入に関すること ⑤ 遠足・移動教室の届出に関すること
	主 事	細野 智子	① 教科用図書採択、教師用教科書・指導書、教材に関すること ② 教職員の研修及び研修関係の都費の支出に関すること ③ 社会人講師に関すること ④ 各種委託事業及び補助事業に関すること ⑤ 社会科見学、バス補助金に関すること ⑥ 学校訪問等の届出に関すること ⑦ 教育実習に関すること ⑧ 音楽鑑賞教室に関すること ⑨ 都立高校入学選抜書類に関すること ⑩ 指導関係文書の収受、整理及び配布に関すること

係 名	職 名	氏 名	事 務 分 担 内 容
教職員 係	係 長	佐藤 清	① 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限その他人事に関する事 ② 学校教職員の勤務評定・業務評定に関する事 ③ 学校教職員の叙勲・表彰に関する事 ④ 学校教職員の職員団体に関する事 ⑤ 事務・栄養士の研修に関する事 ⑥ その他学校職員に関する事
	主 査	神崎伊久男	① 学校教職員の定数、講師授業時数の割当に関する事 ② 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び講師の採用に関する事 ③ 学校教職員の履歴の整理・保管に関する事 ④ 学校教職員の任免、服務、分限その他人事に関する事 ⑤ 再雇用嘱託員に関する事
	主 事	簀野 亨	① 学校教職員の給与に関する事 ② 学校教職員の旅費に関する事 ③ 学校教職員の扶養親族の認定に関する事 ④ 学校教職員の住民税の整理・保管に関する事 ⑤ 学校教職員の給与簿の整理・保管に関する事 ⑥ 学校教職員の退職手当に関する事
	主 事	中谷美枝子	① 学校教職員の福利厚生に関する事 ② 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び再雇用嘱託員の社会保険に関する事 ③ 日野市教職員互助会に関する事 ④ 講師の報酬支給に関する事 ⑤ 学校教職員の公務災害に関する事 ⑥ 室内の庶務に関する事

平成 6 年度指導主事事務分担

1. 教科・領域担当

国語、書写	長谷川	生活	長谷川	体育、保健体育	宮川
社会	長谷川	音楽	長谷川	外国語	宮川
算数、数学	宮川	図画工作、美術	宮川	道徳	長谷川
理科	宮川	家庭、技術家庭	宮川	特別活動	長谷川

2. 市教育委員会事業

校長会	宮川	幼稚園長会	宮川
教頭会	長谷川	教務主任会	宮川
生活指導主任会	長谷川	進路指導主任会	宮川
保健主任会	長谷川	中学校生活指導主任会	長谷川
研究主任会	長谷川	体育主任会	長谷川
給食主任会	宮川	研修（初任者研修、A研修）	長谷川
就学相談委員会	宮川	人権尊重推進委員会	宮川
心身障害教育推進協議会	宮川	国際理解教育推進委員会	（人尊委）
授業改善委員会	宮川	情報教育推進委員会	長谷川
環境教育推進委員会	長谷川	学校図書館主任連絡会	宮川
日野市小学校教育研究会	長谷川	相談学級運営委員会	宮川
日野市中学校教育研究会	宮川	英語指導改善委員会	宮川
科学教育センター運営委員会	長谷川	初任者研修実施協議会	長谷川
音楽鑑賞教室運営委員会	長谷川	日光移動教室運営委員会	長谷川
情報公開検討委員会	宮川	水泳記録会運営検討委員会	宮川
進路指導問題協議会	（進指主任会）	日光移動教室資料作成委員会	（日光運営委）
学校週5日制検討委員会	（教務主任会）	健全育成資料作成委員会	（生指主任会）
教育相談ケース会議	長谷川	学校開放検討委員会	長谷川

3. 指導事務分担

都教委指導部・都研・多摩研	宮 川	都教育研究員・開発委員会委員	長谷川
国・都研究奨励、市研究奨励	宮 川	学 校 訪 問 ・ 指 導 訪 問	長谷川
教 育 課 程 届 出	宮 川	教 育 課 程 ・ 年 間 指 導 計 画	宮 川
研 究 集 録 、 副 読 本	長谷川	教 材 届 出 承 認	長谷川
遠足、移動教室、修学旅行届出	長谷川	ま ど べ 編 集 ・ 発 行	長谷川
就 学 相 談 ・ 措 置 替 指 導	宮 川	東京都市指導主事会、第二地区会	宮 川
行事予定作成、委員会等開催通知	長谷川	教 育 資 料 ・ 情 報	宮 川

4. 施設・行事

教 職 員 研 究 室	宮 川	教 科 書 セ ン タ ー	長谷川
文 化 行 事	宮 川	体 育 行 事	長谷川

5. 東京都教育委員会指導事務担当

学 校 訪 問 協 議 会	宮 川	同 和 教 育 指 導 推 進 委 員 会	宮 川
生活指導担当指導主事連絡協議会	長谷川	道徳教育担当指導主事連絡協議会	長谷川
区 市 指 導 主 事 研 究 会 議	宮 川	幼稚園教育担当指導主事連絡協議	宮 川
心身障害教育担当指導主事連絡協議	宮 川	安全教育担当指導主事連絡協議会	宮 川
消 費 者 教 育 推 進 委 員 会	長谷川	男 女 平 等 教 育 推 進 委 員 会	長谷川
在日外国人児童・生徒教育連絡会	長谷川	国 際 理 解 教 育 推 進 委 員 会	長谷川
外国人児童・生徒教育担当連絡会	長谷川	福 祉 教 育 推 進 委 員 会	宮 川
教員研修担当指導主事連絡協議会	長谷川	体 育 ・ 保 健 ・ 給 食 担 当 指 導 主 事 連	長谷川
環 境 教 育 推 進 委 員 会	長谷川	人 権 尊 重 教 育 推 進 校 委 員 会	長谷川
健 全 育 成 推 進 校 委 員 会	宮 川	進路指導担当指導主事連絡協議会	宮 川
学校週5日制担当指導主事連絡会	宮 川	勤 労 生 産 体 験 学 習 研 究 指 定 校 連 絡	長谷川
病 弱 児 教 育 研 究 協 力 校 連 絡 会	宮 川	中 学 校 生 徒 指 導 総 合 推 進 校 連 絡 会	宮 川

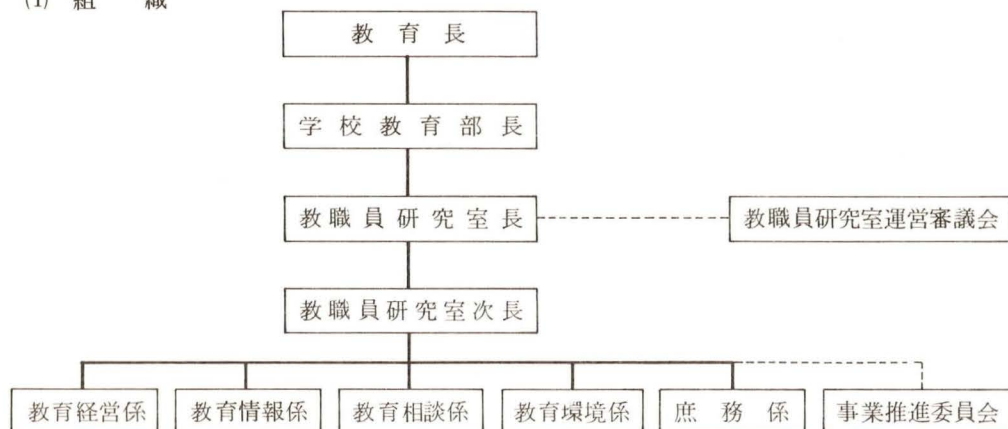
日野市立教職員研究室

日野市立教職員研究室は、教育に関する専門的・技術的事項の研究を通じ、その成果を敷衍し、教育内容の向上を図るとともに、教育関係職員の研修を積極的に進め、その資質の向上を図り、日野市における教育の充実と振興を図る教育機関として位置する。

1. 日野市立教職員研究室内の組織及び運営

日野市立教職員研究室に、室長、次長、事務職員、専門職員、顧問を置く。それぞれの職は、教育委員会がこれを任命する。

(1) 組織



(2) 職務

- ① 室長は、日野市教育委員会の命を受け、教職員研究室を管理し、教職員研究室が行う事業を企画、運営、実施する。また、その他の事務を掌理するとともに、所属職員を指揮監督する。
- ② 次長は、室長を補佐し、担当事務を処理する。
- ③ 指導主事は、研究室の専門職員の指導及び助言に当たる。
- ④ 主任は、各係を統括し、事業を遂行する。
- ⑤ 専門職員は、上司の命を受け、担当する事項の研究及び所掌事務に従事するとともに、指導主事の助言を得て、事業の実施に当たる。
 専門職員は、教育相談員、教育指導員（嘱託員）並びに教育委員会が任命する専門職員をいう。
- ⑥ 事務職員は、上司の命を受け、担当事務を処理する。
- ⑦ 顧問は、教育委員会が任命する学識経験者で、教育研究等の推進のための助言に当たる。
- (3) 日野市立教職員研究室運営審議会
 教職員研究室の運営について必要な事項を審議する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、学識経験者を持って充てる。
- (4) 日野市立教職員研究室事業推進委員会
 教職員研究室の事業計画・推進について検討する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、教職員研究室員を持って充てる。

2. 日野市立教職員研究室内の事業内容と分担

(1) 教職員研究室内の事業

- ① 幼児・児童・生徒についての研究調査及び教育関係職員の研修等に関する事。
- ② 教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育環境に関する事。
- ③ 教育に関する資料の整備及び活用に関する事。
- ④ 教育相談に関する事。
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか必要な事業。

(2) 教職員研究室事務分掌

- ① 教育経営係
 - ・教育経営の研究及び調査に関する事
 - ・教育関係職員の研究及び研修に関する事
 - ・幼児教育の研究及び資料の提供に関する事
- ② 教育情報係
 - ・教育資料の収集及び提供に関する事
 - ・教育方法の研究及び改善充実に関する事
 - ・情報教育の研究及びその活用に関する事
- ③ 教育相談(室)係
 - ・教育相談に関する事
 - ・教育相談に関する研究及び学校への援助に関する事
 - ・心身障害児の相談及び援助に関する事
- ④ 教育環境係(第一分室：日野市立日野第二中学校内に置く)
 - ・健全育成に関する研究及び資料提供に関する事
 - ・児童・生徒の適応指導及び学習促進に関する事
 - ・学校図書館の機能の活用に関する事
 - ・自然科学教育の研究及び振興に関する事
- ⑤ 庶務係
 - ・教職員研究室内の事務に関する事
 - ・他の係に属さない事

3. 教職員研究室職員

室長		園田 匠
(1) 教育経営係	主任	山口 武彦(研修担当)
	室員	小泉 宣夫(研修担当)
		高木 宏文(研修担当)
		石川 耀子(幼児教育担当)
(2) 教育情報係	主任	清水 七郎(教育資料担当)
		村田 志信(教育資料担当)
		志村 桂次(教育方法担当)
		影山 健(教育方法担当)
		古厩 清夫(情報教育担当)
		星野 晴一(情報教育担当)
(3) 教育相談(室)係	主任	河井 英子(一般教育相談)
		佐藤 奈緒恵(一般教育相談)
		御子柴 万里子(心身障害教育相談)
		渡辺 満子(心身障害教育相談)
		波多野 坦(学校教育相談)
	顧問	福島 脩美(東京学芸大学教授)

(4) 教育環境係	主任	海老島	宏（都立梅が丘病院児童神経科部長）
		三浦	勝也（学校図書館教育担当）
		草薙	和志（学校図書館教育担当）
		阿部	忠志（健全育成担当）
		北原	景昭（健全育成担当）
		綿引	正己（国際理解教育担当）
		福地	保（科学教育担当）
		江口	耕一（科学教育担当）
		有泉	徹郎（適応指導担当）
		大野	隆久（適応指導担当）

(5) 庶務係

教職員研究室次長	高橋	喜代子
事務	小松	あさ江
事務	本間	由利子

4. 教育 50 年史作成準備室

石井 三 士 清水 春 海

5. 教育相談事業

日野市教職員研究室教育相談係は、日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずるとともに、学校が行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

なお、教育相談は、相談員の指導の下、兼任教育相談員が分担・協力して行う。

(1) 相談内容・方法

【一般教育相談】

幼児・児童・生徒の学習、行動、特徴、性格、進路適正等にかかわる相談に応じ、個性や社会性を伸長するための助言・援助を行う。

【心身障害教育相談】

心身に障害のある幼児・児童・生徒の発達・成長にかかわる相談に応じ、その適性や能力を伸ばし、積極的に社会参加できるように相談・援助する。また、一人一人の幼児・児童・生徒の特性に則した適切な教育を実現するための相談・援助を行う。

【学校教育相談】

幼児・児童・生徒の学校（園）生活への適応、問題行動等にかかわる相談に応じ、学校、保護者、関係機関等との協力を得て、幼児・児童・生徒の個性や社会性を伸長するなどの指導、助言・援助を行う。

【電話相談】（92-0505）

電話による相談を行う。

(2) 兼任相談員

平 向 邦 江（日野第二幼稚園長）	森 藤 百々代（日野第八小学校養護教諭）
矢 野 良 枝（日野第二小学校教諭）	中 原 正 毅（平山台小学校教諭）
越 村 あや子（日野第五小学校教諭）	水 澤 光 子（七生中学校教諭）
川原田 和 子（潤徳小学校教諭）	菊 池 基 文（日野第四中学校教諭）
佐 藤 ヒサ子（平山小学校養護教諭）	井 原 千恵子（三沢中学校教諭）
若 林 真砂子（日野第八小学校教諭）	

日野市心身障害教育推進協議会

目 的

本協議会は、日野市教育委員会から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図ることを目指し、心身に障害のある幼児・児童・生徒に適切な教育を保障するための教育条件の整備、指導内容・方法の改善・充実並びに社会的な自立を促す教育の在り方等について研究するとともに、心身障害児理解教育を具体的に進め、啓発活動や教職員を対象とした研修、交流教育等の諸事業を企画し実践する。

事業の内容

上記の目的を達成するため、本協議会の事務局を協議会々長校に置き、次の主たる事業を行う。

- ①心身障害教育の在り方の検討、②固定学級及び通級学級における指導と学級経営の在り方の検討、③心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進、④就学相談の充実と相談活動への協力と援助、⑤幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握、⑥学校における相談組織と機能の充実⑦進路指導の充実

組 織

- (1) 本協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、学校教育部長、指導室長、学務課長、指導主事、指導係長、顧問医、日野市心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、各幼・小・中学校（園）の教員（心身障害教育担当）、教育相談室専任相談員、本協議会々長が指名した者。

- (2) 本協議会は、次の専門部を置き、上記の事業を推進する。

- | | |
|-------|--|
| ア、研究部 | 心身障害教育の在り方、心身障害学級の適正配置及び将来構想等に関する研究 |
| イ、研修部 | 心身障害教育に関する研修の推進、啓発資料の作成等に関する取り組みと調査 |
| ウ、相談部 | 相談活動への協力、幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握と担任への援助 |

委託の内容

1. 心身障害教育の在り方の検討

心身障害教育の課題を踏まえ、各幼稚園及び小・中学校は家庭・地域社会や関係機関との連携を深め、幼児・児童・生徒一人一人の能力や適性を最大限に伸ばし、生涯にわたって学び続け、積極的に社会参加し、生きがいをもって充実した生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒の障害の状態に即した適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善を進め、個性を育むとともに基礎基本の徹底を図る教育の在り方について、検討を願いたい。

また、幼児・児童・生徒の個性や能力及び発達を適正に把握した上で、指導の目標を明確にして個別の指導計画を作成し、個に応じた教育プログラムによる小集団指導や個別指導を進め、自ら学ぶ意欲をもつことができるよう指導方法や形態の工夫をするとともに、教材・教具の開発、施設・設備の

活用、環境の改善並びに「養護・訓練」、「生活」並びに各教科の指導や領域・教科を合わせた指導等の在り方について、課題やねらいを明確にした授業実践を通して検証を願いたい。

2. 固定学級及び通級学級における指導と学級経営の在り方の検討

学校教育施行法規則の一部改正により、「通級による指導」が制度化されたことに伴い、通常の学級に在籍しながらきめ細かな個別指導が可能となったことをふまえ、固定学級の在り方並びに通級学級の指導と通級による指導の関連や役割を明確にするとともに、通常の学級の指導内容との一貫性、系統性の図り方や、通級指導教室等の配置等について調査研究願いたい。

3. 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

人権尊重の教育の視点に立ち、学校の教育活動全体を通して、普段に幼児・児童・生徒並びに地域社会の人々が共に活動し、相互理解を深める交流教育の一層の拡充を願いたい。

さらに、学校や地域社会における心身障害児理解教育を一層推進し、心身に障害のある幼児・児童・生徒に対する正しい理解と認識を深めるため、日野市全体を視野に入れた心身障害教育に関する啓発資料を作成並びに広報活動を具体的に検討し、実施願いたい。

4. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

日野市教育委員会は、医師、心理学者、心身障害教育関係者、心身障害学級設置校校長及び教諭、教育相談員等を委員として組織し、幼児・児童・生徒の個性や能力、適性等を伸ばす上で最も適した教育環境や教育の在り方について配慮するため、就学相談を実施している。ついては、全ての幼児・児童・生徒に適正な教育を保障するため、就学相談の充実並びに適切な教育措置を期し、就学相談活動の望ましい方法及び相談者の専門的力量を高めるための研修を推進するとともに、きめ細かな教育相談が進められるように相談活動への協力と援助を願いたい。

5. 幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握

教育相談の結果に基づいて教育措置を決定した後、幼児・児童・生徒の園や学校での適応状況及び教育効果、保護者の期待や学校及び学級担任の悩みや課題等について、日野市立小・中学校及び都立養護学校等の義務教育機関に在学している心身障害児の適応状況や発達状況を継続的に把握し、教育相談活動や指導・援助に不可欠な資料を作成願いたい。

6. 学校における相談組織と機能の充実

関係諸機関等との連携による教育相談や心身に障害のある幼児・児童・生徒の援助・指導の在り方、学校（園）の組織を生かした担任教師への協力の在り方等について研究するとともに、校（園）内での教育相談充実のための資料の作成を願いたい。

7. 進路指導の充実

心身に障害のある児童・生徒の個性や能力、適性を最大限に伸ばし将来社会的に自立して生活していくことができるように、その基礎・基本を習得させるとともに、体験的な学習を通して社会生活への参加や適切に進路選択ができるよう、実践を踏まえた指導の在り方の研究を願いたい。

日野市立小学校科学教育センター

1. 目 的

児童の課題意識を基に観察・実験などを通して、意欲的に探究し、自然の事物・現象についての特性や決まりをとらえ、自然についての科学的な見方や考え方を養うとともに自然を愛する豊かな心情を涵養し、自ら学ぶ意欲を高め、生涯を通じて学び続ける児童を育むことを目指すものとする。

このことによって、これから先の高度情報化社会や産業構造、生活様式の変化に主体的に対応し、こころ豊かに逞しく生きていく児童を育成する。

2. 内 容

児童の自然科学に対する興味・関心を喚起し、課題意識を持って意欲的に探究することのできる内容とする。

指導員は、可能な限り教えることを少なくし、児童が問題の発見から結論に至る一連の問題解決の過程を大切にしたい援助・指導に重点を置き、児童の自ら学ぶ楽しさ、追求する楽しさ、調べる楽しさなどを実感できるものとする。

こうした内容とすることによって、児童の自然に対する豊かな心情や自己効力感を高めることのできるものとする。

3. 運 営

(1) 設 置 科学教育センター校として、当分の間、日野市立日野第五小学校に置く。

(2) 講 座 ア. 1年間を前期、後期の二期制とし、期を通して児童の課題意識を基に、問題の発見から結論に至る一連の研究活動を行うものとする。

さらに、夏季講座を開講する。夏季講座は、「日野市立八ヶ岳高原大成荘」を拠点として、自然観察を中心とした内容とする。

①前期（5月～9月）、②後期（10月～2月）、③夏季講座（7月下旬）

イ. 各講座の単位時間と単位数

①1単位時間を概ね2時間（土曜日午後）とする。

②単位数を概ね8単位とする。

③夏季講座は、5単位とする。

ウ. 夏季講座の移動用バス借上料以外の諸費用は、参加者の自己負担とする。

(3) 対象児童と定員

各講座の定員を40名とする。ただし、前期は6年生児童、後期は5年生児童を対象とする。夏季講座は、前期講座終了者を主たる対象とする。

4. 運営組織

(1) 科学教育センター長、センター次長、主任を置く

- ①科学教育センター長は、科学教育センターの設置校長とする。
- ②科学教育センター次長は、科学教育センターの設置教頭とする。
- ③主任は、東京都嘱託職員を充てるものとする。

(2) 科学教育センター運営委員会を置く

- ①次の運営委員による協議を基に科学教育センターを運営する。

- ア. 委員長（小学校長） 1名
- イ. 副委員長（科学教育センター長） 1名
- ウ. 副委員長（小学校教頭） 1名
- エ. 科学教育センター次長 1名
- オ. 科学教育センター主任及び担当 2名
- カ. 指導員（小学校教諭） 4名
- キ. 日野市教育委員会学校教育部指導室長 1名
- ク. 日野市教育委員会指導主事 1名

- ②運営委員会は委員長が召集する。

(3) 指導組織

- ①科学教育センター長、次長の指導の下、主任と指導員が協力してセンター生の指導に当る。
- ②指導員は、センター生の小集団を形成し、これを責任を持って援助・指導に当る。

(4) 指導員を置く

- ①小学校教諭を持って充てる。
- ②学習内容に即した社会人講師を充てる。ただし、科学教育センター長の要請によるものとする。

(5) 指導計画作成委員会を置く

- ①指導計画作成委員会を設置し、各期及び夏季講座の指導計画を作成する。
- ②指導計画作成委員会は、科学教育センター長の指導のもと、センター主任が中心となり、指導員の協力のもとに指導計画を作成する。

運営費・その他

(1) 科学教育センター委託費

授業委託費を運営費（消耗品、備品、印刷費、夏季講座バス借上料等）並びに指導員等の報酬に当てる。

(2) センター生（児童）の通学

- ①科学教育センターへの通学のための諸費用はセンター生の自弁とする。
- ②通学途中における交通事故等による災害補償は、児童の在籍校が日本体育・学校健康センターへの手続きを行い、給付を受けるものとする。
- ③自転車による通学は禁止し、センター主任を中心として、適宜交通安全指導を行うものとする。

5. 平成6年度・科学教育センターの運営組織

委員長	小幡 建（日野第六小学校長）	センター長	畑石 重輝（日野第五小学校長）
副委員長	品田 敏男（旭が丘小学校教頭）	次 長	吉野美智子（日野第五小学校教頭）
主 任	福地 保（教職員研究室）	担 当	江口 耕一（教職員研究室）
指 導 員	中野由紀子（日野第一小学校教諭）	指 導 員	豊田 光（日野第七小学校教諭）
指 導 員	綾部 耕基（日野第二小学校教諭）	指 導 員	磯島 章（南平小学校教諭）
指 導 員	高藤 静江（日野第二小学校教諭）	指 導 員	小山 隆（滝合小学校教諭）
指 導 員	井上 充（日野第三小学校教諭）	指 導 員	松本 善秀（百草台小学校教諭）
指 導 員	田村 直樹（日野第四小学校教諭）	指 導 員	高橋 智子（高幡台小学校教諭）
指 導 員	鈴木 節子（日野第五小学校教諭）	指 導 員	上條 茂（旭が丘小学校教諭）
指 導 員	折笠 玉典（日野第五小学校教諭）	指 導 員	青山 幸江（東光寺小学校教諭）
指 導 員	蔵元由貴乃（日野第五小学校教諭）	指 導 員	矢野百合子（程久保小学校教諭）
指 導 員	小川浩太郎（日野第六小学校教諭）	指 導 員	中江 智明（三沢台小学校教諭）
指 導 員	牧野 豊（潤徳小学校教諭）	指 導 員	小泉 昇（平山台小学校教諭）
指 導 員	前澤 正治（平山小学校教諭）	指 導 員	八木 正子（仲田小学校教諭）
指 導 員	大成 鐸夫（日野第八小学校教諭）		

日野市立公立学

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第七幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第八小学校	百草台小学校
校(園)長名	横島 静子	平向 邦江	坂口 嘉津子	山本 智恵子	酒匂 瑠美子	高野 真由美	上野 美津枝	岩下 和夫	秋山 憲一	三津山 要	片岡 千壽子	畑 石 重輝	小幡 建	香川 善平	内藤 康	鈴木 利恵子	小笠原 久雄
学級数	四	三	三	二	二	二	四	一四	一九	二二	二二	一八	一七	一二	一二	一八	二二
児童数(生徒数)	九三	五六	五四	五八	五九	四三	一一九	四六三	六二八	四〇六	四五八	六〇三	五二四	三二一	三八五	五九九	三七二
教員数	六	五	五	四	四	四	六	二二	二六	二三	一七	二六	二四	一七	一八	二四	二〇
電話	81 4124 4105	91 4125	81 7127	83 3903	92 0432	92 6330	86 3770	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	91 4123 0512	91 2411 2412	91 0997 0998
所在地	多摩平四一三	平山四一五―四	日野本町二―一四―一	石田四三一―六	三沢一七五	程久保八七六―二	旭が丘二―四二	日野本町二―一四―一	東豊田二―一四―一	日野台二―一―一	石田四三〇	多摩平六―二―一	多摩平三―二―一	高幡四〇二	平山四一八―六	三沢二〇〇	百草九九九
交通機関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	京王バス日野自動車前下車、徒歩七分 中央線日野駅下車、徒歩十分	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分 高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車

校・幼稚園一覧

平成6年5月1日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
草刈喜一	兼島政邦	小林繁人	馬場武	倉重利恵	信夫清彦	増賀従男	鍋田良子	西田敦子	中村孝一	松澤茂久	日食和雄	名塚三雄	福島良樹	高橋和子	山崎妙子	伴野博夫	中根勉
一七	一二	一七	一二	一二	二四	八 ^(二)	一二	一二	一二	一八	一七	二 ^(四)	一九	一九	一四	一七 ^(二)	一三
五七五	三二七	五八三	四二〇	三七五	七九七	二二〇 ^(九)	三五六	三〇九	三一七	六四六	六一〇	四 ^(二五) 四五四	六八四	七〇二	五三三	六三一 ^(一〇)	四五七
二三	一七	二三	一七	一八	三〇	一六	一七	一七	一七	三二	二九	二九	三三	三五	二七	三二	二五
83 5172 5173	91 7011 7012	83 3907 3908	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保一―一四―二	旭が丘五―二一―一	平山二―一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一―七四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―三	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四―二	三沢二五	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

() 内は心障学級数

校長・教頭事業担当一覧

1. 学校教育部

(1) 指導室関係(その1)

◎委員長・会長 ○副委員長・副会長 ●委員・担当者

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
主任会	教務主任会	◎岩下 和夫	○中根 勉	●雨宮 充	●太田 俊彌
	生活指導主任会	◎馬場 武	○松澤 茂久	●斎藤 正子	●三浦 義次
	中学校生活指導主任会		◎松澤 茂久		○三浦 義次
	進路指導主任会		◎山崎 妙子		○酒井 德行
	保健主任会	◎小笠原久雄	○高橋 和子	●宇野有斐子	●辻野 良子
	研究主任会	◎小林 繁人	○福島 良樹	●森野 豊	●片倉 俊秀
	体育主任会	◎信夫 清彦		○武内 忠雄	
委員会	人権尊重教育推進委員会	◎中村 孝一	○日食 和雄	●岡田壽美子	●深山 睦弘
	国際理解教育推進委員会	◎岩下 和夫	○中根 勉	●岡田壽美子	●深山 睦弘
	情報教育推進委員会	◎馬場 武	○名塚 三雄	●太田由紀夫	●
	環境教育推進委員会	◎秋山 憲一	○中根 勉	●太田由紀夫	●辻野 良子
	学校週5日制検討委員会	◎岩下 和夫	○中根 勉	●雨宮 充	●太田 俊彌
		●中村 孝一 ●三津山 要		●高橋 茂子	
	情報公開検討委員会	◎小幡 建	○日食 和雄	●木内 秀雄	●深山 睦弘
運営	水泳記録会運営検討委員会	◎信夫 清彦 ○内藤 康 ●兼島 政邦		●武内 忠雄 ●八木 文夫	
	音楽鑑賞教室運営委員会	◎三津山 要	○高橋 和子	●高橋 茂子	●鈴木 渉
	小・日光移動教室運営委員	◎兼島 政邦		●八木 文夫	
		○鍋田 良子		●逸見 明男	
		○畑石 重輝		●西森 恵子	
	小・水泳記録会運営委員会	◎信夫 清彦		●武内 忠雄	
		○鈴木利恵子		●八木 文夫	
	中・水泳記録会運営委員会		◎日食 和雄		○石川 光男
	相談学級運営委員会		◎名塚 三雄		●三浦 義次
	学校図書館主任連絡会	◎西田 敦子	○山崎 妙子	●西森 恵子	●

指導室関係（その２）

委 託	授 業 改 善 委 員 会	◎小林 繁人 ○増賀 従男	○福島 良樹	●森野 豊	●鈴木 渉
	心身障害教育推進協議会	◎増賀 従男 ●三津山 要 ●畑石 重輝 ●小笠原久雄	○伴野 博夫 ●名塚 三雄	●品田 敏男 ●小杉 博司 ●高橋 茂子	●石川 光男
	科 学 教 育 セ ン タ ー	◎畑石 重輝 ○小幡 建		●吉野美智子 ●品田 敏男	
推 進	就 学 相 談 委 員 会	◎小笠原久雄 ●三津山 要	○伴野 博夫	●品田 敏男 ●小杉 博司 ●高橋 茂子	●太田 俊彌
	英 語 指 導 改 善 委 員 会		◎福島 良樹		○深山 睦弘
	初任者研修実施協議会	◎岩下 和夫 ○畑石 重輝	○高橋 和子	●	●
	日 野 市 教 育 研 究 会	◎片岡千壽子 ○小林 繁人	○松澤 茂久 ○日食 和雄	●飯田 国代 ●畑野 元一	●太田 俊彌
	進路指導問題協議会		◎山崎 妙子 ○名塚 三雄		○酒井 徳行
	書 初 展 実 行 委 員 会	◎鈴木利恵子	○山崎 妙子	●斎藤 正子	●酒井 徳行
資料作成	福祉副読本改訂委員会	◎鈴木利恵子	○中根 勉	●逸見 明男	●辻野 良子
	健全育成資料作成委員会	◎馬場 武	○松澤 茂久	●斎藤 正子	●片倉 俊秀
	日光移動教室資料作成	◎兼島 政邦 ○鍋田 良子 ○畑石 重輝		●八木 文夫 ●逸見 明男 ●西森 恵子	
	八ヶ岳移動教室資料作成	◎中村 孝一		●太田由紀夫	
	「まどぺ」編集委員会	◎倉重 利恵		○小原 良雄	●片倉 俊秀

(2) 庶務課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小 学 校	中 学 校	小 学 校	中 学 校
各種委員	戦後教育史編纂委員会	●小林 繁人	●中根 勉		
	中学校体育連盟・研究会		●高橋 和子		

(3) 学務課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
給食関係	給 食 主 任 会	◎鍋田 良子	○日食 和雄	●吉野美智子	●鈴木 渉
	学 校 給 食 会	◎鍋田 良子	○日食 和雄	●吉野美智子	●鈴木 渉
保健関係	学 校 保 健 会	◎小笠原久雄	○高橋 和子	●宇野有斐子	●辻野 良子
	養 護 教 諭 会	◎小笠原久雄	○高橋 和子		

(4) 研究室関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	研 究 室 運 営 審 議 会	●内藤 康			
	研 究 室 事 業 推 進 委 員 会	◎香川 善平	○名塚 三雄	●逸見 明男	●鈴木 渉

2. 社会教育部

(1) 社会教育課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	社 会 教 育 委 員	●内藤 康			
	市 P T A 連 絡 協 議 会 理 事	●秋山 憲一 ●兼島 政邦 ●鈴木利恵子	●松澤 茂久 ●福島 良樹		

(2) 体育課関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	学校体育施設解放運営委員	◎信夫 清彦		●武内 忠雄	●三浦 義次

(3) 図書館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	図書館運営審議委員	●増賀 従男			

(4) 公民館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	公民館運営審議委員	●秋山 憲一			

(5) ふるさと博物館関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	ふるさと博物館運営委員	●草刈 喜一	●松澤 茂久		

3. 都校長会・都教育委員会関係

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	青少年健全育成委員	●小笠原久雄	●伴野 博夫		
	環境週間行事運営委員	●	●		

4. その他

分 類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	環境緑化協会評議委員	●中村 孝一			
	市教職員互助会理事	●小幡 建	●名塚 三雄	●上田 憲二	
	保健所事業運営委員	●小幡 建			

平成 6 年度 管理運営規則

	学 校 名	学 校 長	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日 野 一 小	岩下 和夫	志賀 由具	黒川 和彦	矢口由美子	
2	日 野 二 小	秋山 憲一	平島 孝夫	久保田由子	渡辺 敏子	
3	日 野 三 小	三津山 要	橋本 清明	長澤 範重	渡辺三枝子	
4	日 野 四 小	片岡千寿子	矢野 優	安西 利江	丸山 幸江	
5	日 野 五 小	畑石 重輝	鈴木 節子	北野 義昭	常盤 町子	
6	日 野 六 小	小幡 建	佐藤 静雄	市川 光男	金野 峰子	
7	潤 徳 小	香川 善平	清水 義路	間島 春美	川原田和子	
8	平 山 小	内藤 康	渡辺 学	田中 延子	駒形 富子	
9	日 野 八 小	鈴木利恵子	林 亀三	海老原真知子	森藤百々代	
10	百 草 台 小	小笠原久雄	宮崎 亘	木附 隆三	船山 陽子	
11	滝 合 小	草刈 喜一	染谷 定昭	西尾 京子	馬場 裕子	
12	高 幡 台 小	兼島 政邦	銭廣 芳子	比嘉 道子	古越 富子	
13	日 野 七 小	小林 繁人	河野 千秋	岩松 親和	国崎 桑子	
14	南 平 小	馬場 武	吉田 弘	山田 栄子	竹野 久乃	
15	程久保小	倉重 利恵	竹内 勝美	粕谷 吉弘	樋山 千秋	
16	旭が丘小	信夫 清彦	上條 茂	須藤 春美	小島 典子	
17	平 山 台 小	増賀 従男	中村 康成	二宮 弘美	荒居 和子	
18	東 光 寺 小	鍋田 良子	小林むつみ	佐藤 幸夫	石田志津子	
19	三 沢 台 小	西田 敦子	鷹尾富貴江	小林 和子	太島真知子	
20	仲 田 小	中村 孝一	田中 晴美	土方 久枝	小林八重子	
1	日 野 一 中	松澤 茂久	千葉 英明	吉田 俊明	高橋 恵子	山田 智之
2	日 野 二 中	日食 和雄	濱本 敏朗	野口 英一	三瓶 法子	小鷹 文一
3	七 生 中	名塚 三雄	瀬川 昭英	真仲 祐一	根岸 智子	長坂 昌弘
4	日 野 三 中	福島 良樹	平山 方茂	山口 俊浩	小林 浄子	大谷 浩
5	日 野 四 中	高橋 和子	鎌田 義男	鈴木 直也	佛圓 京子	中山 郁子
6	三 沢 中	山崎 妙子	長友 良嗣	清水 明	小野田恵子	磯部 博子
7	大 坂 上 中	伴野 博夫	木嶋 健	池田 誠喜	奥住貴美代	田熊 裕
8	平 山 中	中根 勉	井ノ上節子	北野 一也	阿部貴美子	中里 久子

第 八 条 に 基 づ く 主 任 一 覧 表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
風野 敏子	馬場 俊子	土井 公子	花田 僚子	丸茂 洋子	寺本 喜和
小口 澄代	楨 圭子	久保田由子	田中 和子	高橋 孝子	松澤 和代
北島あけみ	諏訪 英樹	廣嶋とし子	古家 静子	長澤 範重	前田佐和子
橋爪 憲子	安西 利江	玉置 順子	滝島 欣子	中根 京子	名取 明代
酒匂由美子	川上さち子	赤井 光子	鈴木知英子	御木 茂	斎藤 弥生
佐々木隆雄	高木千恵子	野村 治子	逸見 黎子	清水 良夫	宗近 孝子
志村 道子	志賀千恵子	小俣 靖江	秋葉 秀茂	高橋 健	清水 義路
駒形 富子	田中 延子	池田 雅子	港 澄江	金子 直子	渡辺 学
加藤 暉子	赤松 紀子	横山 昌司	武田 恵子	三浦理恵子	山下 幸代
遠藤佐知子	横溝けい子	中島 志郎	宮崎 亘	松本 善秀	木附 隆三
小山 隆	後藤 絢子	上條かなゑ	藤澤 恵子	長浜 和子	橋本 泰子
塚本 順子	国領美那子	銭廣 芳子	若松富紀子	千葉 正美	高橋 智子
小畑由美子	桑沢 悦子	藤本はるみ	落合 幸子	小坂 克信	井浦 弘
芝田 理恵	村山 栄子	溝江恵美子	西川 朝子	永原 愛子	山田 栄子
矢野百合子	田中 悦子	吉野 弘	竹内 勝美	三木 滋	粕谷 吉弘
和栗 悦子	鎌田 清美	伊東あき子	窪田 弥生	入田 純子	赤松 昭子
小山田ひろみ	針田 和子	坂井ミチ子	小泉 昇	吉尾真理子	中村 康成
青山 幸江	三枝 光子	会田 尚子	黒木 桂子	藤井 義啓	笠井 祐子
桑田 悦子	真野 功	山浦 幸子	鷹尾富貴江	中江 智明	桐生 雅行
田中 晴美	宇土 悦子	相川 隆子	植松久美子	雨宮 宣夫	土方 久枝
浅野 和也	荒 延江	寺澤 義雄			
山田 雄次	橋本 幹雄	三條 正善			
真柴 哲子	今井 正喜	大坪久美子			
荒川 善敏	服部 圭助	井上 義孝			
井上 雅之	村上 敏雄	荒川 歌津			
原田 康司	福地 和子	高崎 雅子			
佐藤 勇	成瀬 誠	田熊 裕			
堤 信博	池田 純二	坂井 悦子			

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研究・研修	教育課 題	国 語 科	社 会 科	算数・数学科
1	日 野 一 小	和田いさを	黒川 和彦	花田 僚子	寺本 喜和	山田 治枝
2	日 野 二 小	綾部 耕基	寺本恵久子	磯田 洋子	田中 和子	高木 映子
3	日 野 三 小	樋口 俊子	橋本 清明	前田佐和子	廣島とし子	古家 静子
4	日 野 四 小	陶山 葉子	名取 明代	橋爪 憲子	滝島 欣子	坂本 有子
5	日 野 五 小	御木 茂	折笠 玉典	高橋真知子	馬場 富男	本多 和美
6	日 野 六 小	高木千恵子	宗近 孝子	宗近 孝子	佐藤 静雄	渡辺美佐緒
7	潤 徳 小	五十嵐明子	間島 春美	清水 絢子	川原田和子	志村 道子
8	平 山 小	港 澄江	駒形 富子	港 澄江	田中 延子	池田 雅子
9	日 野 八 小	三浦理恵子	斎藤 悦子	三浦理恵子	横山 昌司	海老原眞知子
10	百 草 台 小	大鳥ルミ子	遠藤佐和子	大鳥ルミ子	中島 志郎	磯部 麻里
11	滝 合 小	岡部ひとみ	丹羽 亮典	栗山 洋子	藤澤 恵子	栗原 典子
12	高 幡 台 小	千葉 正美	千葉 正美	伊藤 奈穂	藤井 敏晴	五味 小波
13	日 野 七 小	小坂 克信	川井田和子	神 匡子	落合 幸子	外山 理佳
14	南 平 小	依田 逸夫	山田 栄子	村山 栄子	西原美枝子	溝江恵美子
15	程 久 保 小	矢野百合子	吉野 宏	竹内 勝美	森 幸子	田中 悦子
16	旭 が 丘 小	伊藤 紀子	太田 敬子	秋本 京子	田代 久子	吉川 都子
17	平 山 台 小	針田 和子	中村 康成	仲本 雅代	倉津 節子	小林 良江
18	東 光 寺 小	笹本 竹司	秋葉 榮一	笠井 祐子	高木 宏	富澤 和子
19	三 沢 台 小	中江 智明	湯浅百香里	鷹尾富貴江	中江 智明	桑田 悦子
20	仲 田 小	植松久美子	植松久美子	相川 隆子	小山しおり	田中 晴美
1	日 野 一 中	浅野 哲男	細井 勝一	中村理英子	細井 勝一	山川 徳弥
2	日 野 二 中	松元 郁子	倉橋 延男	松本 栄二	倉橋 延男	鬼頭 昭
3	七 生 中	松原 清	大坪久美子	大久保由紀子	真仲 祐一	松原 清
4	日 野 三 中	大谷 浩	細谷 敏昭	岡部 純子	平山 方茂	成田 義信
5	日 野 四 中	菊池 基文	村上 敏雄	河手 達治	高津 良幸	小佐野一秀
6	三 沢 中	岡辺 稔	中野 秀樹	磯部 博子	山口 律子	鷺尾 仁
7	大 坂 上 中	岡 猛人	池田 誠喜	木下 英典	岡 猛人	佐藤 勇
8	平 山 中	池田 順二	中里 久子	林 範夫	石村 繁樹	池田 順二

及び担当一覧（その１）

理 科	生 活 科	音 楽 科	図工・美術科	体 育 ・ 保健体育科	技 術 ・ 家庭科（女）
中野由紀子	風野 敏子	栖原 太郎	関 賀穂留	菊池 修	
綾部 耕基	槇 圭子	須山ひとみ	川名 勝紀	赤木はるか	
井上 充	北島あけみ	大久保光子	宗像ゆき子	山平 繁	
玉置 順子	陶山 葉子	立花せつ子	小野絵美子	福田 功	
鈴木 節子	川上さち子	岡田 恵子	北野 義昭	山北 雅史	
市川 光男	高木千恵子	村上 悦子	霊山 邦夫	鮎家 純	
牧野 豊	志賀千恵子	饗庭 仁美	松崎しのぶ	高橋 健	
前澤 正治	駒形 富子	千秋 香	服部たかし	成井 大祐	
大成 鐸夫	沼田恵美子	鈴木 栄一	高橋 英子	澤田 利哉	
松本 善秀	横溝けい子	福田 栄子	丸 カズ子	磯部 麻里	
遠田 弘	後藤 絢子	鳥山 悦子	岩崎 裕	佐藤 睦	
塚本 純子	国領美那子	作山 秀樹	宇留賀公夫	富田 郁子	
豊田 光	桑沢 悦子	椎名 圭子	尾関いずみ	國安 輝至	
西川 朝子	生井 恵子	稲葉 重樹	依田 逸夫	磯島 章	
樋口 邦男	矢野百合子	川上 一枝	木村 令子	吉野 宏	
岡田 充生	和栗 悦子	鶴蘭美千代	野村 好伸	山崎 富子	
小泉 昇	針田 和子	二宮 弘美	大久保睦子	小山田ひろみ	
笹本 竹司	青山 幸江	洲崎 明美	秋葉 榮一	藤井 義啓	
鈴木 茂子	小林 和子	村田那智子	倉林 晴夫	桐生 雅行	
小俣三佳子	佐藤 民男	櫻川 順子	鶴田久美子	岩崎 英夫	
平沢 明雄		和田ゆき子	山田 智之	臼井由美子	横山 勝行
飯嶋 生正		田中 幸美	小島 俊子	山田 雄次	三条 正善
松井 保子		長坂 昌弘	常松 瑞穂	小菅 房子	鈴木 茂
古田 俊光		大宅 寛	早崎 希子	横溝 雅之	井上 義孝
川上 雅之		村上 敏雄	渡辺 圭子	石川 晴一	竹田 和彦
原田 康司		植松 幸子	及川 克裕	石田 匡志	鶴田 幸二
関 順子		石塚 史子	成瀬 誠	堀田 智暁	佐藤 至正
坂井 悦子		松野 智子	中里 久子	北野 一也	堤 信博

日野市立小・中学校主任

	学 校 名	技 術・ 家庭科(男)	英 語 科	道 徳	特 別 活 動	学 校 行 事
1	日 野 一 小	山本 順子		丸茂 洋子	風野 敏子	志賀 由具
2	日 野 二 小			小島 義範	内田 知子	平島 孝夫
3	日 野 三 小	大類 英美		諏訪 英樹	大久保光子	井上 充
4	日 野 四 小	中根 京子		矢野 優	名取 明代	矢野 優
5	日 野 五 小	寺岡千恵子		折笠 玉典	越村あや子	折笠 玉典 鈴木知英子
6	日 野 六 小	森田 隆子		野村 治子	和田 雅実	佐藤 静雄
7	潤 徳 小	清水 義路		清水 絢子	牧野 豊	志賀千恵子
8	平 山 小	金子 直子		渡辺 学	利根川 薫	渡辺 学
9	日 野 八 小	山下 幸代		斎藤 悦子	横山 昌司	横山 昌司
10	百 草 台 小	岡島 美代		遠藤佐和子	遠藤佐和子	宮崎 亘
11	滝 合 小	岡部ひとみ		丹羽 亮典	上條かなゑ	染谷 定昭
12	高 幡 台 小	高橋 智子		千葉 正美	高橋 智子	銭廣 芳子
13	日 野 七 小	有馬佳代子		川井田和子	有馬佳代子	河野 千秋
14	南 平 小	永原 愛子		吉田 弘	溝江恵美子	吉田 弘
15	程 久 保 小	佐藤 徳子		三木 滋	佐藤 徳子	田中 悦子 吉野 宏
16	旭 が 丘 小	佐藤 智子		近藤 千穂	青柳香穂留	野村 好伸
17	平 山 台 小	吉尾真理子		中村 康成	坂井ミチ子	中村 康成
18	東 光 寺 小	小林むつみ		三枝 光子	高木 宏	小林むつみ
19	三 沢 台 小	松田 真弓		佐々木幸恵	真野 功	鷹尾富貴江
20	仲 田 小	八木 正子		土方 久江	佐藤 民男	田中 晴美
1	日 野 一 中	荒 延江	葛岡 明子	河邊さち子	山田 智之	千葉 英明
2	日 野 二 中	秋庭 英子	橋本 幹雄	小島 俊子	野口 英一	鬼頭 昭
3	七 生 中	佐藤 壽枝	真柴 哲子	大坪久美子	真仲 祐一	瀬川 昭英
4	日 野 三 中	舟山 貴子	御木 聖子	原沢 和江	平山 方茂	平山 方茂
5	日 野 四 中	古川 彰子	菊池 基文	内藤佐喜子	市川 尚春	鎌田 義雄
6	三 沢 中	田畑 恵子	柄沢都世子	柄沢都世子	長友 良嗣	長友 良嗣
7	大 坂 上 中	渡辺やす子	林田 千野	成瀬 誠	成瀬 誠	木嶋 健
8	平 山 中	斉藤 妙子	常松 悦子	堤 信博	斉藤 妙子	井ノ上節子

及び担当一覧（その２）

視 聴 覚	学校図書館	給 食	安 全 教 育	養 護
寺本 喜和	風野 敏子	馬場 俊子	花田 僚子	清水 妙子
綾部 耕基	西志村二三子	榎 圭子	渡辺 敏子	渡辺 敏子
井上 充	馬場 延子	前田佐和子	北島あけみ	渡辺三枝子
田村 直樹	玉置 順子	立花 節子	陶山 葉子	丸山 幸江
酒匂由美子	高橋真知子	岡田 恵子	馬場 富男	常盤 町子
飴家 純	垣内奈緒美	森田 隆子	市川 光男	金野 峰子
牧野 豊	秋葉 秀茂	饗庭 仁美	川原田和子	反町麻佐子
前澤 正治	池田 雅子	金子 直子	田中 延子	佐藤ヒサ子
中山 勉	加藤 暉子	加藤 征子	中山 勉	森藤百々代
宮崎 亘	廣瀬 逸子	横溝けい子	木附 隆三	船山 陽子
小山 隆	栗原 典子	高橋 紀子	遠田 弘	戸塚美由紀
藤井 敏晴	若松富紀子	伊藤 奈穂	比嘉 道子	古越 富子
小畑由美子	藤本はるみ	尾関いずみ	落合 幸子	中山 伸子
芝田 理恵	高瀬はる美	西川 朝子	山田 栄子	竹野 久乃
三木 滋	森 幸子	木村 令子	粕谷 吉弘	田島 佳子
入田 純子	伊東あき子	秋野美津子	須藤 春美	小島 典子
小泉 昇	吉尾真理子	中原 正毅	小泉 昇	荒居 和子
青山 幸江	笠井 祐子	洲崎 明美	秋葉 榮一	石田志津子
倉林 晴夫	山浦 幸子	村田那智子	鈴木 茂子	太島真知子
岩崎 英夫	藤森 睦美	宇土 悦子	土方 久枝	小林八重子
横山 勝行	田和 菜穂	横溝 明子	和田ゆき子	高橋 恵子
長井 忍	鈴木 晶子	岡部 隆男	田中 厚	三瓶 法子
大久保由起子	小菅 房子	横田 恵子	真柴 哲子	根岸 智子
細谷 敏昭	大宅 寛	山本 潔子	山口 俊浩	小林 浄子
川上 雅之	渡辺 圭子	鈴木 園生	鈴木 直也	佛圓 京子
岡辺 稔	岡辺 稔	染葉 仁博	井原千恵子	小野田恵子
倉田 和俊	横山砂知子	佐藤 至正	奥住貴美代	奥住貴美代
林 範夫	升川 綾子	福里 佳代	鈴木 浩	阿部貴美子

平成 6 年度 研究奨励事業

1. 目 的

これからの学校は、児童・生徒が社会の変化に主体的に対応でき、生涯を通して学び続ける力と意欲を育むなど、個性を生かす教育を充実し、豊かな心をもちたくましく生きる児童・生徒を育成することが期待されている。

そのためには、各学校がこれまで以上に指導内容・方法の創意工夫を図り、児童・生徒一人一人が豊かな感性や自ら学ぶ意欲、主体的に学ぶことのできる学習方法などを身につけられるよう援助・指導することが大切である。

児童・生徒が、学び方を学び、自ら考え、主体的に判断し行動できるようになるためには、児童・生徒自らが見たり、聞いたり、調べたりする体験的な学習を通し、生きてはたらく知識を身につけられるようにすることである。

よって、各学校では、学習指導の改善・充実という視点から、児童・生徒が基礎的・基本的な内容を身に付ける過程を通して、さらにそれを基盤としながら一人一人の個性を生かし、それを伸ばす学習指導の在り方など、授業実践を通して追究する必要がある。

研究奨励は、これから先の学校教育を創造し、児童・生徒の個性尊重の教育の推進を目指して、新しい時代の要請に合った教育方法の開発を行う等、欲的に研究に取り組む学校、学年や教科、個人の研究実践を求めるものである。

そして、日野市立小中学校における豊かな教育実践をより一層育成し、生涯を通じて学び続けようとする児童・生徒の育成を図ろうとするものである。

2. 奨励の種別及び経費

研究奨励は、学校を一つの単位とする「学校奨励」、同一校の複数の教員による「団体奨励」、及び「個人奨励」とする。

各奨励の研究費は、(1)学校奨励(35万円) (2)団体奨励(10万円) (3)個人奨励(3万円)とする。なお、経費の収支決算については、別途報告書を学校長の確認を経て、期日迄に日野市教育委員会学校教育部指導室宛提出する。

3. 研究期間

- (1) 学校奨励は、2年間の継続研究とする。ただし、研究の内容により単年度の研究も認めるものとする。
- (2) 団体及び個人奨励は、単年度の研究とする。なお、各研究奨励は、その研究と実践の成果を広く公開することを原則とする。

特に学校奨励は公開発表を条件とし、2年間継続研究する学校は、1年次に中間発表を実施し、2年次に本発表を実施するものとする。単年度で研究を進める学校は、その年度内に公開発表をするものとする。

4. 研究推進

日野市教育委員会は、研究奨励事業を授業改善委員会に委託する。

各研究奨励校、団体及び個人奨励のものは、授業改善委員会委員長の統括のもとに研究を推進し、その研究・実践並びに成果を文書によって報告するものとする。

授業改善委員会委員長は、各研究奨励校、団体及び個人奨励者からの報告を基に紀要を作成し、日野市教育委員会に報告するものとする。

5. 研究主題

21世紀に生きる子供の生涯学習の推進を目指し、児童・生徒一人一人の個性を生かす教育の視点に立った指導の内容・方法の工夫・改善を図る研究としてふさわしいものとする。

6. 研究内容

各研究奨励校・グループ・個人の研究は、下記のいずれかの事項に重点を置いて研究を推進する。

- (1) 小集団による主体的・創造的な学習活動を具体的に進める研究
- (2) ティーム・ティーチングの在り方や指導形態の改善を進める研究
- (3) 体験的な学習活動や個に応じた学習指導法の研究
- (4) 地域の素材を生かした学習や教育活動の研究

7. 研究奨励の申請

学校奨励、団体奨励、個人奨励ともに、各学校長が日野市教育委員会に別紙の申請書により、必要事項を記載し、日野市教育委員会に申請する。

申請書には、研究計画書を添付するものとする。なお、研究奨励受給者の決定は、日野市教育委員会が授業改善委員会委員長に諮問し、決定する。

8. 平成 6 年度の研究奨励受給者

① 学校奨励

学 校 名	代 表 者 名	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第一小学校	岩 下 和 夫	一人一人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫（生活科、社会科の授業を通して、児童の主体的な活動を重視した授業の改善や支援の在り方）
仲 田 小 学 校	中 村 孝 一	表現力を高める学習指導法の工夫 （各教科の学習活動等を通して表現力を高める研究を授業研究を通して、指導内容・方法を実証し、明らかにする）

② 団体奨励

学 校 名	代 表 者 名	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第二小学校	平 島 孝 夫	環境を大切に育てる指導法の研究 （地域の素材を環境教育の視点から見直し、環境に対する関心を高める体験的な学習の在り方を追究）
潤 徳 小 学 校	高 橋 健	地域の自然環境を生かした体験的学習活動の工夫 （学校周辺の自然に五感を通して触れ合う活動を通して、豊かな感性を耕すとともに、環境を大切にしていこうとする心情・態度を育てる指導の在り方を研究）
日野第七小学校	小 坂 克 信	地域素材の教材化とそれを生かした主体的な学習活動の工夫（日野市内にある用水という地域素材を教材化し、児童一人一人が自ら学ぶことができる学習活動を工夫、視聴覚教材の作成）
旭が丘小学校	上 條 茂	児童が生き生きと取り組む地域素材の開発 （学区にある文化、歴史、施設、産業等を教材化し、児童が調査活動することを通して体験的に学習活動を進めることができるように指導法を工夫）
日野第一中学校	山 田 智 之	生徒の個性を生かす進路指導資料の作成 （3年間を見通した進路指導計画の作成と活用を通して、生徒の進路選択能力を高める指導の在り方を研究）
三 沢 中 学 校	長 友 良 嗣	個に応じた指導を基本とする理科における授業の工夫 （コンピュータの操作に習熟し、授業への効果的な導入方法について研究を進め、授業研究により検証）

③ 個人奨励

学 校 名	氏 名	研 究 主 題 ・ 内 容
高 幡 台 小 学 校	千 葉 正 美	主体的に判断し行動できる児童の育成 （主体的な生活者としての自覚を持たせるための体験的な学習活動の在り方を研究）
潤 徳 小 学 校	河原田 和 子	児童のよさを生かす学習指導の工夫 （個人のよさを表現できる場を作り、自己表現力を育てるとともに、個人のよさを認め合い、受容する豊かな人間関係を育てる学習集団の育成の在り方）

授 業 研 究 主 題 一 覧

№	学 校 名	研 究 テ ー マ
1	日野第一小学校	「一人一人の児童が意欲的に学習に取り組むための指導法の工夫」 －生活科・社会科を通して－
2	日野第二小学校	「自ら学ぶ力を育てる指導法の研究」
3	日野第三小学校	「教材教具の整備・活用による指導法の改善」
4	日野第四小学校	「自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる指導法の研究」
5	日野第五小学校	「豊かな心を持ち楽しく学びあう児童の育成」
6	日野第六小学校	「自ら学ぶ児童を育てる指導法の研究」 －生活科・社会科を通して体験学習のあり方を探る－
7	潤 徳 小 学 校	「主体的な学習態度を育てる指導法の研究」
8	平 山 小 学 校	「自分の考えを豊かに表現できる子」 －国語科の読解指導を通して－
9	日野第八小学校	「児童の主体性を高める指導法の研究」 －地域に関心を持ち自ら調べ学ぶ力を育てる－
10	百草台小学校	「考える力を育てる指導法の研究」
11	滝 合 小 学 校	環境教育部「環境に関心を持ち自ら課題を追及していく子どもの育成」 性教育部「生命を大切にする子どもを育てる指導法の研究」
12	高幡台小学校	「子供の意欲をのばす算数授業」 －自ら考える力を育てる指導の工夫－
13	日野第七小学校	「児童一人一人が自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫」 －地域教材の開発と活用－
14	南 平 小 学 校	「児童の主体性を生かす学習活動の研究」
15	程久保小学校	「子どもの意欲が生きる学習指導」
16	旭が丘小学校	「子どもによく考えさせる授業のあり方」
17	平山台小学校	「子どもの表現力を豊かにする指導法の工夫」
18	東光寺小学校	「一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法」
19	三沢台小学校	「一人一人の児童が主体的に学ぶ指導の工夫」
20	仲 田 小 学 校	「表現力を高める学習指導法の工夫」 ー国語科ー
21	日野第一中学校	「個を生かす教育環境の改善」 －標準服・選択履修のあり方や新入学選抜制度への対応を通して－
22	日野第二中学校	「教育相談」
23	七 生 中 学 校	「生きがいと自信を育てる進路指導のあり方」
24	日野第三中学校	「個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫」
25	日野第四中学校	「人権と生命を尊重する教育の推進」 －望ましい人間関係を育てる指導のあり方ー
26	三 沢 中 学 校	「生徒理解」
27	大坂上中学校	「将来に生きる進路指導と学習指導」
28	平 山 中 学 校	「生徒の主体性を生かした学年・学級指導及び進路指導に生かす指導法」

東京都教育研究員・教育開発委員会委員

〈 教 育 研 究 員 〉

日野第一小学校	教 諭	小 川 賀世子	国 語
日野第六小学校	教 諭	小 川 浩太郎	体 育
程久保小学校	教 諭	樋 口 邦 男	理 科
仲 田 小 学 校	教 諭	雨 宮 宣 夫	教育課題
日野第一中学校	教 諭	山 田 智 之	教育課題
日野第二中学校	教 諭	小 島 俊 子	美 術
日野第四中学校	教 諭	齋 藤 道	特別活動

〈 教育開発委員会委員 〉

南 平 小 学 校	教 諭	山 田 栄 子	特別活動
三 沢 中 学 校	教 諭	磯 部 博 子	国 語

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「わたしたちの小学国語」	(日 本 書 籍)
	「わたしたちの小学書写」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「新しい社会」	(東 京 書 籍)
	「楽しい小学校社会科地図帳 最新版」	(帝 国 書 院)
算 数 科	「小学校算数」	(学 校 図 書)
理 科	「新しい理科」	(東 京 書 籍)
生 活 科	「小学校 せいかつ」	(学 校 図 書)
音 楽 科	「小学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
図画工作科	「図 画 工 作」	(日本文教出版)
保 健 科	「新しい保健」	(東 京 書 籍)
家 庭 科	「新しい家庭」	(東 京 書 籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「国 語」	(光 村 図 書)
	「中 学 書 写」	(日 本 書 籍)
社 会 科	「社会科中学生の地理 世界の人々と日本の国土最新版」	(帝 国 書 院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日 本 書 籍)
	「中学校社会科地図 最新版」	(帝 国 書 院)
数 学 科	「新しい数学」	(東 京 書 籍)
理 科	「新しい科学(1.2分野)」	(東 京 書 籍)
音 楽 科	「中学生の音楽」	(教 育 芸 術 社)
	「中学生の器楽」	(教 育 芸 術 社)
美 術 科	「美 術」	(日本文教出版)
保健体育科	「新しい保健体育」	(東 京 書 籍)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開 隆 堂 出 版)
外 国 語 科	「NEW TOTAL ENGLISH」	(秀 文 出 版)

就職・進学状況の推移（昭和63～平成5年度）

（ ）はパーセント

年 性 度 別	高 等 学 校 本 科															職業教育 機関等	就業・その他			卒 業 者 総 数	
	総 計	高 等 学 校 全 日 制 課 程							高等学校定時制課程				高等 専門 学校	高等 学校 通信 制	盲養 ・ ろう 学 校		専修・各 種職業 訓練 学校	計	就 職 者		無 (在家庭 者)
		計	国 公 立			私 立			計	普 通 科	職 業 科	就 職 進 学 者									
			普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計													
63	計 男 女	2,398 (94.6)	2,320 (91.4)	1,092 (43.0)	201 (7.9)	1,293 (50.9)	924 (36.4)	103 (4.1)	1,027 (40.5)	48 (1.9)	35 (1.4)	13 (0.5)	4 (0.1)	6 (0.2)	19 (0.8)	5 (0.2)	96 (3.7)	44 (1.7)	29 (1.1)	15 (0.6)	2,538
		1,260	1,202	594	111	705	432	65	497	36	26	10	1	4	17	1	45	29	19	10	1,334
		1,138	1,118	498	90	588	492	38	530	12	9	3	3	2	2	4	51	15	10	5	1,204
元	計 男 女	2,108 (95.1)	2,002 (95.0)	871 (41.3)	183 (8.7)	1,054 (50.0)	864 (41.0)	84 (4.0)	949 (45.0)	67 (3.2)	39 (1.9)	28 (1.3)	13 (0.6)	4 (0.2)	30 (1.4)	4 (0.2)	59 (2.8)	47 (2.2)	31 (1.5)	16 (0.8)	2,216
		1,117	1,032	449	83	532	448	52	500	49	27	22	8	4	29	3	28	26	19	7	1,173
		991	970	422	100	522	416	32	949	18	12	6	5	0	1	1	31	21	12	9	1,043
2	計 男 女	1,983 (94.5)	1,886 (89.9)	830 (39.6)	195 (9.3)	1,025 (48.9)	802 (38.2)	59 (2.8)	861 (41.0)	67 (3.2)	32(私6) (1.8)	28(私1) (1.4)	10 (0.5)	10 (0.5)	18 (0.9)	8 (0.4)	63 (2.8)	52 (2.5)	30 (1.4)	22 (1.0)	2,098
		1,018	939	440	89	529	375	35	410	57	24(私6)	26(私1)	8	10	12	6	28	44	26	18	1,090
		965	947	390	106	496	427	24	451	10	8	2	2	0	6	2	35	8	4	4	1,008
3	計 男 女	1,782 (95.1)	1,718 (91.7)	782 (41.7)	172 (9.2)	954 (50.9)	674 (36.0)	90 (4.8)	764 (40.8)	38 (2.0)	32(私2) (1.7)	3(私1) (0.2)	9 (0.5)	15 (0.8)	7 (0.4)	4 (0.2)	48 (2.6)	44 (2.3)	32 (1.7)	12 (0.6)	1,874
		961	911	409	108	517	339	55	394	28	22(私2)	3(私1)	6	14	5	3	24	35	26	9	1,020
		821	807	373	64	437	335	35	370	10	10	0	3	1	2	1	24	9	6	3	854
4	計 男 女	1,882 (95.2)	1,813 (91.8)	798 (40.4)	234 (11.8)	1,032 (52.2)	699 (35.4)	82 (4.1)	781 (39.5)	32 (1.6)	26 (1.3)	6 (0.3)	1 (0.05)	9 (0.5)	22 (1.1)	6 (0.3)	63 (3.2)	30 (1.6)	11 (0.5)	20 (1.0)	1,976
		1,027	973	449	128	577	349	47	396	23	18	5	1	8	19	4	24	22	11	11	1,073
		855	840	349	106	455	350	35	385	9	8	1	0	1	3	2	39	9	0	9	903
5	計 男 女	1,663 (95.8)	1,618 (93.2)	755 (43.5)	183 (10.5)	938 (54.0)	602 (34.7)	77 (4.4)	679 (39.1)	27 (1.6)	21 (1.2)	6 (0.3)	10 (0.6)	2 (0.1)	10 (0.6)	3 (0.2)	40 (2.3)	31 (1.8)	18 (1.0)	13 (0.7)	1,736
		850	817	381	88	469	296	51	347	17	12	5	6	2	10	1	18	23	15	8	893
		(95.2)	(91.5)	(42.7)	(9.9)	(52.5)	(33.1)	(5.7)	(38.9)	(1.9)	(1.3)	(0.6)	(0.7)	(0.2)	(1.1)	(0.1)	(2.0)	(2.6)	(1.7)	(0.9)	843

園児・児童・生徒、学級数

〈平成6年5月1日現在〉

上段6年度 ()学級数
下段5年度

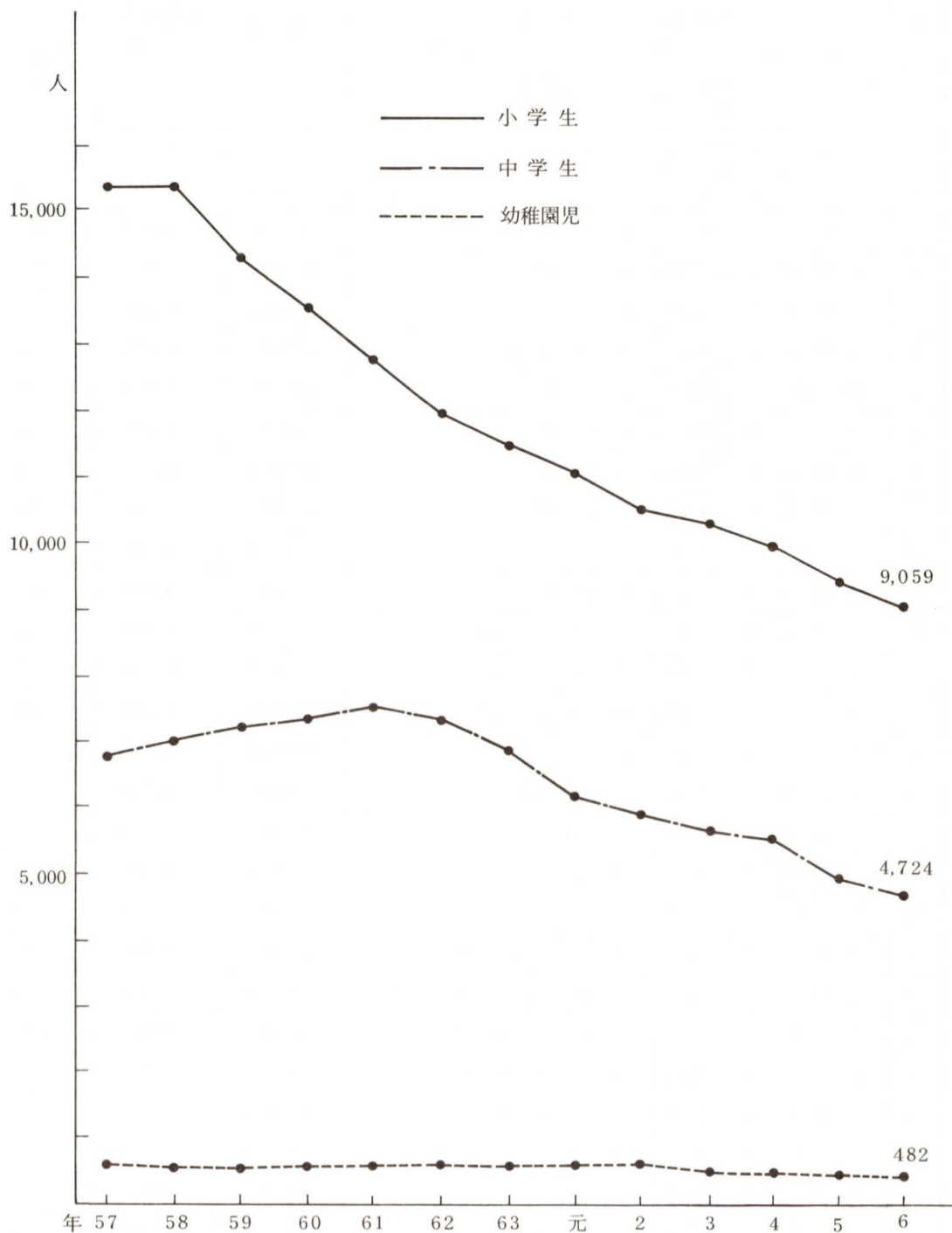
№	小学校名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計	心障
1	日野第一小学校	81 (3) 74 (2)	72 (2) 83 (3)	83 (3) 72 (2)	74 (2) 76 (2)	74 (2) 80 (2)	79 (2) 80 (2)	463 (14) 465 (13)	
2	日野第二小学校	100 (3) 82 (3)	83 (3) 114 (3)	115 (3) 102 (3)	98 (3) 116 (3)	123 (4) 110 (3)	109 (3) 121 (4)	628 (19) 645 (19)	
3	日野第三小学校	55 (2) 70 (2)	68 (2) 74 (2)	72 (2) 70 (2)	65 (2) 71 (2)	68 (2) 78 (2)	78 (2) 101 (3)	406 (12) 464 (13)	7 (2) 9 (2)
4	日野第四小学校	67 (2) 71 (2)	75 (2) 77 (2)	80 (2) 74 (2)	79 (2) 77 (2)	80 (2) 76 (2)	77 (2) 101 (3)	458 (12) 476 (13)	
5	日野第五小学校	96 (3) 109 (3)	113 (3) 117 (3)	112 (3) 84 (3)	83 (3) 109 (3)	108 (3) 96 (3)	91 (3) 114 (3)	603 (18) 629 (18)	5 (1) 4 (1)
6	日野第六小学校	106 (3) 94 (3)	88 (3) 86 (3)	84 (3) 90 (3)	86 (3) 83 (3)	78 (2) 83 (3)	82 (3) 99 (3)	524 (17) 535 (18)	
7	潤 徳 小 学 校	48 (2) 57 (2)	62 (2) 47 (2)	50 (2) 60 (2)	58 (2) 46 (2)	48 (2) 56 (2)	55 (2) 48 (2)	321 (12) 314 (12)	
8	平 山 小 学 校	62 (2) 65 (2)	58 (2) 65 (2)	65 (2) 67 (2)	63 (2) 61 (2)	59 (2) 76 (2)	78 (2) 70 (2)	385 (12) 404 (12)	
9	日野第八小学校	100 (3) 91 (3)	91 (3) 100 (3)	99 (3) 102 (3)	99 (3) 104 (3)	101 (3) 119 (3)	109 (3) 96 (3)	599 (18) 612 (18)	
10	百草台小学校	46 (2) 57 (2)	53 (2) 63 (2)	63 (2) 75 (2)	69 (2) 80 (2)	76 (2) 67 (2)	65 (2) 81 (3)	372 (12) 423 (13)	5 (1) 0 (0)
11	滝 合 小 学 校	79 (2) 96 (3)	91 (3) 105 (3)	103 (3) 93 (3)	91 (3) 109 (3)	102 (3) 109 (3)	109 (3) 100 (3)	575 (17) 612 (18)	
12	高幡台小学校	42 (2) 60 (2)	57 (2) 46 (2)	42 (2) 66 (2)	63 (2) 63 (2)	60 (2) 63 (2)	63 (2) 73 (2)	327 (12) 371 (12)	
13	日野第七小学校	95 (3) 73 (2)	71 (2) 109 (3)	105 (3) 95 (3)	94 (3) 107 (3)	102 (3) 115 (3)	116 (3) 112 (3)	583 (17) 611 (17)	
14	南 平 小 学 校	56 (2) 72 (2)	72 (2) 57 (2)	61 (2) 72 (2)	74 (2) 78 (2)	77 (2) 75 (2)	80 (2) 74 (2)	420 (12) 428 (12)	
15	程久保小学校	57 (2) 42 (2)	44 (2) 63 (2)	65 (2) 64 (2)	62 (2) 80 (3)	82 (2) 60 (2)	65 (2) 61 (2)	375 (12) 370 (13)	
16	旭が丘小学校	142 (4) 139 (4)	131 (4) 130 (4)	124 (4) 141 (4)	130 (4) 129 (4)	130 (4) 140 (4)	140 (4) 121 (4)	797 (24) 800 (24)	
17	平山台小学校	30 (1) 23 (1)	27 (1) 42 (2)	45 (2) 42 (2)	42 (2) 35 (1)	36 (1) 40 (1)	40 (1) 46 (2)	220 (8) 228 (9)	9 (2) 9 (1)
18	東光寺小学校	51 (2) 61 (2)	61 (2) 69 (2)	67 (2) 47 (2)	43 (2) 70 (2)	72 (2) 63 (2)	62 (2) 58 (2)	356 (12) 368 (12)	
19	三沢台小学校	48 (2) 47 (2)	48 (2) 42 (2)	42 (2) 51 (2)	53 (2) 48 (2)	48 (2) 73 (2)	70 (2) 60 (2)	309 (12) 321 (12)	
20	仲 田 小 学 校	61 (2) 44 (2)	42 (2) 45 (2)	44 (2) 56 (2)	55 (2) 54 (2)	54 (2) 65 (2)	61 (2) 61 (2)	317 (12) 325 (12)	
計		1,422 (47) 1,427 (46)	1,407 (46) 1,534 (49)	1,521 (49) 1,523 (48)	1,481 (48) 1,596 (48)	1,578 (47) 1,644 (47)	1,629 (47) 1,677 (52)	9,038 (284) 9,401 (290)	21 (6) 22 (4)

№	中 学 校 名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	218 (6) 216 (6)	216 (6) 217 (6)	212 (6) 228 (6)	648 (18) 661 (18)	
2	日野第二中学校	212 (6) 190 (5)	190 (5) 209 (6)	208 (6) 195 (5)	610 (17) 594 (16)	
3	七 生 中 学 校	129 (4) 136 (4)	140 (4) 183 (5)	185 (5) 179 (5)	454 (13) 498 (14)	15 (4) 12 (3)
4	日野第三中学校	208 (6) 217 (6)	216 (6) 262 (7)	260 (7) 238 (6)	684 (19) 717 (19)	
5	日野第四中学校	225 (6) 229 (6)	224 (6) 256 (7)	253 (7) 257 (7)	702 (19) 742 (20)	
6	三 沢 中 学 校	158 (4) 187 (5)	184 (5) 192 (5)	191 (5) 202 (5)	533 (14) 581 (15)	
7	大 坂 上 中 学 校	228 (6) 183 (5)	185 (5) 215 (6)	218 (6) 244 (7)	631 (17) 642 (18)	10 (2) 11 (2)
8	平 山 中 学 校	128 (4) 151 (4)	153 (4) 175 (5)	176 (5) 179 (5)	457 (13) 505 (14)	
計		1,506 (42) 1,509 (41)	1,508 (41) 1,709 (47)	1,703 (47) 1,722 (46)	4,717 (130) 4,940 (134)	25 (6) 23 (5)

№	幼 稚 園 名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第 一 幼 稚 園	46 (2) 51 (2)	47 (2) 53 (2)	93 (4) 104 (4)
2	第 二 幼 稚 園	30 (1) 24 (1)	26 (2) 34 (2)	56 (3) 58 (3)
3	第 三 幼 稚 園	20 (1) 30 (1)	34 (2) 29 (2)	54 (3) 59 (3)
4	第 四 幼 稚 園	30 (1) 22 (1)	28 (1) 19 (1)	58 (2) 41 (2)
5	第 五 幼 稚 園	30 (1) 28 (1)	29 (1) 31 (1)	59 (2) 59 (2)
6	第 六 幼 稚 園	20 (1) 24 (1)	23 (1) 26 (1)	43 (2) 50 (2)
7	第 七 幼 稚 園	59 (2) 58 (2)	60 (2) 58 (2)	119 (4) 116 (4)
計		235 (9) 237 (9)	247 (11) 250 (11)	482 (20) 487 (20)

公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(平成6年5月1日現在)



市 立 小 ・ 中 学

番 号	校 名	開 校 年 度	建 築 年 度 増改築	校地面積 m^2	校舎保有 面 積 m^2	普通教室 (保有)
1	日 野 一 小	M 6	37. 38. 39	20,947	4,370	20
2	日 野 二 小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11,640	4,705	24
3	日 野 三 小	S 23	41. 42. 47. 49~50	16,806	6,012	20(3)
4	日 野 四 小	M 6	40. 44. 49.	15,292	3,839	19
5	日 野 五 小	S 34	H 2	16,765	6,295	23
6	日 野 六 小	S 40	38. 40. 43. 48.	19,833	6,025	30
7	潤 徳 小	M 6	39. 40. 45	15,376	4,784	26
8	平 山 小	M 6	39. 40. 41. 44	15,845	4,388	22
9	日 野 八 小	S 44	44. 47. 49.	17,601	5,102	24
10	百 草 台 小	S 45	44. 48. 50	15,482	5,248	24
11	滝 合 小	S 46	45~46	20,458	5,544	26
12	高 幡 台 小	S 47	46. 48. 52	16,017	4,983	25
13	日 野 七 小	S 48	47~48. 52~53. 57	13,509	4,806	22
14	南 平 小	S 49	48~49. 53. 56	16,020	5,254	25
15	程 久 保 小	S 52	49~50. 50~51	16,988	4,092	17
16	旭 が 丘 小	S 52	51~52. 56	16,642	5,463	24
17	平 山 台 小	S 53	52~53. 54	18,536	4,939	18(2)
18	東 光 寺 小	S 54	53~54	19,586	4,356	18
19	三 沢 台 小	S 55	54~55	15,170	4,463	17
20	仲 田 小	S 59	58~59	15,660	3,434	12
1	日 野 一 中	S 22	37. 38. 40. 41. 50. 58	19,386	6,113	23
2	日 野 二 中	S 29	34. 35. 38. 41. 49~50. 60~61	21,150	6,596	25
3	七 生 中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51. 59~60	20,367	5,934	19(2)
4	日 野 三 中	S 45	45. 47. 49. 58~59	21,520	7,287	26
5	日 野 四 中	S 48	47. 49. 52. 61~62	18,955	6,486	25
6	三 沢 中	S 52	51~52. 58~59	23,623	7,147	25
7	大 坂 上 中	S 55	54~55. 57	19,389	6,630	23(3)
8	平 山 中	S 56	55~56. 3	18,200	5,991	20

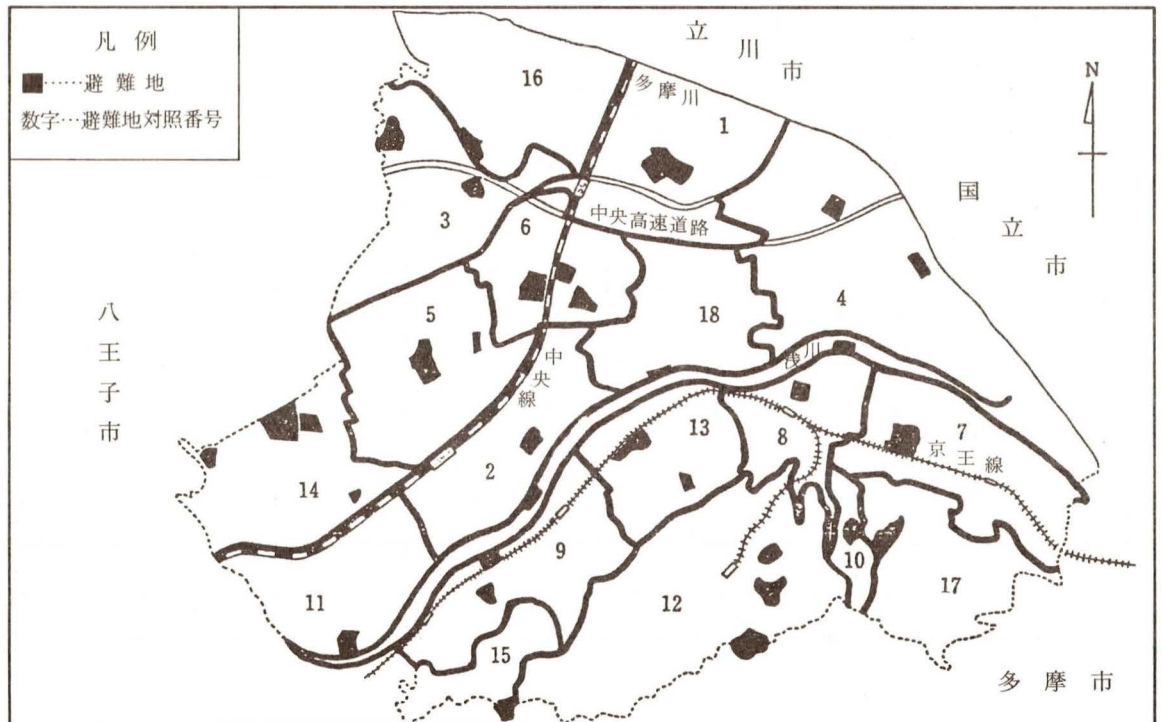
校 施 設 一 覧

平成 6 年 5 月 1 日現在

教室											体育館 ㎡	プー ル 大(25×11m) 小(10× 5m)	給食室 ㎡	学 級 数 ()心障学級
特 別 教 室														
理 科	音 楽	図工 美術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	食 堂	特別 活動	教育 相談	コン ピュ ータ 室				
1	1	2		1		1		1			760	大・小	179	14
1	2	1		1	1	1		1			761	〃	192	19
1	2	3		2	1	1		2			761	〃	144	12 (2)
1	1	1		1		1					765	〃	130	12
2	2	1		1		1					809	〃	349	18 (1)
1	1	1		1		1		1			795	〃	213	17
1	1	1		1		1					779	〃	191	12
1	1	1		1		1		1			545	〃	157	12
1	1	1		1		1					710	〃	231	18
1	1	1		1		1					752	〃	188	12(1)
1	2	1		1		1					701	〃	256	17
1	1	1		1		1		1			714	〃	226	12
1	1	1		1		1					736	〃	219	17
1	1	2		1		1					734	〃	188	12
1	1	1		1		1					760	〃	216	12
1	1	1		1		1					760	〃	213	24
1	1	1		1		1		1			760	大・小2×5m	268	8 (2)
1	1	1		1		1					760	大・小	214	12
1	1	1		1		1					757	〃	215	12
1	1	1		1		1					760	〃	224	12
2	2	2	2	2		1	1		2	1	842	大	310	18
2	2	1	2	2		1	1			1	1,075	〃	290	17
2	2	2	2(1)	2(1)		1	1	1		1	765	〃	290	13 (4)
3	3	2	3	2		1	1			1	1,067	〃	435	19
2	2	2	2	2		1	1			1	1,136	〃	355	19
2	2	2	2	2		1	1			1	1,118	〃	293	14
2	2	1	2(1)	2(1)		1	1		1	1	1,118	〃	233	17 (2)
2	2	2	2	2		1	1	1	1	1	1,189	〃	197	13

避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部、神明4丁目の一部、日野本町1～7丁目	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3.丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学校 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グラウンド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 南平小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	多摩川グラウンド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井、石田、万願寺、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目 多摩平7丁目の一部	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平7丁目、神明1～4丁目、大坂上1～4丁目	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 第三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販百草園住宅
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部 三沢の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18個所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平 4-3
電 話 0425-81-4124・4105
順 路 豊田駅より北へ徒歩約 10 分
園 児 数 男 44 名 女 49 名 計 93 名

園長氏名 榎 島 静 子

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置される。
4. 10 第 1 回入園式挙行（5 歳児・4 歳児含む 7 学級
5. 30 園章制定
昭 41. 5. 25 開園記念日とする。
昭 43. 9. 6 プール工事（第 1 次）終了
12. 20 遊戯室増築工事完了
昭 44. 3. 10 プール工事（第 2 次）完了
昭 45. 7. 15 運動場拡張工事完了
昭 48. 3. 14 東京都交通安全教育園第 1 次研究発表会開催
10. 23 東京都交通安全教育園第 2 次研究発表会開催
昭 50. 3. 10 創立 10 周年記念研究発表会開催
園歌制定
10. 31 プールシャワー取付
12. 20 園舎（鉄筋・鉄骨）増改築工事完了
昭 51. 4. 1 4 歳児（2 年保育）募集中止
昭 57. 8. 31 運動場整備
昭 58. 9. 1 幼児教育センター開設に伴い、2 保育室提供
昭 60. 4. 10 4 歳児（2 年保育）募集再開、2 学級 60 名
12. 17 幼稚園外周緑化工事完了
11. 29 遊戯室の屋根改装工事完了
昭 62. 9. 15 玄関隣接の便所の改装（男女別大人用）工事完了
昭 63. 4. 1 1 学級減、4 学級となる
平 3. 4. 1 毎月第 2 土曜日週休となる
10. 31 隣接たまだいら保育園との通路工事完了、物置移設、温水シャワー設置
平 4. 3. 31 遊戯室内の改修工事完了
3. 31 幼児教育センター廃止
4. 1 毎月第 2 土曜日・第 4 土曜日が週休となる。
6. 10 プール改修工事完了

2. 歴代の園長

氏 名	
江 角 正 子	昭 40. 4. 1～昭 56. 3. 31
光 永 久 夫	昭 56. 4. 1～昭 57. 3. 31
田 中 光 一	昭 57. 4. 1～昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1～昭 62. 3. 31
高 橋 千鶴子	昭 62. 4. 1～平 3. 1. 9
三 上 道 子	平 3. 1. 10～平 5. 3. 31
榎 島 静 子	平 5. 4. 1～現在

3. 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人間尊重の精神を基調として、生涯にわたる人間形成の基礎を培い、社会の変化に対応して主体的に判断し行動する力を身につけさせる。さらに心身ともに健康で豊かな情操を育み、創造性豊かな幼児の育成を目指す。

- 仲良くあそべる子ども
- 明るく元気な子ども
- 思いやりのある子ども

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための教育課程編成の重点

- 幼児一人一人が友達とかかわる中で、互いの良さを認めあいながら自己表現し、遊びを通して満足感や充実感の味わえる子どもを育成する。
- 教師との信頼関係を基盤とし、環境に主体的にかかわりながら、自己を発揮する子どもを育成する。
- 園内外の様々な環境を通し、直接的な生活体験・感動体験を積み重ねていく中で、感受性豊かな子どもを育成する。
- 家庭や地域社会と幼稚園とのかかわりを深め、幼児の興味・関心・欲求を大切に、生活経験を保育や家庭で生かす。

4. 本年度の研究主題

友だちの中で自己表現する力を育てる。
— 幼児たちが、とりくむあそびを中心に —

5. 本園の特色

- 隣接する「たまだいら保育園」との保育交流を密にして、地域の幼児教育という広い視点に立ち改善を図る。



園 名 日野市立第二幼稚園
所 在 地 日野市平山 4-5-4
電 話 0425-91-4125
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 10 分
園 児 数 男 31 名 女 25 名 計 56 名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭 40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校校庭内に設置される。
4. 10 第 1 回入園式挙行 入園児 131 名
学級数 4、(一年保育 2 学級、二年
保育年少 2 学級)
5. 10 開園記念日と定める
5. 30 園章制定
- 昭 41. 4. 1 学級数 3、(二年保育年長 1 学級、
一年保育年長 1 学級 二年保育年
少 1 学級) 以後 3 学級運営
- 昭 46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表
を行う
- 昭 48. 4. 1 一年保育児で 3 学級の編成
- 昭 49. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究
発表会 (第一年度)
10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究
発表会 (第二年度)
12. 14 創立 10 周年記念式典開催
- 昭 55. 10. 18 都立教育研究所幼児教育研究室調
査協力のため幼児運動能力調査を
行う
- 昭 57. 4. 1 二年保育再開
- 昭 59. 8. 30 現在地に園舎防音改築工事が開始
される
- 昭 60. 4. 1 新園舎完成移転
- 平 4. 5. 屋上プールサイドの塗装、及び人
工芝の張り替え

2. 歴代園長

氏 名	
後 藤 正 太	昭 40. 4 ~ 昭 42. 3
安 積 利 治	昭 42. 4 ~ 昭 47. 3
小 野 晃	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
深 澤 真 人	昭 51. 4 ~ 昭 55. 3
林 元 美	昭 55. 4 ~ 昭 58. 3
伊 藤 智 章	昭 58. 4 ~ 昭 61. 3
蓮 池 守 一	昭 61. 4 ~ 昭 62. 3
坂 口 嘉 津 子	昭 62. 4 ~ 平 元. 3
榎 島 静 子	平 元. 4 ~ 平 5. 3
平 向 邦 江	平 5. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

市の南西部に位置し、平山小学校に隣接して

いる。南に多摩丘陵、北に浅川、西に八王子に
囲まれた東西に長く起伏に富んだ地域である。
近年団地や都営住宅の建設及び、農地、丘陵の
宅地化が急速に進んでいる。園の周辺は道路や
下水道の整備が行われつつあり、市街地の様相
をみせている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、心身共に健康で豊
かな心情をもち、主体的に生活しようとする人
間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 元気で明るい子ども
- 進んでとりくみやりぬく子ども
- 豊かな心をもつ子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児と教師との信頼関係を基盤に情緒を安定
させ、自己を十分発揮できるようにする。

- (4 歳児) ○ 基本的生活習慣や社会的な集団生活の
ルールを身につける。
- 新しい経験や興味・関心のある活動に
進んで取り組み、いろいろな経験をし、
自ら生活する喜びを感じる。
- (5 歳児) ○ 園生活や友だちとの遊びの中で自分で
判断し行動する力を身につけたり、協
力してやりとげることの喜びや大切さ
を知る。
- 集団で遊ぶ楽しさを味わい、友だちの
大切さや相手に対する思いやりの気持
をもつ。

6. 本年度の研究主題

「遊びこめる子育てる」

- 幼児の興味・関心の動向を把握できる記録の
とり方を工夫したり、環境構成や教師の援助
のあり方を研究する。

7. 本園の特色

- 平山城址公園や河原など、園周辺の自然環境
を利用し、四季を通じて自然に親しめる野外
活動を、多くとり入れている。

8. その他 (教職員の研究歴)

氏内訳	研究員	開発委員
1	平向邦江 (49 年)	平向邦江 (58 年)
2	井上宏子 (H 2 年)	井上宏子 (H 4 年)
3	富尾真須子 (H 5 年)	



園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-7127
順 路 J R 日野駅下車 東へ 10 分
園 児 数 男 31 名 女 23 名 計 54 名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 1 日野市立第三幼稚園として日野第一小学校内に設立
4. 11 第一回入園式を挙行
学級数 (4) 4 歳児 2.
5 歳児 2. 入園児数 143 名
5. 4 開園記念日と定める
昭 42. 5. ブロック塀完成
11. 観察池設置
昭 46. 4. 市研究協力園
昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
昭 49. 4. 1 全学級 1 年保育となる。
昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動
園庭整備 10 周年記念研究発表
昭 53. 8. ホール、保育室床改装
昭 54. 8. 廊下床改装
昭 56. 3. 園歌制定
昭 56. 4. 2 年保育再開
昭 60. 8. 保育室内装
昭 63. 8. ホール屋根改装
平 2. 3. 正門扉改装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ～ 昭 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ～ 昭 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ～ 昭 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ～ 昭 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ～ 昭 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ～ 昭 62. 3
平 向 邦 江	昭 62. 4 ～ 昭 63. 3
沖 山 英 代	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
山 本 智恵子	平 3. 4 ～ 平 5. 3
坂 口 嘉津子	平 5. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれた所に位置する。最近、宅地化が進み周囲の自然も失われ、こども達の遊び場は限られて

きている。その反面、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身共に健康で感性に富み、人間性豊かな幼児の育成を目指して、次の目標を設定する。

- 丈夫な身体で元気な子
- 仲良く遊ぶ子
- 自ら進んで行動し、最後までやりぬく子

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の特性を理解し、一人一人の発達に応じ個性を大切にしたい指導、多様な体験を通して学ぶことの楽しさ、成就感を味わい、豊かな感性を育み、表現力や人とのかかわる力を高める。

4 歳児……基本的な生活習慣を身につけ、集団の中で、自分の力を十分に発揮したり、友達とのかかわりを楽しみ、充実した園生活を送る。

5 歳児……さまざまな人と触れあい、互いの感情や意見を表現したり、互いの良さを理解して、社会生活に必要な習慣や、態度を身につける。

- 地域教育力を活用し、多様な体験を重ねる

6. 本年度の研究主題

主体的に活動を展開する子どもを育てるために
— 遊びにふさわしい環境を考える —

7. 本園の特色

- クラス同志や異年齢児が交流できる場を多く設け、互いに育ち合う機会をつくる。
- 自然環境を生かした園外保育や親子で共通体験できる活動を多く取り入れ、自然に親しませ、幼児期の経験を豊かにする。

8. その他教職員研究歴

内 訳	研 究 員	開 発 委 員
1	坂口嘉津子(44年)	坂口嘉津子(51年)



園 名 日野市立第四幼稚園
所 在 地 日野市石田 431-6
電 話 0425-83-3903
順 路 立川―高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 34 名 女 24 名 計 58 名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学級数 2、園児数 41 名
10. 9 落成式举行
11. 1 開園記念日と定める
昭 51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
昭 54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
昭 56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
昭 57. 11. 11 創立 10 周年記念式典举行
園歌制定
昭 60. 8. 31 職員室床木製改装完了
昭 62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
平 2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装
平 3. 8. 31 水道管のとりかえ工事
平 4. 11. 18 創立 20 周年記念式典
平 5. 9. 13 屋根部分改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
内 藤 達 夫	昭 48. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 昭 57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
梶 村 和 子	昭 62. 4. 1 ～ 平 元 3. 31
上 野 美津枝	平 元 4. 1 ～ 平 5. 3. 31
山 本 智恵子	平 5. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約 1 km 入った多摩川の土手近くにあって、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれているが、宅地化が進み、子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基に、豊かな人間形成の基礎を培い、心身共に健康で個性と創造性を発揮できる幼児を育成する。

- 心身ともに健康で、元気に遊べる子ども。
- 自分から進んで、意欲をもって取り組むことができる子ども。
- 豊かな心をもち、人と関わる中で表現力を高めていく子ども。
- 地域の自然や、文化を大切にする子ども、

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の実態や発達に即した年間計画、及び個々の幼児の実態に即した個別の指導計画を立案し、指導と評価の一体化を図り日々の評価の充実に努める。
- 地域の自然に親しむ機会をできるだけ多くもち、体験的活動を通し豊かな感性を育て、心身共に健康な発達を促す。

4 歳 ○思いきり遊び、楽しく園生活を送る。

- 基本的生活習慣の自立を図り、自分の思いを先生や友達に伝えられる。

5 歳 ○相手の立場、良さを認めあう友達関係を育てる。

- 創意工夫をしながら主体的に遊び、充実した園生活を送る。

6. 本年度の研究主題

「幼児の個性と創造性を育む指導計画の作成と評価」

7. 本園の特色

- 幼小の連携、異年齢との交流を密にし、互いに学び合うようにする。
- 自然環境を生かし、園外保育を通して、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせ、自然の中で存分遊ぶようにする。
- ひまわり号の活用や、音楽などを積極的に取り入れ、教師と子どもが共感しあい、自己発揮できる環境の設定に配慮している。



園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢 175
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩 13 分
園 児 数 男 29 名 女 30 名 計 59 名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

1. 沿革の概要

- 昭 49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。
学級数 2、定員 80 名
教諭 3 名、用務員 1 名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数 62 名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭 53. 4. 1 1 学級増のためプレハブ教室増築、学級数 3、定員 120 名
- 昭 56. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
- 昭 59. 2. 25 創立 10 周年記念式挙行
3. 31 プレハブ教室撤去
- 昭 60. 4. 1 2 年保育開始 学級数 2
定員 70 名
- 昭 61. 3. 15 教材室増設
- 平 3. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
- 平 3. 4. 1 学級数 2 定員 65 名
- 平 3. 8. 31 保育室流し台改修・ホール床改修
- 平 5. 1. 18 外灯設置、園舎職員室・保育室屋根改修

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	昭 49. 4. 1～昭 53. 3. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4. 1～昭 58. 3. 31
渋谷 義 一	昭 58. 4. 1～昭 61. 3. 31
櫻 田 鈴 子	昭 61. 4. 1～平 3. 3. 31
高 野 英 男	平 3. 4. 1～平 3. 4. 30
酒 匂 瑠美子	平 3. 5. 1～現 在

3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は開発途上にあるがまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

4. 教育目標

- 心身共に健全で主体性をもち、人間性豊かな子どもを育成するために、次の目標を設定する。
- 元気な子ども・健康で明るく意欲的な子ども
 - ・たくましい子ども
 - やさしい子ども・思いやりをもって遊ぶ子ども
 - ・生命を大切にする子ども
 - 考える子ども・よく見て、気づく子ども
 - ・自ら試し、工夫する子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児の実態を捉え発達段階に即した目標を設定し、次のことに留意して、学級経営を行う。

- 4 歳児 ○ 友だちとのかかわりの中で自己表現したり集団で遊ぶ楽しさを十分味わわせ、園行事や園外保育などの生活体験にも興味や関心をもたせていく。
- 幼児期にふさわしい生活を展開しながら幼児の心情を育て、一人一人の個性や可能性をのばす。
- 5 歳児 ○ 幼児が互いを認め合い育ち合える望ましい人間関係を育む中から友だち関係を深めさせ社会性を身につけさせていく。
- 自ら目的や課題をもって環境にかかわり、多様な体験をする中から健康で充実した生活を主体的に創り出せるようにする。

6. 本年度の研究主題

「集団活動」について指導内容、方法等の改善・充実に努める。

7. 本園の特色

- 広い園庭を十分活用し、幼児にいろいろな体験を通して幅広い戸外活動を楽しませる。
- 園内外の施設や教材・環境を利用した遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを見つけ、互いに刺激し合い、育ち合える場とする。



園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保 876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで
高幡台団地下車 徒歩 5 分
園 児 数 男 23 名 女 20 名 計 43 名

園長氏名 高 野 真由美

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3. 19 園舎完成、鉄筋平屋建
4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
学級数 2、定員 80 名
園長 1 名、教諭 3 名、用務員 1 名
4. 10 入園式挙行、園児数 73 名
5. 29 開園記念式典挙行
開園記念日とする
昭52. 5. 30 プール（ヤマハ・キューティメ
イト DX）設置
昭53. 3. 12 1 学級増設のためプレハブ教室
増設、学級数 3、定員 120 名
昭55. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
昭58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェン
ス防球ネット完成
昭60. 4. 1 2 年保育開始、定員 70 名、学級
数 2、4 歳児 30 名、5 歳児 40 名
11. 1 園歌制定
12. 14 創立 10 周年記念式挙行
昭61. 9. 10 園庭拡張、園舎外壁塗装
平 1. 8. 31 南側テラスに屋根をかける
平 3. 11. 15 教室、ホールのストープ改修
平 4. 8. 31 廊下床張り替え、門柱、防球ネ
ット設置、登り棒新設
平 5. 8. 20 ホール、保育室の床改修

2. 歴代園長

氏 名	年月 ～ 年月
手代木 和 夫	昭 51. 4. 1～昭 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1～昭 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1～昭 62. 3. 31
上 野 美津枝	昭 62. 4. 1～平元. 3. 31
坂 口 嘉津子	平元. 4. 1～平 5. 3. 31
高 野 真由美	平 5. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。

近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、主体的に生きようとする心身共に健康で、感性に富み、人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 思いやりのある子
- 自分で考え最後までやりぬく子
- 元気な身体で仲よく遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の特性を理解し一人一人の発達を捉えて個性を大切にしたい指導を行い、直接体験を通して成就感や満足感を得られるよう指導する。

4 歳児 ○ 基本的生活習慣の自立を促し、集団生活の中で望ましい態度を身につけさせる。

- 教師と幼児、幼児相互の信頼関係を深め自己を十分に発揮し、心身の調和のとれた発達を促す。

5 歳児 ○ 主体的に取り組む態度を身につけさせると共に相手の存在を認め互いに尊重しあう心を育て、友達と協調して遊びを進めることができるようにする。

- 地域の特性を生かし公共施設の利用や地域行事に参加し、教育活動の充実を図ることにより主体的に行動しようとする意欲、態度を育成する。

- 身近な自然や事象に興味、関心を持たせ様々な経験を積み重ねることによって思いやりの心や表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

「地域に開かれた幼稚園をめざして」

7. 本園の特色

- 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。
- 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。
- 地域に親しみ愛する心を育てると共に、人とのかかわる力の育成に努めている。



園 名 日野市立第七幼稚園
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-86-3770
順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前
園 児 数 男 61 名 女 58 名 計 119 名

園長氏名 上 野 美津枝

1. 沿革の概要

- 昭 59. 10. 6 園舎新築工事起工
昭 60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置
鉄筋コンクリート 2 階建
学級数 2 定員 70 名
教職員 3 名 園地面積 2599 ㎡
昭 60. 4. 10 第 1 回入園式挙行園児数 49 名
昭 60. 6. 30 開園記念日とする
昭 62. 4. 1 4 歳児 1 クラス増、定員 100 名
(年少 2、年長 1)
昭 63. 3. 11 園舎増築工事完成
昭 63. 4. 11 学級数 4 (4 歳児 2、5 歳児 2)
定員 140 名
平 2. 2. 20 園歌制定

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ～ 年 月
石 井 三 士	昭 60. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
沖 山 英 代	昭 62. 4. 1 ～ 昭 63. 3. 31
平 向 邦 江	昭 63. 4. 1 ～ 平 5. 3. 31
上 野 美津枝	平 5. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区である。職住接近による住宅公団や社宅により、若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量は多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館、障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調にし、主体的で心豊かな幼児の育成をめざす。

- 心の豊かな子ども
- 明るく元気な子ども
- 一生懸命とりくむ子ども

5. 本年度の指導の重点

- 感性豊かな子どもを育てるために身近な自然環境を活用したり、生の音楽に触れたり、直接体験できる機会を出来るだけ多く与える。
- 明るく元気ではつらつとした子どもを育てるために教師や友達とのよりよい人間関係を大切にする。
- 体を動かして遊ぶことや、いろいろなことに興味・関心を持たせていく。
- 何ごとにも積極的に取り組む子どもを育てるために、新しいことに興味や関心を持ち、挑戦する気持ちを大切に励ましたり自信を持たせていく。
- 幼児一人ひとりの発達と特性を的確に把握し個々に応じた指導と援助につとめる。
- 自然に親しみ、五感を通して幼児自身が体得する機会を大切にし、感性豊かな子どもを育てる。

6. 本年度の研究主題

「豊かな心を培うための指導内容の改善と工夫」

7. 本園の特色

- 通園区域は広く、住居は、高層住宅、社宅等が多い。
- 飼育物の世話や菜園、園庭での草花の栽培による直接体験を通して情操豊かな心を育てている。なお菜園では、年間を通して、多種多様の草花や野菜の種播から収穫まで連続して体験学習を行ったり、虫とり、草摘み、霜柱踏み等、園庭で経験できない四季折々の遊びに親しんでいる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	上 野 美津枝	上 野 美津枝
2		渡 辺 明 子



学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野本町 2-14-1
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 6 分
児 童 数 男 232 名 女 233 名 計 465 名

校長氏名 岩 下 和 夫

教頭氏名 木 内 秀 雄

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。
第一大学区第八中学区第五十四
番小学日野学校と称す。（現在
の中央公民館のとなり。）
- 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎増改築、
校地拡張
- 昭 11. 4. 29 校旗寄贈（古谷剛次郎氏）
- 昭 15. 日野 2800 番地（現在地）に土
地 900 余坪、新校舎建築開始。
（戦時中、軍徴用）
- 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8. 22 80 周年記念プール竣工
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日
野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育
環境の整備」を主題として研究
発足
8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼
講堂として移管
- 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育
環境の整備について」発表
5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置
5 月 17 日開校
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開
始 校庭南側一部縮少
- 昭 48. 11. 創立百周年記念祭
- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58. 11. 開校 110 周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去

- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60. 11. 南・北側ブロックべい撤去、植
込とする
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり
推進校」として公開発表
- 平成 8. 校庭整備工事
- 平成 11. 校舎建具等改修、建築工事
- 平成 11. 温度保持設備工事新設
- 平 2. 8. 放送室改修工事
- 平 3. 1. 日野市研究協力校として「一人
一人の読みの力を育てるための
指導法の工夫」を副主題として
研究発表
- 平 3. 8. 校庭改修
給食配膳室扉改修
職員玄関前排水管改修
- 平 4. 8. 教室の出入口扉一部改修
- 平 4. 10. 第二図工室焼き窯設置
- 平 5. 8. ランチルーム全面改修
教室出入口扉の改修
駐輪場設置
- 平 6. 3. 飼育小屋設置

2. 歴代校長

	氏 名	年 月～年 月
1	日野 義順	明 6. 5～明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7～明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4～明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4～明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9～明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4～明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5～明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11～大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4～大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2～大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4～昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2～昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4～昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9～昭 34. 3

	氏 名	年 月～年 月
15	尾崎半次郎	昭 34. 4～昭 37. 3
16	五十嵐 光	昭 37. 4～昭 38. 3
17	木村 清	昭 38. 4～昭 41. 3
18	吉田 辰次	昭 41. 4～昭 44. 3
19	下田 忍	昭 44. 4～昭 50. 3
20	溝呂木桂次	昭 50. 4～昭 55. 3
21	村田 安正	昭 55. 4～昭 58. 3
22	古谷 洋太	昭 58. 4～昭 62. 3
23	山口 武彦	昭 62. 4～平 4. 3
24	岩下 和夫	平 4. 4～

3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において尊敬と信頼の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指して、次のように本年度の学校教育目標を設定する。

① 科学性を身につける子ども

事実を正しく見る目を養い、正しい判断力・順序だった思考力・意欲的に創造する力を伸ばす。

② 豊かな心情を持った子ども

真・善・美に対する感受性を養うとともに、自然や動植物愛護、他人に対する思いやりの心を育てる。

③ 強い意志を育てる子ども

目標に向かって最後までやりとげる実行力を培い、困難にあってもくじけない耐性を育てる。

④ じょうぶな体をつくる子ども

健康に関心を持ち、楽しく運動に取り組み、体力の維持向上を図る。

特に本年度は、第二項目の「豊かな心情を持った子ども」を重点教育目標とし、これの具現化を目指し、人権尊重の教育に立脚して、全ての教育活動を展開する。昨年に引き続き、生活科および社会科に焦点化し、これを研究の中心に据える。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎基本を身につける。また、児童が主体的に活動することに重点をおいた授業を創造する。そのため、

- 指導内容の重点化を図り、体験を通して考える・調べる・確かめる等の時間を十分にとり、考える力・問題解決の力・情報活用能力・表現力・創造性の育成を図る。
- 新しい学力観に立つ学力を育成することを重視して、T・T等を含めた指導法の改善に努める。
- 教材・教具を整備活用し、児童の学習意欲の喚起を図るとともに、学習活動を工夫し、児童が成就感・満足感を持つ授業の創造に努める。

イ. 道 徳

社会規範・生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り、道徳的实践力を高める。そのため、

- 道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導をする。
- 全教育活動を通じて、自然環境の大切さ、生命の尊重・他を思いやる心・基本的生活習慣の定着を重視した指導を推進する。

ウ. 特別活動

児童の協同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。また、児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。そのため、

- 児童の主体的・体験的活動を促し、望ましい集団活動を行う中で一小児童としての連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるように指導する。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、よい面を伸ばすように指導する。
- 勤労生産・奉仕活動を通して、友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ア、学校裁量の時間を通して個別指導の充実・学級係活動の充実を図り、児童一人一人が学校生活を円滑にゆとりと充実をもって送れるよう指導する。
- イ、幼稚園との交流（運動会のかけっこ・学校巡り）を通して、互いに学ぶ姿から異年齢の相互理解を深める。
- ウ、ふれあいタイムを設定し、教師が児童とともに遊ぶ中で、児童理解を深める。
- エ、教師の読み聞かせ・すこやかカード・栽培活動を通して心と体の健康づくりに努める。

(3) 生活指導・進路指導

ア、生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで、「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 校内の教育相談を通して、児童の不安や悩みを聞き、学校生活への適応・学習への適応を図り、明るく楽しい学校生活が送れるように指導する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ、進路指導

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め・誉め或いは児童のもつ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。また、人々の働く後ろ姿や読書指導などを通して一人一人の児童がめあてをもって生きる指導を推進する。

6. 本年度の研究主題

一人一人の児童が自ら意欲的に学ぶための指導法の研究をする。そのために、教師はあくまでも支援者であるという意識をもって学習過程や指導法の工夫を一層進め、児童一人一人の見方・考え方の深まりやつまづきの変容をみとる力を伸ばすよう努める。本年度は社会科・生活科の研究3年目のまとめの年であり、日野市研究奨励「学校奨励」を受けて、公開発表する。

7. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生、他
1		志賀 由具(平成4)	岩下 和夫 49 (体育)	岩下 和夫 52 (体育・現代化)	和田いさを 53 (研究生、教育方法)
2			木内 秀雄 54 (社会)	志賀 由具 59 (体育)	
3			志賀 由具 59 (体育)		
4			寺本 喜和 平成3 (社会)		
5			清水 妙子 47 (学校保健)		



学 校 名 日野市立日野第二小学校
所 在 地 日野市東豊田2-14-1
電 話 0425-81-0070・0851 FAX 0425-81-0851
順 路 J R 豊田駅南口下車 徒歩 10 分
京王線南平駅下車 徒歩 15 分
児 童 数 男 346 名 女 282 名 計 628 名

校長氏名 秋 山 憲 一

教頭氏名 太 田 由紀夫

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分ける。
- 明 12. 2. 豊田 1320 番地、善生寺の西隣に新校舎建築
- 明 26. 4. 東京府に編入される
- 明 41. 3. 日野小学校豊田分教場となる
- 昭 17. 豊田 218 番地に新校舎建築、平屋建 6 教室
- 昭 21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27. 12. 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更
- 昭 31. 4. 第 2 次増築、2 階建 6 教室
- 昭 38. 11. 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭 43. 6. 第 1 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 44. 3. 第 2 次防音、4 階建校舎完成
- 昭 46. 2. 体育館工事、落成
- 昭 49. 3. 第 3 次防音、4 階建校舎完成
11. 創立百周年記念式典を行う
- 昭 55. 3. 1 階建校舎完成
- 昭 56. 5. 新プール完成
9. 校庭整備完成
- 昭 57. 8. 普通教室内部塗装完了
- 昭 58. 12. 校庭歩道完成
- 昭 59. 6. 創立百十周年記念式典を行う
- 昭 63. 8. 体育館改装
- 平 元. 8. 高置水槽取替
- 平 2. 8. 校舎大規模改修完了
- 平 3. 9. 給食室・床(4階)天井(3階)改修完了
- 平 5. 2. ランチルーム完成
- 平 5. 2. 生活科広場完成
- 平 5. 3. 第二校庭用地借上げ決定

平 5. 8. 校舎、床、天井改修

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	昭 27. 10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	昭 34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	昭 38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	昭 42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	昭 47. 4 ～ 50. 3
永 井 雅 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
鈴 木 英 夫	昭 53. 4 ～ 57. 6
篠 宮 忠 男	昭 57. 7 ～ 61. 3
荒 木 健 治	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
馬 場 武	平成元 4 ～ 平成 5. 3
秋 山 憲 一	平成 6. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。しかし、学区内の至る所に湧水があり、サワガニやカワニナが生息する自然環境が残されている。
- 保護者や地域の方々は、教育に対する関心が深く協力的である。登校時の交通安全指導や各種のサークル活動に積極的に参加している
また、浅川を含んだ地域の清掃活動である PTA 主催のクリーン作戦は、13 年目を迎えるなど、環境に対する関心も高い。
- 学校前の都道をはじめとして、学区内の道路はどこも道幅がせまく歩道もない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。
- 現在、豊田南及び東豊田土地区画整理事業が進行し、通学路の変更が度重なっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め国際社会に奉仕できる心身共に豊かな子どもの育成を目指して次の目標を定めた。

- からだも心も強く明るい子
- みんなと仲よく力を合わせられる子
- ◎よく考え、進んで行動する子（重点目標）
- 責任をもって最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

社会の変化に自ら対応できる知・徳・体の調和の取れた児童の育成を目指し、全職員の共通理解を大切にした学級経営を基礎に意図的、計画的、継続的、組織的に教育活動を進める。

そこで次のことを基本方針とする。

1. 児童一人一人を大切に、個性、能力を生かした指導に努めると共に、自主性を育て、児童自身の工夫による楽しく充実した学校生活を創造する。
2. 教育活動の全体を通して心の陶冶を図り人権感覚を育て高めると共に実践的行動力を培う。
3. 体験的な活動を重視し児童の意欲を高め自ら学ぶ能力を培い基礎的、基本的事項が定着するように努める。
4. 授業研究を重視し、小集団による主体的創造的な学習活動、チームティーチングによる指導を含め児童一人一人を生かした指導法の改善に努める。
5. 基本的な行動様式に対する職員の理解を深め、組織的に生活規範の高揚、児童の自立を促す指導の徹底を図る。
6. 自己の住む地域の自然や社会への理解を深め、愛着の心を培うために、地域の教材を取り入れた教育活動の充実を図ると共に、家庭・地域社会との連携を基盤においた指導を進めることにより、社会性を培い、地域社会の中で自ら学ぶ意欲・能力を育てる。
7. 地域の環境に関心を持たせ、自然をいつくしみ、環境を大切にする心を育てると共に、その保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力を育てる。
8. 教育活動全体を通して、我国の文化や伝統を大切に態度を養うと共に、諸外国との生活や文化の相違を理解し、これを尊重する態度を育む。また、コミュニケーション能力の育成に努め、進んで国際社会に参加、協力できる態度と能力を育てる。
9. 心身に障害のある児童および外国人児童については、児童の実態に応じた指導を行う。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度の基礎を身に付けさせる。そのため、

- 指導内容の重点化、体験を通じた活動、考える時間の確保、多様な指導方法や指導形態を創意工夫するなどして思考力・表現力・創造力・問題解決能力・情報の活用能力を育てる。
- 児童一人一人に学習のめあてを明確に自覚させると共に、教材・教具の整備活用、主体的学習の重視などにより児童の学習意欲を喚起し、成就感・満足感を持たせる授業の創造を目指す。

イ. 道徳

全教育活動を通して、4つの側面について下記の事項を重点として指導すると共に、道徳の時間を通して児童の道徳的判断を高め、道徳的实践力を育てる。

- 自分自身……………自分の生活を振り返り良く考えて行動する。
- 他人……………誰に対しても思いやりの気持ちを持つ。
- 自然や崇高なもの……………自他の生命を大切にする。
- 集団・社会……………規則・きまりの大切さを知り規範意識を高める。

ウ．特別活動

望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ると共に、協力してより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。そのため、

- 学級活動を充実し、自己の存在感を高める。
- 児童の自主性を支援し、責任感をもって活動させる。
- クラブ、委員会活動等を通し、積極的に異学年集団活動を行う。

(2) 特色ある教育活動

- 各種の運動や遊びなどを通して自ら健康づくりに励む児童の育成を図る。
- 体験的な活動を重視し、地域の自然や社会を教材化したり、地域の人材を活用するなど、地域で学ぶ教育を進める。
- 家庭や地域と連携したクリーン作戦等、環境美化・保全など地域の人々との豊かな心のつながりを育むと共に教科との関連を図り、推進する。
- チームティーチングによる効果的な教育活動を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導

- 日々の児童の実態を適確につかみ、全職員の共通理解のもと組織的に推進し、基本的生活習慣の定着を図る。また、家庭・地域社会および保育園、幼稚園、中学校との連携を図り、児童の健全育成を進める。
- 日常生活の指導を通し、自主的自立的な判断力、行動力を育てる。
- 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。

イ．進路指導

- 教育相談を充実し、児童のよさを引き出し、認め励ますことによって、児童一人一人の個性、能力を開発、伸長する。
- 児童一人一人に自らのよさを自覚させ、将来への夢や希望をもって生きていく態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

自ら学ぶ力を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

本校は創立120年という歴史と伝統のある学校である。今年度は創立120周年記念式典、および本校同窓会の校友会を中心に地域の教材化をめざした副読本の製作に取り組んでいる。

この中で児童は学校が地域と共にあること、そして自分の土地に対する愛着や文化伝統を肌で感じている。

学校が子供のために努力すれば、それに対し全面的に協力を図る地域である。地域の人との願いと努力で実現した第二校庭は、昔遊びやいも作り、花壇など体験学習の場として活用されている。

これら地域の活力を学校教育に生かすために地域の人材を社会人講師として迎え児童にさまざまな体験の場を与えている。

本年の研究は、3年目となった「自ら学ぶ力を育てる指導法の研究」を軸に生活、社会、理科等の教科の中に地域素材を生かした学習指導法を取り入れ、児童の主体的な学習意欲を育てるねらいで行う。



学 校 名 日野市立日野第三小学校
所 在 地 日野市日野台 2-1-1
電 話 0425-81-0101・0850
児 童 数 男 210 名 女 202 名 計 412 名
(内ひばり 7 名)

校長氏名 三津山 要 教頭氏名 岡 田 壽美子

1. 沿革の概要

- 昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童 1 ～ 3 年 340 名、教室 4、全学年 2 部授業
- 昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する
児童数 696 名、教室 9、4 年生迄 2 部授業
7. 18 校章制定
9. 19 4 教室増築、教室数 13、3 年まで 2 部授業
- 昭 27. 4. 15 4 教室増築、教室数 17、2 年まで 2 部授業
6. 10 校歌制定
- 昭 28. 6. 10 校地 850 坪拡張、6 教室増築、教室数 23、2 部授業を解消
- 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭 32. 3. 4 旧教室 4 を取除き 6 教室を増築
教室数 25、児童数 869 名
- 昭 33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成
- 昭 34. 3. 校地 1,100 坪拡張
- 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更
- 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式
- 昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台 2 丁目 1 番地の 1
- 昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定
- 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎 9 教室増築落成
- 昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工
6. 1 校旗制定
- 昭 54. 4. 1 東光寺小と分離
- 昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設
- 昭 58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始
- 昭 59. 3. 10 藤だな改修
3. 25 給食調理室天井塗装
体育館渡り廊下天井改修
体育館ステージホリズント幕改修
8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備
用務員室改修
12. 20 南校舎非常階段手すり改修
- 昭 60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整

- 備・プール内シート防水・排水バルブ改修・消防水利設備
- 昭 60. 3. 31 裏門拡張・門扉改修
- 昭 61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成
8. 31 体育館内部塗装
10. 31 北校舎屋上改修
- 昭 62. 7. 7 プール更衣室等照明取付
8. 31 ひばり教室改装
9. 8 体育館外部塗装
- 昭 63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理
8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理
8. 31 屋外幹線改修・校庭整備
- 平 元. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修
- 平 2. 8. 21 南校舎玄関塗装
- 平 2. 8. 30 理科室床研磨、実験机交換
- 平 3. 9. 30 北校舎改修(1 年次)
- 平 3. 9. 30 ランチルーム開設
- 平 4. 北校舎改修(2 年次)
- 平 5. 北校舎大規模改修終了
プールのトイレ改修
- 平 6. 3. 飼育小屋新設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 野 忠 正 (事務取扱)	昭 25. 6. 10 ～ 26. 3. 12
高 野 忠 正 (校 長)	昭 26. 3. 13 ～ 27. 9. 30
尾 崎 半次郎	昭 27. 10. 1 ～ 34. 3. 31
五十嵐 葆 光	昭 34. 4. 1 ～ 37. 3. 31
塚 本 正	昭 37. 4. 1 ～ 41. 3. 31
池 田 瑞 男	昭 41. 4. 1 ～ 47. 3. 31
岩 井 庄 三	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
平 松 健太郎	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 54. 4. 1 ～ 57. 3. 31
古 田 耿 介	昭 57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
内 藤 康	昭 62. 4. 1 ～ 平 2. 3. 31
増 賀 従 男	平 2. 4. 1 ～ 平 6. 3. 31
三津山 要	平 6. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 80 m の日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川をへだてて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で心豊かな児童の育成を目指し、次の目標を定める。

○じょうぶな子ども

◎よく考える子ども

○明るく思いやりのある子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○児童相互が個性を認め合い、励まし、支え合う望ましい人間関係を育む教育を推進し人間尊重の態度の育成に努める。

○基礎・基本を重視し、学年相互の関連した教育内容を精選・組織化するとともに、児童が主体的に学習に取り組むような指導・評価の工夫改善を図る。

○児童一人ひとりの個性と創造性を伸ばし、生涯を通じて学び続ける力を育成する教育の充実に努める。

○保健・体育的活動を年間を通して計画・実践し、自ら進んで心身をきたえる態度を養うとともに、たくましい子どもの育成に努める。

○学校の教育環境を整備し、効果的で創意ある教育活動が実現できるようにする。

○家庭や地域社会、学校相互との連携や交流を深め、開かれた学校づくりを推進する。

○学校週五日制の実施に伴い、その意義や効果について家庭や地域社会に啓蒙し、相互の教育力を生かしながら、心豊かな児童の育成に努める。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

○教材研究日を設け教材教具の工夫・活用について検討し、基礎的・基本的事項の学習の定着を目指した指導を充実させる。

○体験的学習を重視し、気づかせ・発見させる学習を推進し学習に取り組ませるとともに、柔軟で的確な思考力・判断力を培う。

○成就感・達成感をもてる授業を確立し、主体的に学び方を学ぶ態度を育成する。

○個性をとらえ、学習形態や学習過程を工夫し、個に応じた指導に努める。

イ. 道徳

○教育活動全体を通じて道徳教育を充実させ、実際の・体験的活動の中でよく考え、進んで実践していく態度を育成する。

○読み物教材、視聴覚教材の充実を図り、授業の工夫・改善を進めるとともに、道徳的態度の深化、補充、統合に努め、道徳的实践力を高める。

ウ. 特別活動

○学級活動や委員会、クラブ、集会活動等の自主的・実践的活動を充実させ、望ましい人間関係を形成するとともに、集団の中で自己を生かす力を育てる。

○児童の実態に即応した活動計画をもとに具体的・弾力的に指導を進め、創意工夫を生かした行事を通し、豊かでうるおいのある心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の素材・自然・人材を生かした多様な教育活動を工夫し、自然・文化・伝統を大切にする態度を培う。
- 誕生給食、兄弟学級集団での遊び等、縦割り集団での活動場面を増やし、生き生きとした楽しい教育の場とするとともに、児童の連帯感を育て、あわせて体力の向上を図る。
- 心身障害学級や養護学校との交流を通して心身障害者との相互理解を深め、思いやりや連帯の意識を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員の共通理解をもとに、体験的活動の中で人間とのふれあいを深めることを通し集団のきまりと意義を理解させ、進んで守ろうとする態度を養う。
- 児童理解に努め、児童と教師の心のふれあいを大切にしたい指導を充実させる。また、家庭・地域との連携を密にした効果的指導に努める。

イ. 進路指導

- 児童一人ひとりのよさを発見し、その個性や特性を生かすことのできる教育活動の場を設定し、意欲的に生活にのぞむことができるように援助する。
- 学校週五日制に伴い、家庭、地域での様々な体験的活動を促し、社会の一員としてのかけがえのない自己に気づかせるとともに、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

教材教具の整備・活用による指導法の改善

7. 本校の特色

- (1) 児童は主体性・粘り強さにもう一步というところはあるが、明るく素直で活発である。
- (2) 校内研究では“よく考える子ども”の育成のために、教材教具の整備・活用による指導法の改善を掲げて、授業研究を進める。
- (3) 地域に残されている畑や自然を教材として活用し、さらに、地域の農産物を給食に取り入れ、地域との連携も深まってきている。
- (4) ひばり学級（心身障害学級）があり、校内における交流教育はもとより、地域に隣接している八王子東養護学校との交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	開 発 委 員	中 央 研	海 外 派 遣
1		三津山 要 53 (算数)			
2		椿坂 俊夫 63 (心障教育)			
3		岡田壽美子 平2 (学校保健)			
4		前田佐和子 平5 (国語)			



学 校 名 日野市立日野第四小学校
所 在 地 日野市石田 430
電 話 0425-81-0038・3076
順 路 日野駅から立川行バス南詰下車徒歩7分
立川駅北口から高幡不動駅行バス四小前
下車 徒歩3分
京王線高幡不動駅から立川北口行バス四小前
下車 徒歩3分
児 童 数 男 221名 女 236名 計 457名

校長氏名 片 岡 千壽子

教頭氏名 畑 野 元 一

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎
明 11. 9. 下田小学校
明 41. 3. 日野小学校下田分教場
昭 29. 8. 18 校地決定 4,259.14 坪
昭 30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を
開校記念日とする
12. 22 校章制定
12. 25 第二期校舎竣工
昭 31. 3. 5 校旗完成
昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校
記念日とする。
昭 40. 3. 31 防音校舎 9 教室完成
昭 41. 3. 31 防音校舎第 2 期工事完了
昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究
発表会をする（都、市指定校）
昭 45. 3. 31 体育館落成
防音校舎 7 教室増築完成
昭 48. 5. 22 創立百周年記念式典
昭 54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修
3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備
6. 22 プールサイド全面 コンクリート塗装工事
昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工
事
6. 20 プール内塗装工事
昭 56. 8. 25 新校舎への親子方式 TV 配線、
放送室内のスタジオ形式の改装
8. 27 屋上高置水槽改造
8. 30 都市ガス化にともなう配管取替
昭 57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替

昭 57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等
の改修
9. 4 非常階段設置
昭 58. 3. 27 自転車置場設置
10. 31 創立百十周年記念式典
昭 59. 3. 31 仲田小学校分離 141 名転出
9. 28 校庭の体育倉庫新設
昭 60. 8. 31 校舎棟工事（窓枠・天井張替等）
昭 61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理
校庭東側フェンス張替工事
8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工
事
昭 62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工事
昭 63. 3. 27 プール内塗装工事
昭 63. 7. 31 小プール排水工事完了
8. アスベスト撤去工事
8. 3 集水桝工事完了
8. 8 放送室調整卓取替工事
平元・ 8. 31 校庭改修工事
校舎外塗装工事
平 2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット
取り付け工事
平 2. 7. ～ 10. 体育館内外壁・床工事
平 2. 9. ～ 10. 消火栓ポンプ取替工事
平 3. 3. 1 保健室エアコン設置工事
平 3. 3. 17 体育館消火栓工事
平 4. 8 パソコン設置
平 4. 8 造形砂場設営工事
平 5. 8. 給食調理室改築工事
5. 11. 創立 120 周年記念式典
平 6. 3. 生ごみ分解消滅機設置

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月		氏 名	年 月 ～ 年 月
1	浦 上 増太郎	昭30. 3. 29～36. 3. 31	6	竹 永 秀 雄	昭57. 4. 1～60. 3. 31
2	田 中 善 次	昭36. 4. 1～44. 3. 31	7	田 中 光 穂	昭60. 4. 1～63. 3. 31
3	森 徹	昭44. 4. 1～47. 3. 31	8	波多野 坦	昭63. 4. 1～平3. 3. 31
4	内 藤 達 夫	昭47. 4. 1～52. 3. 31	9	片 岡 千壽子	平 3. 4. 1～
5	釜 池 博	昭52. 4. 1～57. 3. 31			

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯9地区である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集団住宅をはじめ、万願寺、新井地区の区画整理・宅地造成化がすすめられ、田園地域より住宅化しつつある。また、モノレールの工事も着々と進んでいる。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い社会の変化に自ら対応できる心豊かな児童の育成をめざして、次の目標を定める。

- ◎自分の力で考える子（重点目標） ○みんなと協力する子
- じょうぶな体をつくる子 ○最後までやりぬく子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

21世紀をたくましく生き抜く子どもを育てるために「地域に根ざした、開かれた教育」をもって、何事にも意欲的に取り組み、学ぶ力を身に付けた個性豊かな児童の育成をめざし「自分で考える子」を重点目標とする。

- 教育目標を学年・学級で具現化し、日常の実践活動を通して人間尊重の徹底を図り、人としての生き方を学ばせる。
- 新しい学力観に立った授業の工夫・改善をめざし、個に応じた指導や体験を重視した指導を推進し、主体的な学習態度を育てるとともに、基礎・基本の定着を図る。
- 教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、道徳性の涵養を図るとともに、国際人としての良識ある態度の素地を培う。
- 教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、生涯にわたって体力の維持向上を図る能力や態度を育成する。
- 開かれた学校をめざし、家庭・地域社会との交流と連携を密にするとともに、地域の自然・文化及び諸施設を取り入れた教育活動を推進し、地域の一員としての自覚を促し、全人的な児童の育成をめざす。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各 教 科

- 児童一人ひとりの考え方や取り組みを大切に、成就感や満足感を味わわせ、学習意欲を喚起する。そのために、授業研究の公開を通して指導内容の重点化・指導法の改善につとめる。
- 表現力・思考力・創造力の育成を図るために、体験的学習・問題解決学習を重視した指導計画の作成及び教材教具の整備活用につとめる。

イ. 道 徳

- 全教育活動を通して児童相互の人間関係・児童と社会、自然とのかかわりを深める中で児童の内面に根ざした道徳性の育成を図り、人としての生き方を学ばせる。
- 家庭や地域社会との連携を図る中で日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる実践的な態度を培う。

ウ、特別活動

- 児童会活動・行事等においては、話し合い活動を充実させるとともに、児童相互の協働の場を設定し、協力してよりよい生活を築こうとする連帯意識を育てる。
- クラブ活動では自発的・自治的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 学級活動では一人ひとりの意見を尊重し、自己実現を図らせる。

(2) 特色ある教育活動

- 異年齢集団活動（たてわり活動）の場を設定し、児童相互のかかわりを広げ、社会性や思いやりの心を育てる。
- 多摩川の自然を取り入れた学習活動、畑における生産学習など、地域を生かした体験的・勤労生産的な学習を取り入れ、なすことによって学ぶ基本姿勢を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア、生活指導

- 話を聞く態度の育成を中心に、集団生活の中で必要な基本的な生活習慣の指導徹底を図る。
また、物を大切にする習慣の形成に配慮し、環境を維持・改善していく態度の素地を培う。
- 児童一人ひとりの良さを理解し指導・援助していくために、家庭・地域との連携をいっそう深めるとともに、教育相談体制の充実を図る。

イ、進路指導

- 児童の発達段階に即して、主体的な学び方を身に付けさせるとともに進級・進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

『自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる指導法の工夫』

——国語科を通して——

7. 本年度の特色

- (1) 児童の実態をもとに上記の研究主題を設定し、読解をもとに児童一人ひとりが自らの力で考え、主体的に判断し豊かに表現できる指導をめざす。
- (2) 異年齢たてわり集団活動により、児童間の心の触れ合い協力の機会をもとに、思いやりのある心豊かな児童を育て、人間性豊かでうおいのある学校づくりをめざす。
- (3) 基本的生活習慣の定着を図るため、生活朝会・生活委員会・児童相談を共通理解の場としていく。又、各学期に生活指導全体会を開き、指導の手だてを得るための事例研究、講師からの指導等幅広い研修の場としていく。更に、児童と教師との関わりを重視し、生活問題の早期発見、早期対応、積極的指導により、児童の健全育成を図る。
- (4) 多摩川、近隣農家の畑の借用等により、自然利用、地域性を生かしての体験学習を深めていく。
- (5) 環境整備委員会の充実を図り、全教職員による学習環境の整備、校舎内外の安全確保を推進する。
- (6) 学校教育活動への保護者の関わり、幼小及び中学との連携、教職員によるPTA活動への積極的に参加することにより、地域と家庭、学校との連携を一層深めながら本校の教育の充実を図る。

8. その他（教職員の研究歴）

№\内訳	研 究 員	№\内訳	研 究 員
1	片岡 千壽子（57・給食）	3	福田 功（4・体育）
2	玉置 順子（61・給食）	4	立花 せつ子（4・音楽）



学 校 名 日野市立日野第五小学校
所 在 地 日野市多摩平 6-21-1
電 話 0425-81-0407・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車 徒歩 3分
日野駅より京王バス八王子駅行き
日野自動車工場前下車 徒歩 5分
兄 童 数 男 330名 女 274名 計 604名(うち病弱児4名)

校長氏名 畑 石 重 輝

教頭氏名 吉 野 美智子

1. 沿革の概要

昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
昭 35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
昭 36. 5. 31 第3期工事完成
8. 28 大プール、小プール竣工
昭 38. 2. 20 校章制定
昭 39. 3. 11 校歌発表会
3. 25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭 42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
昭 43. 5. 20 体育館竣工
昭 44. 3. 3 創立 10 周年記念式典
昭 50. 4. 1 訪問学級設置
昭 51. 3. 31 校舎全面的改修着手
昭 54. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 55. 3. 31 校舎 5 教室改修
昭 56. 3. 31 校舎 6 教室改修(H校舎)
昭 59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
昭 60. 3. 31 体育館床研磨
昭 61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
昭 62. 9. 校舎新築本決まり
昭 63. 4. 18 改築設計予算決定
平 元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
平 元. 7. 17 校舎改築工事着工
平 2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
平 2. 4. 5 さやか学級新校舎に引越し
平 2. 7. 24 バスケットゴール設置工事
平 2. 7. 30 新校舎へ引越し

平 2. 8. 1 旧校舎解体工事
平 2. 9. 1 新校舎で授業始
平 2. 11. 30 30周年記念・校舎落成記念式典
平 2. 12. 1 航空写真撮影
平 2. 12. 5 校庭工事検査完了
平 4. 2. 25 「さやか学級」公開研究発表
平 5. 1. 7 体育館舞台袖幕取替え
平 5. 6. 11 体育館舞台吊物昇降機工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
増 島 光 一	昭 34. 4. 1 ～ 昭 36. 3. 31
浦 上 増太郎	昭 36. 4. 1 ～ 昭 39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭 39. 4. 1 ～ 昭 42. 3. 31
星 野 正 男	昭 42. 4. 1 ～ 昭 47. 3. 31
荒 井 一 男	昭 47. 4. 1 ～ 昭 49. 3. 31
三 井 知 夫	昭 49. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
多 昌 直 之	昭 52. 4. 1 ～ 昭 56. 3. 31
田 中 光 一	昭 56. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
上 山 洋一郎	昭 60. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
野 村 武 郎	平 3. 4. 1 ～ 平 5. 5. 7
畑 石 重 輝	平 5. 5. 16 ～ 現在

3. 地域の環境

昭和 33 年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道 20 号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など 4 つの大会社がある。また、自然環境に比較的恵まれ、団地内は公園、

緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調に、これからの社会において児童一人一人が心身共に健康で主体的に生き、個性を発揮し、自ら学ぶ意欲と学習の仕方を身に付け、国際社会に貢献できる児童を育成する。

- 児童像として
- ・健康でたくましい子ども
 - ・心豊かで 明るい子ども
 - ・進んで学び 工夫する子ども
 - ・認め合い 助け合う子ども

5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 人間尊重の精神を基調に教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくす教育を展開する。

(人間尊重)

イ. 自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上ならびに環境の保全・改善を図る能力や態度を、教育活動全体を通して育てる。

(健康でたくましい子ども)

ウ. 自ら学ぶ意欲や思考力・判断力等を学力の基本とし、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、心豊かな学習を展開する。

(心豊かで 明るい子ども)

エ. 内発的な学習意欲を生かし、学習活動が主体的に学び合えるよう指導・援助をする。

(進んで学び 工夫する子ども)

オ. 児童一人一人の特性や個性を認め、自分の持てるものを発揮できるよう考えや思い等を生かす指導を進めるとともに、相互の連帯感を育てる。

(認め合い 助け合う子ども)

カ. 家庭や地域の役割を考え、その教育力を援助する。

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・重点研究「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」の実現に向け、学級・学年単位の指導を充実させ、主体的に学ぶ力を育てる。
- ・指導内容を基礎的・基本的な事項に精選し、個に応じた指導の工夫を図り、学力の定着に努める。
- ・地域の自然・社会環境を積極的に活用したり、体験学習を取り入れ、学ぶ意欲や態度を育む。

イ. 道徳

- ・自然や人々との触れ合いを深める体験や動植物を育てる直接体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性を育てる。
- ・教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、他への思いやり等の心情を陶冶し、その実践力を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級活動・児童会活動・クラブ活動等に異年齢集団の活動を取り入れ、豊かな学校生活を展開する。
- ・児童の興味・関心のある多様な集会活動を主体的に実施させ、自主性を育てる。
- ・身近な環境に目を向けさせる活動を通して、環境をより良くしていこうとする実践的態度を培う。

(2) 特色ある教育活動

- ・集会活動を企画し、異年齢集団の活動を通し楽しい学級・学校生活にする。
- ・多目的ホール・多目的教室・視聴覚機器等の施設・設備の活用を通して主体的な活動を促し、学習活動の充実を図る。

- ・子ども祭り等、学校行事に創意ある活動を取り入れ活力のある活動にする。

(3) 生活指導・進路指導

ア．生活指導

- ・毎月の指導目標を具体的に設定し、毎週土曜日に教職員の共通理解を図り指導を徹底する。
- ・教師と児童が密度の濃い接触を通して、児童の心身の安定に努める。
- ・家庭・地域の連携を深め、基本的生活習慣を身につけ行動できる児童を育成する。

イ．進路指導

児童一人一人の特性を十分理解し、その個性や能力を伸ばし、将来の希望等について教育活動全体を通して指導する。

7. 本年度の研究主題

「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、昭和34年新しい建築様式により建設された。当時少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築の後、新しい施設・設備の整った現在の校舎が平成2年に完成した。校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。

日々の教育活動では、市の重点・課題のもとに地域・児童の実態に即した創意ある指導の実践に努め、その成果をあげている。

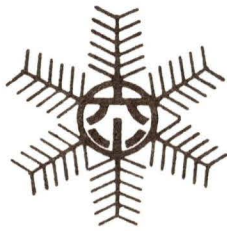
校内研究では主体的に学ぶ力を育成するために、本年度も「豊かな心をもち、楽しく学び合う児童の育成」を研究主題に取り上げ、豊かな心情を育てるとともに、基礎・基本となる内容の指導の徹底を図ることにした。

学校活動や学校行事では、兄弟学級の活用を取り入れながら体力づくり、運動会、音楽会、演劇教室、さらには身近な環境に目を向けさせる教育活動等を設定した。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究に努め、自主協力学習を進める。
- 児童相互、児童・教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践する。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切にし、最後までねばり強い活動を推進する。

9. その他（教職員の研究歴）

内 訳	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研	教育課程委
1	畑 石 重 輝 (S 59 理科)	北 野 義 昭 (S 60 図工)	吉 野 美智子 (S 63 道徳)	鈴 木 節 子 (平 3. 理科)
2		吉 野 美智子 (S 62 道徳)		



学 校 名 日野市立日野第六小学校
所 在 地 日野市多摩平 3-21
電 話 0425-81-4686・0366
順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩 13 分
京王バス 小西六裏門下車 3 分
児 童 数 男 266 名 女 258 名 計 524 名

校長氏名 小 幡 建

教頭氏名 西 森 恵 子

1. 沿革の概要

- 昭 39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童 1 年～3 年
7 学級 263 名
- 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14 学級 児童数 515 名
教職員 21 名
9. 6 プール完成 (6 コース 25 m)
- 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会
6. 17 南校舎 (普通教室 11、職員室、
校長室) 完成
- 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成
3. 16 落成式挙行 (学校、PTA 共催)
- 昭 47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付
3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表 (市研究協力校)
4. 「考えさせる授業への手だて」
発足
- 昭 49. 4. 南校舎 3 階増築 (普通教室 5、
音楽室、管理室 4)
5. 南門完成
- 昭 50. 3. 18 49 年度都愛鳥モデル校に指定
4. 1 32 学級にまで児童が増加
6. 28 開校十周年を祝う会
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける (永年選挙ポスター
コンクールに協力したため)
- 昭 52. 1. 10 体育倉庫完成
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭 54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭 56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭 58. 11. 26 展覧会開催 (昭和 42 年以来 16
27 年ぶり)

- 昭 58. 3.～ 体育館屋根等の塗装、大プール
ビニール張り、南校舎内装改修
- 昭 59. 7. 北校舎廊下の張り替え
8. 中庭の舗装及び排水溝の整備
- 昭 60. 6. 29 創立 20 周年記念 六小子どもま
つりを行う 円形花壇完成
- 昭 61. 12. 校庭南側生垣完成
- 昭 63. 8. 体育館の床・壁面改修
11. 12 第 1 回音楽会開く。この年より、
学芸会、展覧会、音楽会を順に
行う
- 平 1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設
- 平 2. 3. 1 ランチルームが新装なる
- 平 5. 3. 31 造形砂場完成
- 平 5. 4. 人権尊重教育の推進校指定
- 平 5. 11. 6～7 展覧会を行う

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭 40. 4. 1 ～ 昭 43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭 43. 4. 1 ～ 昭 46. 3. 31
新 海 圭 三	昭 46. 4. 1 ～ 昭 50. 3. 31
安 積 利 治	昭 50. 4. 1 ～ 昭 53. 3. 31
光 永 久 夫	昭 53. 4. 1 ～ 昭 57. 3. 31
石 井 三 士	昭 57. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
清 水 七 郎	昭 62. 4. 1 ～ 平成 4. 3. 31
小 幡 建	平成 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は人間尊重の精神を基調とし、法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、民主的社会人としての人間形成の基礎づくりを目指し次の目標を定める。

- 身体と心をきたえる子
- 考えながら学ぶ子
- みんなと仲よくする子
- がんばりぬく子
- 進んで働く子
- 生きものを大切にする子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア．豊かな心をもち、たくましく生きる児童をめざす。特に「身体と心をきたえる子」「進んで働く子」を重点目標に掲げ、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。

イ．児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的基本的な内容を重視するとともに、教師の協業と協働を図り、個性と能力をひき出す教育活動の推進を図る。

ウ．具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め、効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実に努める。

エ．東京都人権尊重教育推進校として、生命尊重、人権尊重の意識を自ら高める児童を育むために、全ての児童の交流を大切に、相互理解と協力の機会を設定して、思いやりの心の育成を図る。

オ．学校週五日制への移行に伴い、学校・保護者・地域が一体となり交流・連携を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア．各教科

- 研究主題「自ら学ぶ子どもを育てる体験学習」について追究する。特に生活科、社会科を重点とした体験的活動を中心に学習指導法の改善充実を図る。
- 研究や日々の授業を通して体験的活動を重視した学習や問題解決の学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心とした研究を推進する。

イ．道徳

- 心豊かで、助けあい、認めあう人間関係の育成を目指す。
- 進んで働き、最後までがんばる態度の育成を図る。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。
- 資料の整備・活用・指導法の改善を図り、道徳的实践力を高める。

ウ．特別活動

- 学級活動の充実を図るため、児童の自発的・自治的活動を促し、自主的・実践的な態度を身に付けさせる。
- 児童会活動を楽しみ、規律ある生活を目指す児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動、学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動を目指し、児童相互に協力し、助け合う自主的な活動を大切にする。

(2) その他の活動

- たてわり集団を組織し、異年齢集団における助け合いや遊びの機会を多くし、責任や協同等の自覚と意識を育成する。
- 児童の創意を大切に、自発的に参加できる行事を企画実践する。

- 福祉副読本の活用や地域の福祉施設との交流を深め、福祉教育の充実を図る。
- 環境副読本の活用を通して、環境教育の素地を養う。

(3) 生活指導・進路指導

〈生活指導〉

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着化を図る。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解を図り、学校全体で見守り、育成にあたる。
- 家庭や地域との連携を深め、協力しあって児童の健全育成にあたる。

6. 本年度の研究課題

「自ら学ぶ子どもを育てる体験学習」

- 体験学習のあり方を追求し、豊かな心をもち、たくましく生きる児童像の具現化をめざす。
- 日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取り組んでいく。
- 各学年ごとに分科会を構成し、授業研究を中心にすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を整備充実し、学校緑化と情操教育に効果をあげている。また、都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努め直接体験活動の充実の一環としている。
- (2) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。
 - ・多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
 - ・児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
 - ・保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	道徳助言研	研 究 員	海 外 派 遣
1	西 森 恵 子(平5)	小 幡 建(53.理科)	小 幡 建(57)
2		西 森 恵 子(平4 家庭)	和 田 雅 実(平5)
3		村 上 悦 子(45.音楽)	
4		鶴 間 紀 子(平3 生活)	
5		佐 藤 静 雄(平2 社会)	
6		清 水 良 夫(54. 僻地)	
7		小 川 浩太郎(平6 体育)	



学 校 名 日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
所 在 地 日 野 市 高 幡 402
電 話 0425-91-0409・0410
順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩5分
児 童 数 男179名 女142名 計321名

校長氏名 香 川 善 平

教頭氏名 逸 見 明 男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として
開校、潤徳学舎と称す
- 明 11. 11. 三沢701番地に移転し、潤徳
学校と称し校舎を新築する
- 明 20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変
更
- 明 26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変
更
- 明 42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、
落川分校とする
- 昭 16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変
更
- 昭 27. 5. 創立80周年記念として、白鳥
省吾作詩、信時潔作曲の校歌を
作成する
- 昭 33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変
更
- 昭 34. 4. 給食調理室完成
- 昭 37. 10. 大・小プールならびに更衣室完
成
- 昭 38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変
更(90周年記念式典挙行、記念
事業として水棲動物園、河川模
型完成)
- 昭 40. 12. 安全教育優良校として都教委及
び都学校保健会より表彰される
- 昭 41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階
建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭 44. 2. 屋内体育館落成
9. 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭 45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校

- 昭 46. 2. 日野市研究協力校として「学級
指導の計画と実践」の主題のも
とに研究発表協議会を開催
4. 普通教室9教室、学校図書館増築
- 昭 48. 5. 開校百年記念式典挙行記念碑植
樹完成
- 昭 49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭 52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭 55. 9. 校庭整備完了
- 昭 58. 2. 研究発表会(国語)
5. 開校110周年記念式典挙行
- 昭 60. 2. 研究発表会(全学級公開、国語)
- 昭 61. 8. 体育館バスケットゴール新設
- 昭 63. 8. 外壁、放送室、体育倉庫改修工
事完成
- 平元. 3. 事完成
- 平元. 7. 7. 体育館補修工事完成
- 平 2. 8. 3階普通教室・廊下塗装、ロッ
カー改修
- 平 3. 8. 音楽室・2階普通教室・廊下塗
装、ロッカー改修
- 平 4. 7. 7. 保健室改修
- 平 4. 7. 10. 給食室改修
- 平 5. 1. 3. 更衣室改修
- 平 5. 4. 湾処内トンボ池完成
- 平 5. 9. 体育館の緞帳・中幕・バック幕
暗幕新調
- 平 5. 11. 開校120周年記念式典挙行
造形用砂場新設
- 平 6. 3. 校庭西側フェンス改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明 9. 12 ～ 明 11. 11

3	和 山 作太郎	明 11. 11～明 15. 11	17	広 井 博 昭	昭 3. 4～昭 7. 9
4	土方 喜久太郎	明 15. 11～明 17. 2	18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭 14. 7
5	宮 倉 保五郎	明 17. 2～明 19. 10	19	鈴 木 慶 蔵	昭 14. 7～昭 22. 2
6	小 宮 太之助	明 19. 10～明 20. 10	20	赤 坂 元 春	昭 22. 2～昭 27. 9
7	須 崎 和 蔵	明 20. 10～明 31. 3	21	塚 本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
8	小 宮 彌一郎	明 31. 2～明 34. 4	22	尾 崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
9	加 藤 菊次郎	明 34. 4～明 36. 1	23	塚 本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
10	佐 藤 良 輔	明 36. 1～明 42. 4	24	溝呂木 桂 次	昭 43. 4～昭 47. 3
11	沖 倉 与 一	明 42. 4～明 43. 4	25	星 野 正 男	昭 47. 4～昭 51. 3
12	荒木田 大 夫	明 43. 5～明 45. 3	26	村 田 守 正	昭 51. 4～昭 55. 3
13	小 宮 彌一郎	明 45. 4～大 12. 3	27	黒 沢 保 雄	昭 55. 4～昭 61. 3
14	平 杉 蔵	大 12. 4～大 13. 3	28	篠 宮 忠 男	昭 61. 4～昭 62. 3
15	矢 沢 久 司	大 13. 3～大 14. 9	29	石 黒 健	昭 63. 4～平 4. 3
16	小 泉 栄 一	大 14. 10～昭 3. 3	30	香 川 善 平	平 4. 4～ 現在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲を持った心身共に健康で心豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

- | | | |
|---|---|---------|
| 敬 | 愛 | ・考える子 |
| 自 | 由 | ・はたらく子 |
| 勤 | 労 | ・心ゆたかな子 |
| | | ・健康な子 |

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「主体的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 研究・研修の充実により、各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、主体的に学習する意欲や態度を育てる。
- ② 児童の主体性を重視した教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う人権尊重の態度を育てる。
- ③ 全教科・領域にわたって、体験的な活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にする態度を育てる。
- ④ 家庭・地域との連携をより深め、地域の自然や文化を取り入れた教育活動の充実を図ることに、国際理解の基礎を培うと共に、社会性を育てる。
- ⑤ 年間を見通した指導計画の作成と指導内容・方法の改善により、教育水準の維持・向上を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各 教 科

- ① 児童一人一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的、基本的な内容の徹底を図る。

② 地域の自然や文化を生かした体験的学習を取り入れ、自ら生きる力を育てる。

③ 主体的、意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

イ 道 徳

① 教育活動全体を通して、生命尊重や思いやりの心を育てるよう指導する。

② 道徳の授業の充実を図り、道徳的实践力を育てる。

③ 児童相互、児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ 特 別 活 動

① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。

② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

① 学年をこえたたてわりの交流により、社会性や連帯感を育てる。

② 委員会活動や、その他さまざまな活動の場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。

③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。

④ 地域の豊かな自然や文化に親しませ、自然や文化を大切にする態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

① 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にする。

② 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。

③ 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。

④ 家庭および地域との連携を深め、協力して児童の健全育成に努める。

イ 進路指導

① 児童理解に基づき、児童の個性、能力の伸長を図り、生涯にわたって、自己実現の図れる基礎を培う。

② 体験的な活動等を通して、望ましい勤労観や職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

創立 120 年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

○保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。

○全職員が交替で読み聞かせをしたり、本の紹介をしたりして、心豊かな児童の育成につとめている。

○地域の自然（浅川・向島用水親水路など）を生かした学習活動を取り入れている。

○本年度は、教育目標の「考える子」「心ゆたかな子」に重点をおいた校内研究及び生活指導を推進し、教育目標の具現化につとめる。

8. その他（教職員の研究歴）

教 育 研 究 員	そ の 他
香 川 善 平 （49 特活）	香 川 善 平（55. 56. 兵教大大学院留学）
反 町 麻佐子 （2 保健）	香 川 善 平（58. 59. 多摩研推委）
逸 見 明 男 （3 道徳）	逸 見 明 男（2. 道徳助言研）
牧 野 豊 （5 特活）	



学 校 名 日 野 市 立 平 山 小 学 校
所 在 地 日 野 市 平 山 4-8-6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩7分
児 童 数 男187名 女198名 計385名

校長氏名 内 藤 康

教頭氏名 宇 野 有斐子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい、修業年限は8カ年）
- 明 17. 平山 598 番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める
- 明 35. 5. 校名を平山尋常高等小学校と改める
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする
- 昭 16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める
- 昭 22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める
- 昭 32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める
- 昭 38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と改める
- 昭 42. 5. 平山 4-8-6 に移転する
- 昭 46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更
- 昭 53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する
- 昭 57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
- 昭 58. 5. 開校 110 周年祝賀式典挙行
8. 本館南側残部 特別教室北側窓取替
- 昭 59. 1. 本館北非常用階段設置
11. 体育館外壁改修
- 昭 60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張
8. 教室廊下側窓改修
- 昭 61. 7. 正門改修
- 昭 62. 1. 校庭整地 本館北側アルミサッシに改修工事 本館防火シャッターおよび扉改修工事 本館外壁全面塗装工事
- 昭 63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事

- 平元. 西門改修、フェンスの生垣化
- 平 3. 西側トイレ改修 生活科室改修
- 平 4. 東側トイレ改修
- 平 5. 新館トイレ工事
新館外装工事
家庭科室改修工事
多目的室床改修工事

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
8	平 杉 藏	大 4. 6 ～ 大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～ 大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～ 昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
21	小 野 晃	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 平 2. 3
26	内 藤 康	平 2. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいっくらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき（特に人間尊重の精神を基調に）知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

① すすんで学び やりぬく子

- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に生きる力を育てる。
- ・自分の目標をもち、失敗や障害を乗り越えて最後までがんばりぬく力を育てる。

② 思いやりをもち 助け合う子

- ・自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育む。
- ・相手を尊重する態度（あいさつ・言動など）が実践できる力を育てる。

③ からだをきたえ 元気な子

- ・すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力を育てる。
- ・自他の健康・安全に気をつけ心身共に健全な子を育成する。

なお、本年度は「すすんで学び やりぬく子」を重点とし、自分で考え行動できる子どもの伸長を期すとともに、表現力豊かなたくましい子どもの成長を求めた実践を指導の力点とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

前記の教育目標達成のため、児童一人一人のめあてを常に明確にし、一人一人の児童が、個性や能力を発揮し、自分で考えて最後まで粘り強くやりぬけるような教育環境を整えることを基本とする。そのため、次のような方策で教育課程を編成する。

① こども主体の授業

② 教育環境の整備

③ 自他の尊重と社会性

④ たくましく生きる力

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動

ア 各教科

- ① 基礎・基本を重視し、児童一人一人の発達段階に応じた指導計画をたてる。
- ② 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- ③ 児童の課題意識を大切にした授業計画をたて、表現力を豊かにするとともに主体的探究的学习をすすめる。
- ④ 桜川や南平丘陵公園など地域の特性を生かした様々な体験学習と地域の教育力を導入した活動を展開する。

イ 道徳

- ① 教育活動全体を通して、自他を尊重する態度を養い、自己抑制力をもった心を育てる。
- ② 互いの立場を尊重し、相互に認め合い励まし合い支え合う実践力を育てる。
- ③ 基本的行動様式の定着を図り、社会性を育む。

ウ 特別活動

- ① 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりをめざす。
- ② 児童の主体性、創造性を生かした活動を通して自主的実践的態度を育てる。

- ③ 集団下校班等縦割りの異年齢集団を生かし、児童相互の触れ合いを広げ、豊かな人間関係を深める。

(2) 特色ある教育活動

- ① 児童が主体的、創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
 ② 学級・学年の時間を特設し、教師と児童、児童と児童の相互の触れ合いを通して人間関係を深める。
 ③ 地域の特性を生かし、又PTAなどとの連携で通学路クリーン作戦など、環境教育をすすめる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己を確立し、社会集団の一員として希望を持って明るく強く生きる力を身につけさせる。
 ② 地域や学校での生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と社会規範を守った行動がとれるようにする。
 ③ 自他を尊重し、正しく判断し行動できる児童をそだてる。

イ 進路指導

- ・自己を見つめ、自己実現できる児童を育てる。
- ・生きがいを見つけられる児童を育てる。
- ・常に自分の生き方を考えられる児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

「自分の考えをはっきり表現できる子ども」 ― 国語科の読解指導を通して ―

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校120年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と5世代にわたって在校した者もあり、地域の学校に対する愛着が強い。又一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も多い。したがって、地域からは多様な要望が多く、また期待も大きい。この中で、伝統として残されてきた古き良きものを大切にし、そして新しいものを取り入れることにより、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや主体的な活動力を欠き、ねばり強さが少ない。そこで、今年度は「すすんで学び やりぬく子」を教育目標の重点に定め、教育をすすめている。
- (3) 校内には、130㎡余りの広い花壇、100㎡余りの田んぼと同様の飼育小屋・広場があり、花や稲の栽培、がちょうやあひる等の飼育、又、学校周辺の自然を活用した体験的学習を通して、児童の心と体の育成に努めている。さらに、地域の旧家を移築した「いろりの部屋（和室）」での古老による「お話会」や、そこに展示してある昔の農耕機具等を使った歴史学習など地域の教育力を生かした活動を行っている。この「いろりの部屋」はPTA活動にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 生	研 究 員	中央研・海外派遣	開 発 委 員
1	内 藤 康 49 (体育)	内 藤 康 45 (体育)	内 藤 康 56 (中央研)	田 中 延 子 平4 (社会)
2		港 澄 江 59 (国語)	内 藤 康 58 (海外派遣)	宇 野 有 斐子 平6 (道徳)



学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢 200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩 15 分
児 童 数 男 301 名 女 298 名 計 599 名

校長氏名 鈴 本 利恵子

教頭氏名 小 杉 博 司

1. 沿革の概要

- 昭 44. 1. 2 開設が決定 工事に着手
4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始
8. 16 日野第八小学校開校
9. 1 415 名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う
11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定
11. 25 校舎落成祝賀式挙行
昭 45. 1. 15 公募により校章決定
4. 1 14 学級となり、プレハブ 2 教室増築
7. 15 校旗ができる
7. 16 25 m 6 コースのプールが完成し、プール開きを行う
9. 7 校歌完成 作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人
昭 46. 4. 1 15 学級 プレハブ教室増築
6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する
9. 15 体育館工事着工
昭 47. 2. 15 体育館落成式を挙行する
4. 1 プレハブ 2 教室増築
プレハブ 5 教室使用
6. 20 西武百草団地入居のため 250 名の児童転入
昭 48. 3. 本校舎 8 教室の増築完了
5. 校地前程久保川の工事完了
昭 49. 3. 1 校門が完成
昭 49. 4. 1 学級増のため、プレハブ 5 教室を使用
8. 15 プレハブ 2 教室が増設され、図書室、教材室として使用

9. 10 都水道に切替え
昭 50. 1. 20 校地拡張 西門整備完了
2. 20 第 3 期増築完了 普通教室 6、教材室 2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板
7. 15 プール市水切替工事完了
10. 25 体育館床塗替え
12. 20 砂防 (10×8 m) 完成
昭 52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了
昭 53. 4. 15 プレハブ 2 階建工事完了 教室 8、図書室、音楽室として使用
昭 54. 3. 31 プレハブ 2 階建 2 教室増築工事完了
11. 17 開校十周年記念式典
昭 55. 3. 31 三沢台小学校を分離
プレハブ全教室を撤去
昭 57. 9. 10 運動場全面改修完了
昭 59. 8. 31 防球フェンス (5×90 m) 完成
図書室 (2 教室打抜き) 完成
昭 60. 9. 26 花壇防球フェンス (5×35 m) 完成
花壇増設 (5×1.5 m, 3 ヶ所)
プール更衣室通路舗装
昭 61. 3. 24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了
8. 27 体育館照明設備新設
昭 62. 1. 31 プール機械室改装
平 元・8. 31 西校舎屋上改修
平 元・11. 25 創立 20 周年記念式典
平 3. 10. 7 ランチルーム完成 使用開始
平 4. 10. 12 体育館改修工事完了 使用開始
平 6. 3. 7 生活科ゾーン整備工事完了
(砂場、屋外テーブル、ベンチ)

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
金 子 武 夫	昭 44. 8 ～ 48. 3
岡 本 省 吾	昭 48. 4 ～ 53. 3
古 谷 洋 太	昭 53. 4 ～ 58. 3
澁 谷 義 一	昭 58. 4 ～ 63. 3
草 薊 和 志	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
石 川 耀 子	平 3. 4 ～ 平 6. 3
鈴 本 利恵子	平 6. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で 40 分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、人間尊重の精神を基調として、本校の教育を行う。社会の変化に対応して、主体的に判断や行動ができ、個性豊かで、生涯を通して学び続ける人間の育成をめざし、次の教育目標を定める。

- ア. 健康でたくましい子ども
- イ. 美しくゆたかな心の子ども
- ウ. 深く考えやりぬく子ども（重点）
- エ. 力を合わせはげみあう子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 「深く考えやりぬく子ども」を重点目標とし、生涯を通じて学び続ける児童の育成を図る。
- イ. 自他の生命を尊び、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育み、人間尊重の精神を培う。
- ウ. 家庭・地域との連携をいっそう深め、地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育活動や体験的な学習活動を工夫する。
- エ. 自然をいつくしむ心や環境を大切にする心を育て、環境の改善に主体的に働きかける態度や技能を培う。
- オ. 自国の文化や伝統について理解を深めるとともに、進んで国際社会に参加・協力できる能力や態度を育成する。
- カ. 校内研究・研修を通して、指導内容・方法・評価の改善、充実に努め、基礎的・基本的内容の定着を図る。また、一人一人の個性、能力を伸長し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。
- キ. 心身に障害のある児童の理解を深める指導を充実する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 個々の児童に即し、基礎的・基本的内容の指導を徹底する。
- 多様な指導方法や形態、主体的・創造的な学習活動を創意・工夫し、柔軟な思考力や創造力を育成する。3 年生算数科はティームティーチングを行う。

○地域の奏材を生かした教育の在り方・体験的な学習を重視する。

イ. 道 徳

- 全教育活動を通して、豊かな感性や徳性を涵養し、人間としての生き方や在り方の自覚を一層深める。
- 道徳の時間をさらに充実し、道徳的实践力を高める。
- 家庭や地域社会と連携し、地域や人々との関わりの中で道徳性を高める。

ウ. 特別活動

- 児童の主体性・創造性を伸ばす活動（八小祭・全校遠足等）を通して、自主的・実践的態度を高める。
- 児童の共働・協力活動を通して、助け合い学び合う心、八小児童としての連帯感や豊かな人間関係を育成する。

(2) 特色ある教育活動

- 異年令集団活動で豊かな心、いきいきとした知識、健やかな体を育む。
- 地域・家庭・関係諸機関との連携を深め、環境の改善、老人福祉などにも主体的に働きかける態度や技能を培う。
- 心身に障害のある児童の能力・適性の伸長を図るため、共通理解を深め、学校全体で取り組む。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員共通理解のもと、基本的生活習慣の定着を図る。
- 「八小の約束」をよりどころに、集団の規範を守る態度、互いに認め合い支え合う態度を育む。
- 家庭・地域・関係諸機関と緊密な連携を図り、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路指導

- よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。
- 全教育活動を通して、一人一人が目あてを持ち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」 ― 地域に関心を持ち、自ら調べ学ぶ力を育てる ―

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。全教育活動を通して、学習・生活・言語環境の整備に努めている。
- ② 恵まれた地域の自然環境や文化財を活用し、フィールドワーク等の体験学習を日常の教育活動に取り入れ、学習に対する興味・関心を高め、郷土を愛する心を育てている。
- ③ 地域と連携のもと、3～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、チームづくりを通して、健全育成の面で大きな成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内 訳	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1		鈴木利恵子（平4）	鈴木利恵子（59.国語）	小杉 博司（61.社会）	小杉 博司 （63・教材開発・社会）
2			小杉 博司（57.社会）	林 亀三（63.体育）	
3			林 亀三（57.体育）	海老原眞知子（5.家庭）	
4			石岡 房子（63.国語）		



学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草 999
電 話 0425-91-0997・0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
百草センター下車 徒歩 5 分
児 童 数 男 188 名 女 186 名 計 374 名

校長氏名 小笠原 久 雄

教頭氏名 上 田 憲 二

1. 沿革の概要

- 昭 44. 8. 2 校舎新築起工
12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校
として潤徳小学校内で授業開始
昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新
校舎に移転開校する 学級数 8、
児童数 118 名、教職員 16 名、市
職員 3 名
6. 1 開校式挙行、6 月 1 日を開校記
念日とする
昭 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3 月
8 日を制定記念日とする
4.30 校舎北側の埋立工事完了
7.31 プール工事完了、大プール、小
プール、シャワー、更衣室、機
械室竣工
昭 47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始
6.17 体育館完成
昭 48. 9.26 校舎新築工事開始
昭 49. 3.31 増築 7 教室竣工
昭 51. 3.20 増築校舎完成 普通教室 9、図
工室 1
昭 54. 5.31 開校 10 周年記念式挙行 記念
誌、タイムカプセル作成
10.31 校庭南側の階段上に正門落成
昭 55. 4. 1 学区変更により、梅が丘団地
が本校学区に編入される
昭 58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
9. 7 校庭改修工事完了
昭 61. 4. 3 小プール底改修工事完了
昭 62. 3.19 校庭西門改修工事完了
昭 63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
6.25 A V 卓設置工事完了

- 昭 63. 9.10 外壁塗装工事完了（本校舎北面）
平 1. 2.21 プール管理棟外壁修理塗装完了
1.10. 3 体育館、補修、改修工事完了
（床面、外壁塗装含）
平 2. 3.10 新校舎漏水配管修理完了
5.18 アメリカンスクール訪問
7.21 電動バスケットボール設置
8. 3 給食室シャッター取り付け
10.26 プール、足洗い場設置、とびこ
み台撤去
11.16 開校 20 周年記念式挙行 記念
誌発行
平 3. 3.29 クーラー設置（保健室）
8.30 給水管改修工事完了
平 4. 3.31 飼育舎新設
平 5. 1.21 和室新設
平 5. 4. 1 つくし学級（情緒・通級）開設

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
岡 本 省 吾	45. 4. 1 ～ 48. 3. 31
村 田 安 正	48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
田 中 春 男	51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
竹 内 音 治	55. 4. 1 ～ 58. 3. 31
志 賀 頼 治	58. 4. 1 ～ 59. 9. 8
村 松 徹 二	59.10. 1 ～ 63. 3. 31
草 刈 喜 一	63. 4. 1 ～ 3. 3. 31
小笠原 久 雄	3. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成さ
れた、百草団地と梅が丘団地とが主な学区で
ある。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクレーシヨンの人々でにぎわう。自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ、健康な体と、思いやりとたくましさのある心を持ち、自ら判断し主体的に行動する児童の育成をめざし、下記の四つの目標を設定する。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

自らよく考え行動できる児童の育成を指導の重点とする。

「よく考える」ことを日常的に児童が意識するように、児童の発達段階に則して、目標を具体化したり、指導場面を設定する等、創意を生かした教育活動の充実を図る。

- ・ 全教職員の共通理解のもとに組織的計画的に全教育活動をすすめる。
- ・ 教職員相互が研修、研究を深め、児童に基礎的基本的内容を身につけるとともに、自ら学ぶ力を培うために、体験的学習を取り入れる等の授業の創造に努める。
- ・ 自ら、健康の保持、体力の向上をはかる能力・態度を児童一人ひとりに育てるとともに、思いやりとたくましさを持った心を育むため、特に体育、道徳、特別活動の指導の充実を図る。
- ・ 児童の個性や特性を教師、児童相互が認め、更によりよい伸長をめざして、励まし協力していく姿勢を大切にする。
- ・ 児童の学びの場として、学校や地域の自然を大切にし、落ち着いた、整理整頓された環境の美化整備に努める中で、環境教育の充実を図る。
- ・ 開かれた学校をめざし、家庭、地域、学校の連携を密にし、相互の理解と協力のもとに児童の教育にあたる。学校五日制の休業日に当たっては、児童自身や家庭の計画による過ごし方を尊重し、各児童の体験を通した学びを大切にする。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

児童自らが考え、主体的に取り組む学習をめざす。

- ・ 教材・教具の工夫、視聴覚機器の活用等を基に、基礎的基本的事項を児童一人ひとりに身につけさせるとともに、児童の興味、関心を大切にし、児童の学習過程や学ぶ姿勢に視点をあてた授業の展開に努める。
- ・ 指導に体験的学習を取り入れ、その体験に基づく児童一人ひとりの学習への関わりを大切にする。

イ. 道徳

豊かな体験を通し、自他の生命の尊さや人と人の心のつながりを大切にする実践的態度や行動を、道徳の時間の指導だけでなく全教育活動を通して育み、人権を尊重し平和を希求することの大切さを自覚させる。

ウ. 特別活動

児童の個性・特性、体験、創意が生かされ、児童が喜びをもって主体的に参加する望ましい集団活動をめざす。また、活動を通して、心身の健康や安全、豊かな情操、望ましい人間関係等、人として調和のとれた発達を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・読書指導を更に充実させ、児童に豊かな情操や思考力を育む。
- ・草花の栽培、ミニ動物園の飼育活動を通し、自然をいづくしみ、愛する心を育て、環境の改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。
- ・本校通級学級や都立七生養護学校との交流教育の発展、充実をはかり、互いに認め合い、支え合い、励まし合う、豊かな人間性を培う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・「よく考えて行動できる子」を重点目標とし、主体的に生活していく力を培う。各学年、学級の児童の実態に基づき、「考える」をキーワードとして、目標を具体化し、児童に意識化を図る。また、児童の達成感、達成感を大切にしたい指導を基に、基本的生活習慣や集団生活におけるきまりの遵守、安全な行動等を児童が主体的に身につけるよう努める。
- ・教育相談に関わる問題には、正しい児童理解の基に組織的にあたる。

イ. 進路指導

- ・生活全般の体験を通して、児童自らが自分の長所を発見し、その長所を伸長し、自己を向上発展させる意欲や態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」
—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。多摩丘陵の一画にあり、自然には恵まれている。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心身障害理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

内 訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	小笠原 久 雄（49.特活）	小笠原 久 雄（55.特活）
2	上 田 憲 二（62.教育課題）	丸 カズ子（4.図工）
3	丸 カズ子（52.図工）	
4	青 木 利 夫（6.心障）	



学 校 名 日 野 市 立 滝 合 小 学 校
所 在 地 日 野 市 西 平 山 2-3-1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線平山城址公園下車 徒歩10分
児 童 数 男292名 女283名 計575名(4月7日現在)

校長氏名 草 刈 喜 一

教頭氏名 八 木 文 夫

1. 沿革の概要

昭44.12.26 敷地購入(仮称第11小学校)
昭46.3.31 南校舎(A棟)完成。プレハブ
校舎仮設使用
4.1 日野市立滝合小学校開校
20学級編成、教職員27名
市職員6名
4.6 第1回入学式、始業式
4.30 運動場体育固定施設の設置
5.30 北校舎(B棟)完成
6.1 開校記念日
6.5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
6.30 給食室竣工
7.20 プール竣工
10.1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
12.1 校章、校歌制定
昭47.1.21 エル・サルバドル国教育局次長視
察
2.20 体育館・校内通路完成
2.25 落成式
3.25 第1回卒業式(卒業生78名)
昭50.2.18 体力作り研究発表
4. 校庭植樹250本
昭51.3. 旭が丘小分離(児童201名)
8. 動物園完成
4. 校地内に学童保育所完成
昭53.9.26 校庭全面整備完成
昭58.8. 中庭舗装排水工事完了
昭59.8.30 給食室タイル・壁修理完了
昭61.5.6 体育館内工事完了
昭62.1.29 プールシート防水加工工事完了
2.6 シューティングボード工事完了
8.31 A棟外装工事完了
昭63.8.31 B棟外装工事完了、校庭南側フ

ェンス移設工事完了

平元.8.31 給食室ダム、ウエータ工事完了
平2.8. 校舎北側舗装
平3.8. 外部水飲場改修、A棟1階廊下
塗装
平4.1. AV調整卓交換
8. A棟2.3階廊下塗装、A棟3階
教室内装
平5.8. A棟廊下改修、2階教室内装

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
峰 岸 敬次郎	昭46.4～50.3
鈴 木 英 夫	昭50.4～53.3
梅 田 茂	昭53.4～56.3
鈴 木 敏 郎	昭56.4～59.3
野 口 昭 平	昭59.4～62.3
有 泉 徹 郎	昭62.4～平3.3
草 刈 喜 一	平3.4～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南側に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつある。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で30分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき東京都教育委員会並びに日野市教育委員会の基本方針である人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたって学びつづけるための生きて働く力を身につけさせる。

地域社会の特性や児童の実態を踏まえ、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動できる能力、自ら進んで人格の形成に努めることのできる児童を育成する。

- ア. 健康でたくましい子ども（心と体の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（意欲とねばり強さ）
- ウ. 進んで協力し、実行する子ども（心のふれあいと友情）
- エ. 生きものをたいせつにする子ども（思いやりと生命の尊重）

・学校の教育目標を達成するための基本方針

知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を目指し、自己教育力の育成、基礎・基本の重視と個性・能力を尊重した指導を意図的、計画的に推進する。

ア. 教育目標を具現化するために、学年・学級の実態及び児童の発達段階に即した具体目標を設定し、学校の教育活動全体を通じて実践活動をすすめる。

イ. 各教科及び各学年相互間の関連を図り、各教科の目標と各指導事項との関連を十分研究し、児童一人一人に基礎的・基本的な内容が確実に身につくよう指導の工夫改善を図る。

ウ. 道徳の時間が各教科及び特別活動における道徳教育と密接に関連を図りながら、自他の生命を尊ぶ児童の育成を目指し、計画的、発展的に指導する。

エ. 全教育活動を通じて、生涯にわたり健康で安全な生活を営むために必要な態度や習慣が身につくように指導の充実を図る。

オ. 我が国の伝統や文化を大切にする態度を育てると同時に外国の文化にも目を向けさせ、国際感覚を高める教育の推進を図る。

カ. 学校行事等の計画を立てる際には、各教科との関連を考慮し、授業時数の確保に努め、児童に過重な負担を与えぬよう配慮する。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 1) 学習内容の焦点化し、体験的な学習や問題解決的な学習をすすめるなかで、思考力・判断力・表現力等の能力を育てる。
- 2) 各教科の内容においては、基礎的・基本的な事項を精選し、個に応じた学習を重視した授業の改善に努める。
- 3) 児童が主体者となる学習指導を展開していくために、教材教具を適切に活用し、自らすすんで学ぶ態度の育成を図る。

イ. 道徳

- 1) 年間指導計画を見直し、道徳の時間の充実を図ると同時に、家庭や地域社会における生活体験を通して培われた道徳の実践力に基づき行動できるようにする。
- 2) 教育活動全体を通して、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、豊かな体験を通して児童の内面にある道徳性を伸長し人としての生き方を学ばせる。

ウ. 特別活動

- 1) 学校生活における集団活動を通して調和のとれた心の発達と個性の伸長を図り、活動を充実させるための、企画力・実行力を養う。
- 2) 学校生活がよりよくおくれるよう、集団の一員としての自覚を更に高め、協力する態度を養

い、自主的・実践的態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 1) 地域の行事、人材を積極的に活用し、創意ある活動を充実させる。稲作や学校園での栽培活動、地域の学習を通じて豊かな心を育てる体験学習を推進する。
- 2) 学校・地域をとりまく環境に注目し、美化に努める奉仕活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にすることを育てる。
- 3) 学校行事、委員会活動、クラブ活動、集会活動の企画、実施にあたっては、異年齢集団での活動・交流を重視し互いに認め合う心を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 1) 児童理解に基づき、一人一人の児童の人格を尊重し、個性を生かしながら、社会的資質や行動力を高め、学校生活を有意義で充実したものにさせる。
- 2) 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度を築き上げるために、地域及び家庭と密接な連携を深めながら指導する。

イ. 進路指導

- 1) 生涯にわたって主体的に学ぶ学び方を身につけさせ、進級・進学についての適切な指導を行う。
- 2) 趣味・特技等児童が持っている力が発揮できる場への参加をすすめ、個性や特性を伸ばし将来に希望をもたせる。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究

環境教育・性教育の2つの分科会を設け、授業研究を通して研究を進めていく。今年度は二年目のため、更に研究を深めていく。

7. 本校の特色

校地面積 20,458 m²という恵まれた敷地内に1周200mのトラック、バスケットコート2面二の字形にならんだ校舎、周辺部に飼育小屋、プール、体育館があり落ち着いた空間をつくっている。

児童は全般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。保護者の学校教育に対する理解は深く、極めて協力的である。学校行事にも積極的に参加し、大いに内容を盛り上げてくれる。通学路の点検も協力的である。

- 稲作、野菜の栽培など勤労生産学習の充実
- 児童会主催、学区オリエンテーリング
- 児童が係で活躍する運動会
- 児童の希望を生かしたクラブ活動

8. その他

内訳 No.	研 究 員	開 発 員
1	草 刈 喜 一 (51学校給食)	
2	八 木 文 夫 (59体育)	



学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保 550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて
5分 高幡台団地下車
児 童 数 男 169名 女 158名 計 327名

校長氏名 兼 島 政 邦

教頭氏名 飯 田 国 代

1. 沿革の概要

昭 46. 8. 7 校舎新築工事起工
昭 47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校
鉄筋 3 階建校舎
普通教室 12 特別室 9
特別教室 4
学級数 12
5. 27 高幡台小学校 PTA 設立総会
6. 24 開校式
本日を開校記念日とする
8. 1 プール完成、プール開き挙行
昭 48. 2. 24 校旗・校歌制定
10. 6 体育館落成式
昭 49. 4. 1 第一期増築工事完成
普通教室 9・図書室 1・職員室
改造工事
昭 51. 10. 13 高幡台小学校の位置標識
標高 118 m
昭 53. 3. 31 第二期増築工事完成
昭 54. 1. 24 防火シャッターを全部防煙シャ
ッターへ取替完了
昭 54. 3. 4 玄関脇造園工事完了
昭 55. 7. 5 校庭南門工事完了
昭 56. 2. 7 校舎南側に学級園完成
8. 30 給食配膳室改修工事完了
昭 57. 11. 11 開校 10 周年記念式典
昭 59. 8. 30 屋上高置水槽取替（新・旧館）
昭 60. 8. 25 プール際防球ネット取付
昭 61. 8. 1 丸木遊具製作（職員）
昭 63. 7. 27 校庭改修工事
7. 30 新館階段天井アスベスト改修
3. 15 体育館バスケットゴール取付
平 2. 7. 23 校庭および屋上フェンス改修

平 4. 3. 5 プール改修工事完了
3. 18 和室（いこいの間）完成
7. 29～10. 1 外壁改修工事（第一期）
12. 5 開校 20 周年記念式典
平 5. 5. 11 すべり台補修
5. 30 東階段（校庭）手摺取付け工事
8. 11 放送室 AV 調整卓新設
9. 16 職員室クーラー取付
9. 28 屋上全面防水工事完了
10. 13 東校舎外壁改修工事第二期完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
平 松 健太郎	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
手代木 和 夫	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1 ～ 62. 3. 31
小 泉 宣 夫	昭 62. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
兼 島 政 邦	平 4. 4. 1 ～

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐるし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個性豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして次のような児童を育成する。

- ① たすけあう子ども …………… あたたかい心で助け合う子ども
- ② かんがえる子ども …………… よく考え自分から進んでやりぬく子ども
- ③ はたらく子ども …………… 働くことのすばらしさを身に付けた子ども
- ④ たくましい子ども …………… 健康で明るい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 人間愛・自然愛に根ざした教育を推進し、人や環境にやさしく思いやりのある児童の育成をめざす。
- ② 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成や創造性の基礎を培うことを重視するとともに自ら学ぶ意欲や態度を養う。
- ③ 生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項を確実に身に付けさせるとともに国際社会に生きる日本人としての資質を育てる。
- ④ 全教育活動を通して道徳的心情を培い、自主的・自律的な態度・勤労を尊ぶ実践的な態度を養う。
- ⑤ 健康・安全への関心を高め、健康づくりと体力の向上に努める。
- ⑥ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年・学級経営の充実を図る。
- ⑦ 保護者・地域との連携を深め、地域の自然や文化・伝統を教育活動に生かし、郷土を愛する心を培う。
- ⑧ 校内研究を充実させ、子供の意欲を伸ばす指導法の研究を推進する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア 各教科

- ・指導内容を精選し、児童が自ら学ぶ意欲や態度を高める指導を工夫し、基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせる。
- ・全教科を通して、自分の考えを主体的に表現する能力を育成する。
- ・地域の自然等身近な教材を活用し、体験的な活動を通して、自ら学ぶ意欲や態度を育成するとともに、豊かな心情を育てる。
- ・教育機器の活用、学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し活用していく能力や態度を育てるため、学習形態の工夫に努め、児童にわかりやすく楽しい授業を進める。

イ 道徳

- ・集団行動のきまりや望ましい行動の習慣化を図り、公徳心の内面化を図る。
- ・相手の立場を認め合い、力を合わせてものごとをやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- ・人や自然を大切にすることの態度や公共心の育成を図り、ものを大切にする実践的な態度を身につけさせる。
- ・異年齢集団や、地域のボランティア活動などの具体的な体験活動を通して、人権尊重の心を培う。

ウ 特別活動

- ・児童の協同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。また、児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。
- ・児童の主体的・体験的活動を促し、望ましい集団活動を行う中で高幡台小児童としての連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるように指導する。
- ・勤労生産・奉仕活動を通して、友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ・学年を越えた異年齢集団活動（遠足・集団遊び・子ども祭り等）と校外地区班の連携を図り、地区児童の連帯意識を高める。あわせて、学校生活における望ましい人間関係を育成する。
- ・花作り（菊・菜の花・ひまわり等）や、動物の飼育を通して豊かな心を育むとともに、生命尊重の精神を培う。
- ・和室を有効に活用し、日本の文化や伝統を尊重する態度を養う。
- ・校内・校外の奉仕活動を通して、地域社会の一員としての自覚を高める。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進し、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 全教育活動を通して、温かい人間関係を培い、学校が望ましい自己実現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ 進路指導

- ① 自己を見つめ、新しい学年へ向けての意欲と自覚を高める。
- ② 児童一人一人が、正しい勤労観・職業観を身につけるよう努める。
- ③ 児童が自己の個性を生かし、自己実現に向かって努力する態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

進んで考えることのできる児童の育成

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活程度は平均しており、児童の知能程度も比較的高く格差が小さい。反面閉鎖的傾向が見られ、他の人との連り、連帯意識に弱さがある。また、団地の中だけに固まりがちな傾向が、子どもの遊び等に顕著である。このような実態を考え、子ども相互の縦横の連りを深め、広げることを、また、隣接地域の風にふれさせることにより広い視野を持つ目を育てる意味等から次のことを重点にして実践する。

○たてわり活動

たてわりミニ遠足

子ども祭り 六年生を送る会

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	都・文部省委員	海外派遣	研究員
1	兼島 政邦（61. 科学研究B）		兼島 政邦（58. 理科）
2	兼島 政邦 （59. 都研究奨励費B）		飯田 国代（60. 特活）
3	飯田 国代 （61. 都研究奨励費）		塚本 純子（元. 理科）
4			高橋 智子（63. 保健）
5			宇留賀公夫（H 2. 図工）
6			千葉 正美（H 4. 道德）
7			作山 秀樹（H 4. 音楽）
8			古越 富子（H 5. 学校保健）



学 校 名 日野市立日野第七小学校
所 在 地 日野市神明3-2
電 話 0425-83-3907・3908
順 路 J R 中央線日野駅下車 徒歩約10分
児 童 数 男310名 女274名 計584名

校長氏名 小 林 繁 人

教頭氏名 難 波 和 子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 開校 12学級 児童384名
トラックを除く運動場全面に洋
芝の植付け
6. 校章制定
9. 校旗制定
12. 校歌制定
- 昭49. 3. 「校舎体育館落成記念式」及び
「校歌発表会」举行
3月1日を開校記念日に制定
第1回卒業式 卒業児童45名
4. 開校2年め 入学児童77名
- 昭52. 4. 開校5年め 入学児童79名
13学級となる。教室不足のため、
プレハブ教室2増設
10. 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4. 学級数14となる。
5. 増築工事竣工 普通教室6
図書室1
- 昭54. 4. 第7回入学児童93名
15学級となる。
- 昭55. 4. 第8回入学児童111名
17学級となる。
- 昭56. 4. 第9回入学児童128名
転入児童第2学年以上82名
18学級となる。
- 昭57. 4. 第10回入学児童128名
19学級となる。
- 昭58. 4. 増築工事竣工、普通教室4、教
材室等3、昇降口、便所
開校十周年記念式典
- 昭62. 4. 第15回入学児童103名
- 昭63. 4. 第16回入学児童115名
- 平元. 4. 第17回入学児童120名

- 平2. 4. 第18回入学児童102名
- 平3. 4. 第19回入学児童96名
- 平4. 4. 第20回入学児童108名
- 平5. 4. 第21回入学児童73名
17学級となる。
- 平5.10 開校二十周年記念式典及び祝賀
会
- 平6. 4 第22回入学児童95名

2. 歴代校長

	氏 名	年 月 ～ 年 月
初代	星 野 武 之	48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
2代	上 部 正 彦	52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
3代	梅 田 茂	56. 4. 1 ～ 58. 7. 27
4代	和 田 国 平	58. 9. 1 ～ 63. 3. 31
5代	小 幡 建	63. 4. 1 ～ 4. 3. 31
6代	小 林 繁 人	4. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。

校地の周囲は、住宅が増え、昔ほどの緑は少なくなっているが、屋上に上ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地を隔てて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には遺跡が発掘されている等、教育的には環境に恵まれた場所と言える。

本校の児童の約60%は中央線の線路を隔てた西側の住宅地に居住している。この地域はここ10数年の間に、旧甲州街道ぞいに増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅がある。なお、本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等があり、児童が学習するに最適の地域であると思われる。

しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通

量のピークが、児童の登校時間帯と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神を基調とした、心豊かでたくましく生きる心身共に健康な児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

◎ 自分の力で考える子（本年度の重点目標）

- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおすすめ子
- じょうぶな体をつくる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育活動全体を通して、児童が進んで課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、表現し、解決することができる資質を培い、自主的、自律的、自立の精神を養うと共に、児童や教職員が互いに啓発しあい、地域の人々や保護者との連携のもとに本校の教育目標の達成に努める。

- ① 学校の教育目標に基づき学年・学級の目標を設定し、児童の個性を生かした学年・学級経営をすすめる、児童一人一人の自己実現を図る。
- ② 生涯を通じて学び続ける児童の育成を目指し、児童一人一人が自ら主体的に学習できるよう課題解決学習・体験的な活動・表現活動など多様な学習活動の工夫及び評価法の改善等を行い、日々の授業を充実させる。
- ③ 児童の基本的な生活習慣を培い、互いに思いやる気持ちを育てると共に、全教育活動を通して人間尊重・人権尊重の精神を養う。
- ④ 児童が自らすすんで健康と安全の保持・増進及び体力の向上を図る能力と態度の育成を目指し、生命の尊厳を基盤とした教育をすすめる。
- ⑤ 身の回りの環境やその問題解決についての関心や解決の能力、実践力を育てる。
- ⑥ 健全な社会の形成者の育成を目指し、学校週五日制を児童の自己教育力育成の機会とすると共に、開かれた学校としての活動をすすめる、児童の「ふるさと」意識を育てる。

5. 本年度の指導の重点

本年度の重点目標「自分の力で考える子」

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 児童自ら考え、主体的に判断したり表現することを重視し、多様な学習活動を工夫する。
- 地域の素材を生かし、児童が自ら課題を見つけ追究することの喜びを味わえる指導や評価を工夫する。
- 授業の充実を目指し、教育環境の整備と活用に努める。

イ. 道徳

- 全教育活動を通して、生命と人権を尊重すると共に、環境資源や公共物を大切にする精神を養う。
- 実践体験を豊かにし、自主・自律・自立の心を育て、道徳の時間にはその補充・深化・統合を図る。

ウ. 特別活動

- 充実した学級活動を基盤とし、児童会活動やクラブ活動への参加意識を高め、自主的・自律的態度を培い、主体的に行動できる力を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 異学年の班活動を重視し、児童の連帯意識と高学年児童のリーダー性を培う。
- 環境副読本や老人福祉副読本等を活用し、体験的な活動を通して、主体的な実践力を育てる。
- 読み聞かせや金管バンド活動を通して、心の豊かさを深める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を身につけさせると共に、相手の立場を考えて行動できる児童を育てる。
- 健康と安全への関心を高め、生命を大切にする態度を育てる。
- 相談活動を充実し、学校生活や学習に主体的に取り組む力を養う。
- 地域の人々や保護者と連携し、児童の学校内外の生活の充実を図る。

イ. 進路指導

- 児童の自己実現を図るために、児童理解を深め、児童の自主的・自律的・自立的な態度や行動を認め励まし、児童自ら目標を決め、その達成を目指して努力する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

(1) 研究主題名

「児童一人ひとりが自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫」

— 地域教材の開発と活用（生活科・社会科）—

(2) 研究内容の概要

- ◎重点教科を、生活科・社会科とし、基礎的・基本的研究を充実させる。
- 地域において活用できると思われる教材について探索・調査・収集する。
- 収集した教材について検討し、授業に活用できる資料作成をする。
- 資料を授業に活用し、実証する。
- 講師を招聘し、地域教材の活用の工夫や指導方法の改善・授業の質の向上を図る。
- 研究内容を集録としてまとめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。
- (2) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して、自分の力で考える子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校外・校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。

8. その他（教職員の研究歴）

内 訳 No	研 究 員	研 究 生	開発委員会委員
1	小林 繁人(53・教育課題)	小林 繁人(44・経営)	難波 和子(63・家庭)
2	齋藤美智子(56・国語)		
3	小坂 克信(元・社会)		
4	川井田和子(2・道徳)		
5	小畑由美子(5・理科)		



学 校 名 日 野 市 立 南 平 小 学 校
所 在 地 日 野 市 南 平 4-18-1
電 話 0425-92-2021・2022
順 路 京王線南平駅より徒歩15分
児 童 数 男215名 女205名 計420名

校長氏名 馬 場 武 教頭氏名 高 橋 茂 子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 12. 27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭 49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、特別教室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
4. 1 日野市南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名
4. 5 仮設校舎校地整理完了
5. 4 本校舎工事着工
総工費220,166万円
敷地面積26,535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎4,456㎡
5. 22 南平小学校PTA設立
11. 15 本校舎完成
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととし、校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行
当日を本校開校記念日として制定する。
11. 29 本校舎へ移転
11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了
12. 31 体育館完成
- 昭 50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭 53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭 54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭 56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築

- 昭 56. 9. 15 NHK全国学校音楽コンクール
東京地区において優良校として受賞
- 昭 57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う
- 昭 58. 3. 31 学校園整備を行う
- 昭 59. 11. 22 十周年記念式典、祝賀会を行う
- 昭 61. 8. 25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭 62. 11. 4 体育館照明器具設置
- 昭 63. 1. 23 体育館屋根塗装
3. 19 体育館緞帳改修
3. 19 校舎北側万年べいの改修工事
8. 31 家庭科室机新設
12. 20 体育館北側防音壁完成
- 平元. 8. 30 体育館床面、家庭科室改修工事
陶芸釜設置完了
10. 16 ランチルーム開設
- 平 2. 1. 24 ランチルーム机・椅子新設
- 平 3. 2. 13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装
- 平 4. 3. 17 ランチルーム床、壁面、窓等全面改修
4. 6. 1 生活科ゾーン完成（田んぼ2枚、井戸2基、水路、池等）
4. 7. 2 校庭南東フェンス改修工事完了
- 平 5. 6. 4 校庭西側移動式フェンス取り付け工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
黒 沢 保 雄	昭 49. 4. 1 ～ 55. 3. 31
松日楽 敬 治	昭 55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
鈴 木 敏 郎	昭 59. 4. 1 ～ 62. 3. 31
石 井 三 士	昭 62. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
有 泉 徹 郎	平 3. 4. 1 ～ 平 6. 3. 31
馬 場 武	平 6. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんぺいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の整備と相まって、教育的環境としては、大変恵まれている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目ざし、次の教育目標を設定する。

◎自ら考え学ぶ子

- 目あてをもってやりぬく子
- 思いやりのある子
- 健康でたくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・全教職員の協力・協働態勢のもとに、体験的活動を重視し、児童の興味・関心・意欲を高め、主体的学習態度の育成を図る。
- ・基礎的・基本的内容を身につけさせるとともに、児童一人一人の個性を生かした授業の創造に努める。
- ・人権尊重の精神を根幹に据え、相互に認め合い、高め合う学級・学年経営に努める。
- ・健康安全の保持増進、体力の向上を図る能力・態度を育てるとともに、思いやりとたくましさを持った心を育むため、特に体育、道徳、特別活動の指導の充実を図る。
- ・地域及び我が国の文化、伝統を理解し尊重する態度を育て、国際理解の基礎を培う。
- ・自然を大切にし、落ち着いた、整理整頓された環境の美化・整備に積極的に関わる態度の育成を通して、環境教育の充実を図る。
- ・家庭、地域、学校の連携を密にし、地域に根ざした教育の推進をし、児童の郷土愛を高める。

5. 本年度の指導重点

(1) 各教科

- ・授業の改善を推進し、児童自らの思考力、判断力、表現力の育成を図る。
- ・学習活動に、具体的・体験的活動をできるだけ取り入れ、児童の興味・関心・意欲を高め、基礎的・基本的学習内容の定着を図る。
- ・一人一人の個性を生かし、粘り強く課題追求しようとする態度を育てる。
- ・水泳、縄跳び、持久走等の活動を通して、生涯にわたって健康な生活を営むための素地を養う。
- ・地域に根差した教育活動を通して、環境への理解と保全に努めようとする態度を育てる。

(2) 道徳

- ・人間尊重・生命尊重の精神を基調とする道徳的実践力を学校教育全体の中で育成する。
- ・道徳の時間は多様な指導資料を活用するとともに指導方法を工夫し、児童の実践体験を補充、深化、統合する。

(3) 特別活動

- ・草取り、石拾い等の活動を通して、環境美化への実践的態度を育てるとともに、協力してより良

い学校を築こうとする態度を育てる。

- ・異年齢集団での遊び活動を重視し、社会性を育む。
- ・児童の特性を生かした学校行事への主体的関わりを通して、児童の連帯感、学校への所属感を育てる。

(4) 特色ある教育活動

- ・「なかよし広場」での野菜・草花作り・稲作り、ワラ細工や生活科の体験活動等を通して、自然の恵みや勤労・生産・奉仕の尊さに気づかせるとともに地域の文化・伝統を理解し尊重する態度を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・児童一人一人の成長への意欲、願いを的確に把握し、自己確立を援助する。
- ・自己を厳しく見つめさせ、進んで生活を改善していく意欲をもたせる。
- ・家庭、地域と連携し、望ましい生活習慣を育てる。

イ. 進路指導

- ・児童一人一人の実態を把握し、長所を認め援助し、生涯に渡って学び続けることの喜びを持たせる。
- ・自己の特性、長所に気付かせ、意欲的に自己実現を図る態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

“児童の主体性を生かす学習活動の研究”

- ・様々な体験を積み重ねることによって見通しを持って学習できる能力を育てる。
- ・生活科ゾーンを活用して、創造的学習を組み立てていく。

7. 本校の特色

- ・児童は比較的素直で、礼儀正しい。知的好奇心も強く、与えられた課題に対しては、熱心に取り組み、理解力もある。反面、指示待ち的傾向も見られる。
- ・米作り、野菜・草花作りを中心にした勤労・生産的体験学習を重視し、地域の教育力も積極的に取り入れている。

8. その他

№ 内訳	研 究 員	現代化委員・開発委員	海 外 派 遣
1	馬場 武(48 理科)	馬場 武(50.理科・開発)	馬場 武(54 ヨーロッパ)
2	吉田 弘(元.教育方式)		
3	高橋 茂子(3. 特別活動)		
4		山田 栄子(6. 特別活動)	



学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保1-14-2
電 話 0425-92-5014・5015
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分
中程久保下車徒歩3分
児 童 数 男188名 女182名 計370名

校長氏名 倉 重 利 恵

教頭氏名 小 原 良 雄

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校
に開設準備室を設置
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校
学級数18 児童数652
教職員26 市職員8
7. 15 体育館竣工
10. 20 落成式挙行、この日を開校記念
日とする。校歌・校章発表会を
開く
昭53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置
(1教室)19学級
昭55. 1. 18 体育倉庫竣工
11. 11 飼育舎竣工
昭56. 12. 17 受水槽竣工
昭57. 5. 13 校庭フェンス側散水栓着工
昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工
6. 15 校庭砂場新設竣工
11. 4 球技場(テニスコート)工事着工
12. 20 同上工事竣工
昭59. 2. 15 プール改修工事着工
2. 29 同上工事完了
7. 27 校庭除石工事を行う
8. 14 体育館ステージ照明設備工事
昭60. 7. 21 校庭整地着工
8. 29 校庭整地完了
昭62. 10. 4 第11回開校十周年記念運動会
を行う
11. 6 開校十周年記念式典を行う

11. 14 第4回開校十周年記念展覧会
を行う。

- 昭63. 8. 普通教室黒板改修
平元. 6. 30 エアコン設置(事務室)
8. 1 放送室AV卓取替え
11. 7 市の研究奨励を受け研究発表を
行う テーマ「豊かな心を育て
る体験学習」
平2. 6. エアコン設置(校長室)
8. 花壇防球フェンス完成
職員室流し台移動・修繕
10. プール道路側フェンス(目かく
し用)完成
平3. 1. ランチルーム用テーブル椅子購入
2. 球技場(テニスコート)フェンス改修
平4. 8. 職員トイレ中間壁工事完了
平4. 10. ランチルーム完成
平5. 3. 飼育舎完成
8. 保健室流し全面改修
9. 体育館白蟻駆除工事終了
6. 2. 市の研究奨励を受け研究発表を
行う テーマ「子どもの意欲が生き
る学習指導」
3. 屋上鉄柵塗装工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭52. 2. 1～昭58. 3. 31
大 島 昭 子	昭58. 4. 1～昭62. 3. 31
三 浦 勝 也	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
倉 重 利 恵	平成2. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、生命・人権の尊重を基調とし、個性豊かで主体的に学び国際性を身につけた児童の育成を期して次のように教育目標を定める。

- 一、 元 気 ○健康で生き生きした子ども
- 二、 本 気 ○自ら考え進んで行動する子ども
 ○心豊かで思いやりのある子ども
- 三、 根 気 ○目標に向かって努力する子ども

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

前項の基本方針を受け、指導計画の作成、指導内容・方法の改善につとめながら、次のことを重点として指導していく。

- 児童の関心・意欲・態度の育成をめざし、指導と評価の一体化を図る。
- 教材研究を深め、自己学習力を育成するとともに個性・能力に応じた授業を追求していく。
- 地域の自然、社会、文化、人材を開発し、その活用を図る。
- 児童の主体性、個性を大切にし、複数の教師による指導など取り入れ、学習活動の活性化を図る。

(2) 道 徳

- 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につける。
- 体験学習をとおして人間性豊かで、思いやりの心をもった児童の育成に努める。
- 教材研究に取り組み、指導法の創意工夫をはかり、道徳性の内面化及び実践的態度を育てる。
- 道徳教育の全体計画のもとに、各教科、特別活動等、全領域のなかで道徳的实践力を高める。

(3) 特別活動

- 体験学習を通して主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画実践できるようにする。
- 学級活動の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自主的に参加できる児童を育て、学校生活にうるおいと変化をもたせる。
- 地域と連携して体験的な活動を行い、日常生活の中で実践する態度を養う。

(4) 特色のある教育活動

- 朝の5分間運動の時間を設定して体力づくりに力を入れる。
- 異年齢集団を編成して集会活動や清掃活動等を行い、児童相互の社会性を培う。
- 「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の体験学習を計画実践していく。
- 隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。
- 教師、児童、保護者の一体となった実践活動を通して、相互理解と心の交流を図る。
- 自然環境を愛護・保全する態度を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- みんな仲良く個性を認め合って助け合い、楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。

- 学校・家庭・地域が連携を深める中で、基本的な生活習慣を身につけて行動できる児童を育てる。
- 児童の発達段階に即して安全教育の徹底を図る。
- 特に配慮を要する児童には、研修を深め、組織的に指導を行う。

イ 進路指導

- 児童の個性、能力の伸長を図り、将来にわたって自己実現の図れる態度を培う。
- 家庭・地域社会での勤労の実態を学習し、望ましい勤労観・職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

「子どもの意欲が生きる学習指導」

平成5年度の市の研究奨励を受けての研究成果を土台にして、下記の二点につき一層研究内容の充実に努める。

- 低学年から体験を深めていき、高学年では問題解決学習へと発展した指導を追求する。
- チーム・ティーチングを導入した学習により、個に応じた教育を推進する。

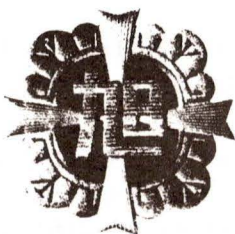
7. 本校の特色

学校生活全般を通して、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、自ら学ぶ態度と主体的に取り組む態度を育てるとともに、人の気持ちや立場を考えて行動できる心情、実践力を養うことに努める。このため教師の指導力を高め、計画的に研究・研修の充実を図り、指導に創意工夫をしていく。

- ① 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り、集団のモラルと質を高めていく。
- ② 全教科・領域にわたって学習指導要領の趣旨にそい、体験的な活動を重視し、児童の主体性や感性の育成に努める。
- ③ 児童自らが体力づくりにはげむよう、全校的な取り組みを行い、健康安全に関する理解を深め、日常的に実践する態度を養う。
- ④ 特別活動の充実を図り、体験や実践を通して自主的な集団活動を育てるとともに個性の伸長を図る。
- ⑤ 地域に根ざした教育推進のため、地域の自然・文化・人材の活用を積極的に教育計画に取り入れる。
- ⑥ 道徳教育の充実を図るとともに、地域の人々・心身障害児・高齢者・帰国児童等多くの人々との相互理解を図り、豊かな心の教育を推進する。
- ⑦ 学習指導と評価の一体化を図り、個に応じた指導の充実と生涯にわたって学び続けるための自己学習力を身につけさせる。
- ⑧ 教師相互が研究・研修を深め、複数の教師による指導など取り入れ学習指導の改善に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1	倉重 利恵(54 国語)		
2	小原 良雄(62 道徳)		
3	田島 佳子(平3 保健)		
4	竹内 勝美(平5 書写)		



学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘 5-21-1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩 25 分 京王・西東京
バス(石川入口)下車 10 分
児 童 数 男 420 名 女 378 名 計 798 名

校長氏名 信 夫 清 彦

教頭氏名 品 田 敏 男

1. 沿革の概要

- 昭 51. 8. 18 起工式
市議会は、日野市立旭が丘小学
校の設置を決定
- 昭 52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令
3. 31 教頭、教諭等 25 名、市職員 8 名
計 33 名発令
4. 6 第 1 回入学式 149 名 4 学級
全校 18 学級 707 名
5. 20 校舎完成
6. 30 プール完成
7. 20 校章制定
8. 15 体育館完成
11. 21 校歌制定 開校式典
- 昭 53. 3. 25 第 1 回卒業式 110 名
- 昭 55. 10. 13 体育館ボーダーライト
- 昭 57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
- 昭 58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成
8. 11 給食室排水工事完成
- 昭 59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始
- 昭 60. 1. 20 プールフェンス工事開始
- 昭 61. 1. 13 プール排水工事・シューティグ
ボード工事
6. 4 理科室天井工事
8. 31 AV 調整卓が入る
理科室・図書室の暗幕取替え
- 昭 62. 1. 7 プールの平板工事
11. 22 開校 10 周年記念式典
- 昭 63. 1. 7 体育館屋根塗装
10 周年記念日日時計工事
1. 30 故大熊校長献花式
8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取
りつけ完了
12. 23 故大熊校長遺稿集発行

- 平元. 5. 26 給食室クーラー設置
平 2. 6. 25 校長室エアコン設置
7. 28 体育館バスケットゴール取付
平 3. 1. 16 学区変更説明会
8. 7 体育館床張り替え工事
平 4. 2. 29 旭小 15 年を語る会
9. 12 備蓄倉庫設置
平 5. 2. 15 生活科用畑工事
5. 30 第 17 回運動会
6. 5 プールタオルがけ工事
6. 10 プールフェンス張り替え
8. 1 校庭改修工事開始
8. 31 給食室床工事完了
11. 10 子供議会出席

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小野寺 東 雄	昭 52. 2 ～ 昭 58. 3
大 熊 喜 一	昭 58. 4 ～ 昭 62. 12
飯 沼 宏	昭 63. 1 ～ 平 3. 3
信 夫 清 彦	平 4. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西2km南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集合住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中で、学区変更が策定されている。学級増の傾向がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- よく考える子ども
- なかよくする子ども
- がんばりぬく子ども
- からだをきたえる子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 「よ・な・が・か」を地域ぐるみの合い言葉とし、旭が丘小17年の成果をふまえ、今日的視点から教育活動を見直し、教育目標の達成を目指す。
- ② 学校教育目標の第1項「よく考える子ども」を重点目標とし、全教育活動を通して教育目標の達成を目指す。
そのために
 - ・一人一人の児童の個性と創造性をのばし、人権尊重の精神を培う。
 - ・体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、児童の主体的な学習を促す。
 - ・豊かな学校環境を活用し、自然をいつくしみ、環境を改善する心と態度を育てる。
 - ・地域に根ざした教育を推進し、地域を愛し、地域の一員としての自覚を育てる。
 - ・自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、生涯にわたって体力の向上とスポーツを継続する心と身体の健康づくりをすすめる。
- ③ 共感的児童理解をもとに、人間尊重の精神を培い、豊かな感性と人間性を育てる心の教育を推進する。
- ④ 発達段階に応じた指導の手立てを工夫し、一人一人にゆきとどいた教育を推進する。
- ⑤ 保護者、地域から信頼される学校をめざし、教職員の研究・研修活動を充実する。
- ⑥ 学校週五日制への移行に伴い、保護者や地域との連携のもとに、児童の学習・生活環境の充実を図るとともに、児童が自ら考え、判断し、行動する態度を育てる。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけ、個性を生かす教育活動を進める中で学ぶ意欲と学習の仕方を知得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・児童の主体的な学習活動を促すため、体験的な活動を取り入れ、学習活動の多様化を図る。また、地域を生かした教育活動を大切に、地域の人々や地域の環境を教育活動に生かしていく。

イ. 道 徳

- ・児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する主体的な道徳的实践力の向上に努める。
- ・道徳の時間は指導計画に基づき多様な指導資料を活用するとともに指導方法を工夫する。

ウ. 特別活動

- ・集団活動に積極的に参加し、望ましい人間関係を築き、自ら考え、行動する児童の育成に努める。
- ・学校行事では体験的な活動、個性を生かす活動を重視し、日常の学習の総合的発展の場とする。
- ・日常生活への適応、健康・安全指導では教師の意図的・計画的指導を強める。
- ・「全校活動」の時間を通して、異年齢集団の中で生き生きとしたまとまりのある交流を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・創活の時間を確保し、栽培活動、飼育活動、雑木林の活用、資源の節約など環境教育を全校で取組み、自然愛護、物を大切に作る心、勤労意欲を高める。
- ・全学年を通して、性教育を計画的に行い、人間尊重・男女平等の精神を培う。
- ・「学年・学級の時間」「交流の時間」等により、児童一人一人におもいやりの心を育て、連帯感を強める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・基本的な生活習慣を身に付け、自立心・自律心を高める力を育てる。
- ・教育相談の機能を高め、問題をもつ児童への組織的対応を進める。

イ. 進路指導

- ・体験的な活動を通して、成就感・達成感を味わわせ、自ら考え、判断し、決定する能力を育成する。

6. 本年度の研究課題

- 子どもによく考えさせる授業のあり方

7. 本校の特色

- (1) 「よく考える子ども」の育成を重点目標に設定。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。〈「よく考える子」の育成を大テーマとして〉
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・八ヶ岳ジャンボリー・旭が丘少年野球リーグなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	信夫 清彦（54・体育）	品田 敏男（2・社会）	信夫 清彦（57・体育）
2	品田 敏男（63・社会）		
3	長田美枝子（4・給食）		
4	上條 茂（5・社会）		



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 15 分
児 童 数 男 115 名 女 113 名 計 228 名
(内わかき学級 9 名)

校長氏名 増 賀 従 男

教頭氏名 齋 藤 正 子

1. 沿革の概要

昭 53. 1. 7 現在地に建設着工
4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山 1, 2, 3, 6 丁目を平山台小学校の学区域と定める。児童数男 268 名、女 282 名 計 550 名 17 学級(心障 2 学級含)の規模で開校する。
10. 24 校舎落成式 校章発表
11. 22 開校記念展覧会 開校記念日
昭 54. 3. 9 開校記念校歌発表会
11. 10. 心障学級作業学習コーナー設置
昭 55. 3. 20 校舎増築 8 教室完成
8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成
10. 20 野焼きの授業展開、テレビ放映
昭 56. 3. 18 屋上フェンス(音楽室上)完成
4. 1 男 385 女 367 計 752 名、22 学級(心障 3 含む)
昭 57. 4. 1 男 356 女 348 計 724 21 学級(心障 2 含む)
8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了
昭 58. 4. 1 男 335 女 337 計 672 20 学級(心障 2 含む)
10. 30 屋外バスケットボール施設完了
昭 59. 4. 1 男 290 女 312 計 602 16 学級(心障 1 含む)
3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成
昭 60. 4. 1 男 276 女 273 計 549 17 学級(心障 2 含む)
12. 9 プール全面塗装
昭 61. 4. 1 男 236 女 245 計 481 名 15 学級(心障 1 含む)

昭 61. 12. 8 研究公開(体育を中心とする)
昭 62. 3. 30 体育館どん張取替
4. 1 男 215 女 208 計 423 名 14 学級(心障 1 含む)
昭 63. 2. 5 研究発表公開(心障)
昭 63. 4. 1 男 191 女 175 計 366 名 13 学級(心障 1 含む)
8. 体育館照明装置取付け
11. 19 開校十周年記念式典挙行
平 元. 3. 体育館バスケットゴール取付け
4. 1 男 167 女 171 計 338 名 14 学級(心障 2 含む)
4. 日野市研究奨励校
5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定
8. 30 多目的教育工事完成
平 2. 4. 1 男 151 女 146 計 297 名 13 学級(心障 2 含む)
10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発表
10. 30 ふれ合い広場完成
平 3. 4. 1 男 135 女 138 計 283 名 12 学級(心障 2 含む)
10. 屋上防水工事
平 4. 4. 1 男 131 女 121 計 252 名 12 学級(心障 2 含む)
平 5. 4. 1 男 115 女 122 計 237 名 10 学級(心障 1 含む)
5. 7. 3 堀之内 3 号トンネル全校生見学
平 6. 4. 1 男 115 女 113 計 228 名 10 学級(心障 2 含む)

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月	氏 名	年 月 ～ 年 月
小 川 格	昭 53. 2 ～ 昭 57. 3	増 賀 從 男	平 6. 4 ～ 現 在
蓮 池 守 一	昭 57. 4 ～ 昭 61. 3		
野 村 武 郎	昭 61. 4 ～ 昭 63. 9		
馬 淵 金 男	昭 63. 10 ～ 平 3. 3		
波多野 坦	平 3. 4 ～ 平 6. 3.		

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きに開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく、体験学習をする上での生きた教材を得た学校である。学区は京王電鉄が造成、分譲した平山 1, 2, 3 丁目に加えて、平山 6 丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に努めているため、静かで落ちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法・教育基本法の示す国民の育成に努めるために、地域・児童の実態を基に、学校の教育目標をさだめる。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自らを考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子（本年度重点目標）
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子
- 明るく たくましい子

〈目標達成のための基本方針〉

教育目標の具現化を目指して、教育課程の編成と実践に努める。

- ① 体験的な学習を重視し、学ぶ楽しさを味わわせ、自ら学ぶ意欲・態度を育成する。
- ② 本年度重点（上記○印）達成のため、授業時数を確保し、児童一人一人の学習の過程や成果を的確に評価して、児童の個性や能力を生かした指導を実現する。
- ③ 全教育活動を通じて郷土や諸外国への理解を深め、人権を尊重し、心身のたくましさを持つ児童を育成する。
- ④ 小規模校の特性を生かして、教師と児童、児童相互の結びつきを深め、協力的に活動する児童を育成する。
- ⑤ 教師一人一人が研修に励むとともに、全教師による協力的な指導体制を確立する。
- ⑥ あらゆる場において児童の生活が豊かで充実したものになるように、家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校を目指す。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

ア. 各 教 科

学習指導要領の主旨をふまえ、児童が意欲的に取り組む授業の創造を目指す。

- ① 基礎的・基本的事項の定着を図るため、指導の内容・方法及び評価の在り方を工夫し、個性、能力に応じた指導を徹底する。
- ② 体験的な活動を重視し、自ら学ぶ意欲や思考力・表現力・判断力を伸ばす。
- ③ 合同学習や小集団による学習など、小規模校のよさを生かした学習を展開する。

イ. 道 徳

心豊かに、よりよく生きようとする児童を育成する。

- ① 児童一人一人が自己を見つめる道徳の授業を工夫し、道徳的实践力を高める。
- ② 人間尊重の精神をもとに、あらゆる教育活動を通じて自他を大切にする態度を育てる。

ウ. 特別活動

集団の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある生活を目指す。

- ① 児童一人一人の個性を尊重し、創意を生かした学級活動を心がけ、自己を生かす力を育てる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を自発的・自治的に解決する力を高める。
- ③ 小規模校の特色を生かした異学年集団の交流を活発にし、助け合い学び合う力を高める。
- ④ 高学年の活躍の場を設定し、リーダーとしての自覚と指導力を高める。

(2) その他の活動

- ① 学校生活に喜び、潤い、充実感を与えるための活動を行い、豊かな心を育てる。(花づくり、子供祭り、オリエンテーリング等)
- ② わかくさ学級との交流を通して、全児童に障害のある児童について正しい理解と認識を育てる。
- ③ 地域との交流を計画し、児童に社会の一員であることの認識を深めさせるとともに、地域の教育力を活用して学習を一層充実させる。(ほほえみ給食、夕涼み会、ふれあいマラソン)

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

児童が生活の中で生き生かされる喜びの場を通して、力を合わせ、ねばり強くやりぬく児童を育てる。

- ① 児童の個性・特性の把握に努め、これを尊重・伸長する指導を進める。
- ② 社会生活規範のあいさつ・ことばづかい・話を聞くの3点について習慣化を図る。
- ③ 健康・安全に関する指導を計画的に実施し、自ら健康や安全に心がける児童を育てる。
- ④ 家庭・地域社会及び関連機関との連携を密にし、児童の健全育成に努める。
- ⑤ 職業・勤労に対する正しい理解と判断力を育て、すすんで労働や奉仕をしようとする態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

「子どもの表現力を豊かにする指導法の工夫」

7. 本校の特色

- 開校16年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と、全校たてわり活動による協働、共学を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめたり、地域の老人クラブとふれ合う体験を通して「心豊かな心やさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について、青少年育成会等と協力したり、地域行事への参加をしたりしてその具体化を図っている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	増 賀 従 男(56.国)	
2	中 村 康 成(55.体、61道)	
3	齋 藤 正 子(63.書写)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校
所 在 地 日野市新町 3-24-1
電 話 0425-84-6200・6201
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 10 分
児 童 数 男 192 名 女 164 名 計 356 名

校長氏名 鍋 田 良 子

教頭氏名 武 内 忠 雄

1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買収予算市議会議決
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決
6. 2 学校開設準備委員会開催
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工
～54. 10. 31
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町 3 丁目と栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目を東光寺小学校の学区と定める。児童数 545 名（男 287 名 女 258 名）15 学級の規模で開校する。
7. 18 校樹決定「さくら」
11. 17 P T A 創立総会
11. 20 校章・校旗・校歌制定
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露、校歌発表
昭 57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設
昭 62. 11. 20 東京都図画工作研究会南多摩研究大会会場となる。
平元. 11. 18 開校十周年記念式典を举行
平 4. 3. 31 飼育舎（ログハウス）新設
平 6. 3. 31 卒業生総数 1,184 名となる。

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
高 田 智	昭 54. 2. 1 ～ 58. 3. 31
近 内 信 輝	昭 58. 4. 1 ～ 60. 3. 31
志 村 桂 次	昭 60. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
鍋 田 良 子	平 4. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町 3 丁目、栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目で、東西 1.8 km、南北 0.8 km と東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で 15 分である。

学区には、天正 16 年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化にしたがって兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法の精神に基づき、「心身ともにたくましく、主体的・創造的に生きる児童の育成」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- 明るい子ども
- 考える子ども（本年度重点目標）
- 強い子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

① 主体的に学ぶ意欲の高揚を図り、自ら考え、正しく判断し、行動できる児童の育成に努める。

② 人間として必要とされる基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、児童一人一人

人の個性を生かした教育の推進に努める。

- ③ 児童が、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図ることができるように、健康・安全教育を計画的・組織的に推進する。
- ④ 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築き、豊かな体験活動や触れ合い活動を通して、互いに認めあい、学び合い、他を思いやる心を育てる。
- ⑤ 家庭・地域との連携を深め、より開かれた学校を目指すとともに、地域の文化や伝統及び環境問題への理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任感を養う。
- ⑥ 教師一人一人 研修に努め、より緊密な協働体制を確立する。
- ⑦ 学校週5日制の実施により、児童が人や自然との関わりを深め、より豊かな感性と高い自律性を培うことができるよう支援する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 地域素材の教材化・活用等を行い、児童一人一人の学習への興味・関心を高め、自ら進んで学習に取り組む事ができるよう、自主的な学習態度を育てる。
- 一人一人の個性や能力に応じた学習の指導法を工夫し、各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けさせるとともに、発表の場を確保し表現力の向上に努める。
- 地域や学校の特性を生かし、生活科をはじめ、各教科を通して豊かな体験学習を系統的に行い、学ぶことの楽しさや成就感を体得させる。

イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、相手の立場にたって考え、行動できるなど道徳的实践力を全教育活動を通して育てる。
- 各教科の指導や生産体験学習、生き物との触れ合い等を通して、自他の生命や人格を尊重し、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
- 勤労の尊さを理解させ、学校や地域への奉仕の気持ちを深め、進んで働く態度を育成する。

ウ. 特別活動

- 児童の発想や創意を生かし、自ら進んで活動し、集団の一員としての自覚を持ち学校生活を充実・向上させていこうとする態度を育てる。
- 自分の生活を見つめ、進んで考え、自ら責任を果たそうとする態度を育てる。
- 地域社会や自然と関わり触れ合える活動を多く経験させ、進んで学校や地域に奉仕する態度を育成する。
- 自分の特性を知り、学校生活で進んでそれを生かし、更に伸ばそうとする積極的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 地域の豊かな自然や広い校地を活用し、児童の創意を生かした異学年活動を行い、地域の人々や児童相互の好ましい人間関係を育み、児童が自ら進んで考え行動できる教育活動を推進する。
- PTAや地域の人々との協力のもと、休耕田・花壇等を活用した生産体験活動や奉仕活動に進んで取り組ませ、生き物を育てる楽しさ、大切さを知らせ、勤労意欲や豊かな心を育成する活動を積極的に進める。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教育活動を通して、進んで学校生活のきまりを守り、話を聞く態度を育てるとともに、児童が安全で明るく健康な活力ある学校生活を送ることができるように努める。

- 組織的な指導体制を確立し、一人一人の子どもの生活上の問題点を把握し、きめ細かい指導を行うとともに、他の教育機関との連携・協力を推進する。

イ. 進路指導

- 児童一人一人が自分の個性を自覚し、進んでそれを生かし、将来への高い目標が持てるような充実した学校生活が送れるように努力する。

6. 本年度の研究主題

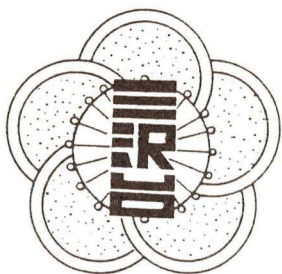
「一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立場を強く自覚し、その期待にいっそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 本年度の重点目標である「考える子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、PTA・地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行われるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	武 内 忠 雄（52・体育）	武 内 忠 雄（59・体育）
2	高 木 宏（63・特活）	



学 校 名 日野市立三沢台小学校
所 在 地 日野市百草 896-1
電 話 0425-92-2351・2352
順 路 京王線百草園駅下車 徒歩 15 分
児 童 数 男 163 名 女 145 名 計 308 名

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 雨 宮 充

1. 沿革の概要

昭 55. 4. 1 開校 日野第八小より分離
児童数 666 名(男 319 名 女
347 名)、教職員 34 名で発足
4. 7 第 1 回入学式 111 名入学
6. 10 プール完成
8. 4 体育館完成
9. 1 校庭使用開始(芝生、アンツー
カーの運動場)
9. 10 市主催による落成式
昭 56. 2. 10 校歌・校章発表会
開校記念日とする
3. 25 第 1 回卒業式 126 名卒業
4. 6 第 2 回入学式 114 名入学
学級数 18
9. 22 校庭改修工事完了(ダスト舗装に)
昭 57. 3. 25 第 2 回卒業式 125 名卒業
4. 6 第 3 回入学式 90 名入学
学級数 17
昭 58. 3. 25 第 3 回卒業式 110 名卒業
4. 6 第 4 回入学式 66 名入学
学級数 16
昭 59. 3. 24 第 4 回卒業式 110 名卒業
4. 6 第 5 回入学式 82 名入学
学級数 16
昭 60. 3. 25 第 5 回卒業式 117 名卒業
4. 6 第 6 回入学式 68 名入学
学級数 15
6. 28 音楽室冷房設備工事完了
昭 61. 3. 25 第 6 回卒業式 131 名卒業
4. 7 第 7 回入学式 79 名入学
学級数 14
昭 62. 3. 25 第 7 回卒業式 119 名卒業
4. 6 第 8 回入学式 60 名入学
学級数 13

8. 31 三沢台小学童クラブ開設
昭 63. 3. 25 第 8 回卒業式 104 名卒業
4. 6 第 9 回入学式 55 名入学
学級数 13
9. 1 体育館舞台照明設備工事完了
平元. 3. 25 第 9 回卒業式 79 名卒業
4. 6 第 10 回入学式 67 名入学
学級数 12
平 2. 3. 24 第 10 回卒業式 89 名卒業
4. 6 第 11 回入学式 52 名入学
学級数 12
8. 24 体育館床張替え工事完了
A V 放送器機設置
平 3. 2. 1 ランチルーム設備充実
2. 9 創立十周年記念式典
父母の会より記念品贈呈(遊具)
3. 25 第 11 回卒業式 79 名卒業
4. 6 第 12 回入学式 50 名入学
学級数 12
平 4. 3. 25 第 12 回卒業式 77 名卒業
3. 31 鳥小屋・砂場・畑新設
4. 6 第 13 回入学式 41 名入学
学級数 12
平 4. 8. 31 ランチルーム改修工事完了
8. 31 音楽室防音工事完了
9. 3 生ごみ分解消滅機使用開始
平 5. 3. 20 桜、梅の苗木を植樹
3. 25 第 13 回卒業式 56 名卒業
4. 6 第 14 回入学式 47 名入学
学級数 12
平 5. 9. 30 暖房機工事完了
12. 24 雨水利用設備工事完了
平 6. 3. 25 第 14 回卒業式 61 名卒業
4. 6 第 15 回入学式 48 名入学
学級数 12

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月	氏 名	年月～年月
初代 深尾 眞	昭 55. 2 ～昭 59. 3	三代 福地 保	昭 62. 4 ～平 2. 3
二代 松日楽敬治	昭 59. 4 ～昭 62. 3	四代 西田 敦子	平 2. 4 ～現在

3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調に、国際社会において心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- 一、すすんで学ぶ子（重点目標）
- 一、明るく思いやりのある子
- 一、よく考え行動する子
- 一、からだをきたえる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

児童一人一人の個性や能力を生かし、豊かな心と実践する力を培う教育を推進する。

- ア、自ら学ぶ意欲を高め、柔軟な思考力、豊かな創造力・表現力を育てるとともに学ぶことの楽しさや喜びを体得させる。
- イ、自尊と敬愛の心を育て、明るい希望をもち、心豊かに生活できるよう指導・援助する。
- ウ、自ら考え正しく判断し、行動できるよう主体性と実践する力を育てる。
- エ、生命を尊重し、自ら進んで健康の増進と体力の向上をめざすとともに、運動に親しむ態度や能力を育てる。
- オ、安全で美しい教育環境を整え、家庭や地域との連携を深め、学校相互の連携や交流を図る。また、教師自ら研修に励むとともに校内研究を充実させ識見と指導力を高め、創意ある教育を推進する。
- カ、学校週5日制の導入により、子どもの学習負担が増大したり、教育水準が低下しないよう指導計画及び指導方法を工夫する。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア、各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的に取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

- 児童の学習への意欲や関心を高めるために、体験的な活動を重視した学習指導の工夫に努める。
- 学習のねらいと評価の観点をはっきりさせ、計画的な学習をすることにより児童の基礎学力の定着を図る。
- 教材、教具の効果的な活用を図り、学習効果の向上に努める。また、地域の素材を教材化し学習の中に生かす。
- 複数の教員がチームをつくり個に応じた指導の充実をめざす。

イ. 道 徳

教育活動の全体を通して、道徳的心情を豊かにして実践力を育てる。そのために、各教科、特別活動とのつながりを深めた指導の展開に努める。

- 生命の尊重を基調に明るく思いやりの心を持ち、たくましく生きる子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努める。
- 異年齢組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のあるよい校風づくりにはげむ態度と実践力を育成する。

(2) 特色ある教育活動

新興住宅と昔から居を構えている地域とを合わせもつ本校では、教育活動にいっそう創意と工夫を図り、児童相互の連帯意識と地域社会の一員としての自覚と実践力の高揚を図る。

- 異年齢児童のふれあいの場を多くし、児童相互、児童と教師の交流をさかんにする。
- 校内、校外での奉仕活動を通し、勤労の大切さを育み、併せて学校と地域との連携を深める。
- 自然をいつくしむ心を育てると共に、環境の改善に働きかける実践力を育てる。
- 児童の遊びを豊かにし、創造性を育み心身の調和のとれた発達の基礎を培う。
- 我が国の文化や伝統についての理解を深めるとともに、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、尊重する態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 楽しい学校生活が送れるように、全教育活動を通じて、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 児童の豊かな人間性を培うために 正しい、美しい、温かい 言葉で話すことができるようにする。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導、健全育成の手立てに万全を期す。
- 心身に障害のある人たちとの交流を深め障害に対する理解を図る。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し生涯学習を指向する基礎作りを目指す。
- 各教科、道徳、特別活動との関連を密にして、職業や勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕することの大切さを体得させる。
- 海外から帰国した児童については、学校生活への適応を図るとともに、外国における経験を生かすなど適切な指導に努める。

6. 本年度の研究主題

「一人一人の児童が、主体的に学ぶ指導の工夫」 教科 生活科・理科

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	海 外 派 遣
1	雨宮 充（61 道徳）	西田 敦子（60 家庭）	西田 敦子 （58）



学 校 名 日野市立仲田小学校
所 在 地 日野市日野本町 6-1-74
電 話 0425-81-8511・8512
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 12 分
児 童 数 男 167 名 女 150 名 計 317 名

校長氏名 中 村 孝 一

教頭氏名 森 野 豊

1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収民有地に新設された学校である。

- 昭 58. 3. 30 仲田小学校新設のための市条例
一部改正を市議会が可決
6. 22 現在地に建設着工
昭 59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任
4. 1 開校
4. 6 第 1 回入学式
5. 23 校庭・プール竣工
7. 31 体育館竣工
10. 12 市主催落成式挙行
11. 12 校歌・校章披露式挙行
昭 60. 3. 25 第 1 回卒業式
昭 61. 3. 25 第 2 回卒業式
昭 62. 3. 25 第 3 回卒業式
4. 1 2 代校長 岩下和夫就任
昭 63. 3. 25 第 4 回卒業式
11. 21 開校五周年記念式典
平元. 3. 25 第 5 回卒業式
平 2. 3. 25 第 6 回卒業式
平 3. 3. 25 第 7 回卒業式
平 4. 3. 25 第 8 回卒業式
4. 1 3 代校長 中村孝一就任
4. 66 第 9 回入学式
平 5. 3. 25 第 9 回卒業式
4. 6 第 10 回入学式
3. 25 第 10 回卒業式
平 6. 4. 6 第 11 回入学式

2. 歴代校長

氏 名	年月 ～ 年月
山 口 武 彦	昭 59. 2. 1 ～ 62. 3. 31
岩 下 和 夫	昭 62. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
中 村 孝 一	平 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道(国道 20 号線)、西に J R 中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立てて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々などが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場(日野第一桑園)跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように教育目標を設定する。

○すすんで学ぶ子

自ら学ぶ意欲を高め、社会の変化に対応できる力を育てる。

○からだをきたえる子

自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。

◎思いやりのある子

生命尊重を基盤とし、人間性尊重、人格を尊重する、豊かな心を育てる。

○最後までやりぬく子

困難や障害を乗り越えて自己実現を目指す、たくましく生きる力を育てる。

5. 本年度の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 各教科の特性を踏まえ、学習集団の編成・活用を図るなど個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びが実感でき、基礎・基本が身に付く授業を創造する。特に、国語科の音読の指導を中心として、表現力を高める。
- 思いやりのある児童の育成を目指し、全教育活動を通して自然・生物・隣人に対する豊かな心情を養うとともに、環境を大切にする心を育てる。

イ. 道徳

- 社会の一員としての自覚を高め、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、自分や相手の立場を思いやる心情を育てる。
- 常に目標や希望をもち、その達成を目指して最後まで根気強くやりとげる意志と態度を養う。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を促し、諸行事や学級活動を推進する。特に本年度は、10周年の諸行事等との関連を考慮する。
- 学級活動の指導計画を見直し、内容や方法を検討し、実践力を高める。

(2) 特色ある教育活動

- 学校裁量の時間（「けやきの時間」）を教育課程に位置付け、昔遊び等保護者や地域の人々とともに活動する体験的な活動の充実を図る。
- 持久走大会等を通して、児童に自ら進んで健康の保持・増進に取り組ませる。

(3) 生活指導・進路指導

- 教育相談・生活指導朝会、看護日誌等を通して、児童理解に努め、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 生活指導目標の達成を目指し、学校生活における基本的な生活習慣の定着を図るとともに学校週5日制の実施を踏まえ、地域・家庭での生活体験等の成果を学校の教育活動に生かす。
- 一人一人の児童の能力・適性を捉え、将来を見通した個性の伸長を図る。
- 学級における係活動などを通して、自主的な活動意欲を高める。

6. 本年度の研究

(1) 研究主題

「表現力を高める学習指導法の工夫」

(2) 研究教科

「国語科」

(3) 研究内容

① 基本的方向

- 国語科を研究領域として、上記主題を追求し、本年度の重点教育目標「思いやりのある子」の具現化を図る。
- 昨年度までの研究及び課題を踏まえて実践し、定着を図るとともに、期待される児童像をさぐる。
- 人権尊重教育推進校5年目を踏まえ「一人一人を大切にした指導」により、思いやりのある児童を育てる。

② 研究方法

- 講演及び教材研究を通して、学習指導要領の趣旨、内容の理解を深める。
- 授業研究を通して、指導内容・方法を実証していく。
- 研究推進委員会の計画・推進により、校内を三分科会に分けて進める。
- 研究教科の教材・資料図書の充実を図るとともに、教育環境の整備に努める。

7. 本校の特色

本校は、開校 11 年目を迎えた教職員の意欲と児童の活力にあふれる学校である。

(1) 恵まれた自然環境

本市の北東部に位置する学区域は、緑豊かな仲田緑地や、流れも清き多摩川など、美しい自然に囲まれている。また学校の前には、樹齢 100 年に達する大ケヤキやイチョウがそびえ、四季おりおりの景観が子供たちの心をはぐくんでくれる。

(2) あいさつが上手な明るい子

本校の子供たちは、すこぶる明るく、素直である。来客者は口をそろえて、「この学校の子供たちはあいさつが上手ですね」とほめてくれる。

あいさつは、心と心を結ぶ最高の手段であり、好ましい人間関係の形成に役立つ。豊かで明るい学校生活を過ごすために、あいさつは不可欠なものであり、全校で取り組んでいる。

(3) 研究熱心な教職員

本校では、「表現力を高める学習指導法の工夫」をテーマに、昨年度までの研究の成果を生かし、国語科を通して更に一層の飛躍・深化に努めている。

また用務員は、庭木の剪定の時期を研究したり、事務職は廉価で品質のよい物品購入に心がけ、調理員は、子どもの側に立った味付けなどを絶えず研究している。

(4) 協力的な地域の方々

本校を取り巻く地域は、「日野宿」跡地に象徴されるように、大変歴史の古い所である。それだけに貴重な遺産や資料がたくさんある。以前、開校五周年記念の資料集を作成するため、地域の方々に資料提供を要請したところ、驚くほど多くの資料や古文書を寄せてくれ、また古老から、昔の話を十分聞かせていただいた。十周年を今秋に控え、地域に根ざすとともに連携がしっかりと深まってきた。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	中村 孝一(52.社 会)	八木 正子(5.生活科)
2	中村 孝一(58.教育課題)	
3	岩崎 英夫(元.体 育)	
4	植松久美子(2.国 語)	
5	八木 正子(2.教育課題)	
6	雨宮 宣夫(6.教育課題)	



学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野本町 7-7-7
電 話 0425-81-0009・0261
順 路 J R 日野駅下車 徒歩 10 分
生 徒 数 男 324 名 女 322 名 計 646 名

校長氏名 松 澤 茂 久

教頭氏名 石 川 光 男

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭 24. 4. 1 校歌制定
- 昭 29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭 37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭 38. 9. 9 プール落成
- 昭 39. 5. 1 特別教室落成
- 昭 41. 7. 1 体育館落成式
- 昭 42. 11. 4 20 周年記念式典举行
- 昭 48. 3. 10 校舎増築（普 2、特別 2）
- 昭 52. 11. 4 30 周年記念、校歌刻字の記念碑
- 昭 55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭 59. 3. 31 給食棟増築（食堂 1、特別 2）
- 昭 59. 6. 4 学校給食開始
- 昭 62. 11. 7 創立四十周年記念式举行
- 平 2. 9. 3 校庭整備工事
- 平 3. 10. 25 柔道室改築
- 平 4. 2. 24 コンピュータ室工事
2. 26 市研究奨励発表会
12. 10 市研究奨励校授業公開

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
町 田 勘之助	昭 22. 4 ～ 25. 9
飯 塚 節 三	昭 25. 10 ～ 37. 3
大 沢 彰	昭 37. 4 ～ 40. 3
大 沢 量 作	昭 40. 4 ～ 45. 3
安 部 達 郎	昭 45. 4 ～ 49. 3
東 恭 朝	昭 49. 4 ～ 53. 3
松 延 耕 作	昭 53. 4 ～ 57. 3
小 林 節 夫	昭 57. 4 ～ 59. 3
奥 村 節 生	昭 59. 4 ～ 63. 3
高 橋 豊 彦	昭 63. 4 ～ 平元. 1
宮 本 裕 子	平元. 2 ～ 平 6. 3
松 澤 茂 久	平 6. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

4. 教育目標

一人一人を尊重し、真理と平和を求める社会の形成者として、世界に開かれた人間の育成をめざし、次の目標を定める。

- 一、自ら考え、学びつづける人（主体性）
- 一、協力し、全体につくす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

5. 教育目標を達成するための基本方針

- ①生徒が各教科等の基礎・基本を身に付け、選択教科でより個性を伸ばし、柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と主体的な態度を養う。
- ②生徒に学級・学年・学校・生徒会、さらに地域社会の一員としての自覚を促し、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、郷土愛を培う。また、校内や地域の美化活動・奉仕活動から環境改善への意欲を育む。
- ③人権尊重の精神を培い、常に国際的視野をもち、一人一人の生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る人間性豊かな教育を徹底する。
- ④生徒が生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図り、生命を尊び健康で活力ある生活がおくれる能力・態度を育成するとともに、性やエイズに関する理解を深めるための指導を充実する。

上記の基本方針を達成するため、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、本校教育の一層の充実、向上に努める。そのために、適切な指導計画を作成し、評価の観点を明確にし、指導方法の工夫・改善を図る。併せて、望ましい教育環境の整備・改善に努める。

6. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 基礎学力の充実を図るとともに、生徒の活動や思考を生かし成就感が意欲につながる新学力観に基づく指導に努める。
- 各教科の授業時数を確保し、授業内容の充実に努める。
- チーム・ティーチングの導入等、教科指導法を工夫改善し、個に応じた多様な指導を深め、主体的な学習態度を育成する。
- 体験的な学習、問題解決的な学習、視聴覚教材・教育機器を活用した学習等を充実し、生徒の興味・関心・意欲・主体性を伸長する。
- 学習の遅れがちな生徒に対してきめ細かな指導に努める。
- 選択教科履修幅を全教科に拡大し、個性教育や情報教育を推進する。

イ. 道 徳

- 他領域との密接な関連を図りながら、自主的判断のもとに責任ある行動ができる道徳的实践意欲と態度を培う。
- 教育活動全体を通じて組織的・計画的・継続的な指導に努める。
- 人権を尊重する豊かで思いやりのある心・感謝と奉仕の心を養い、併せて心身に障害のある生徒や海外から帰国した生徒との交流や理解を図り、助け合う心・ひろい心を育てる。
- 鉢花等の育成を通して、生命を尊重する精神を培う。

ウ. 特別活動

- 教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。
- 小集団を基礎に個人の自発性や個性を啓発し、学級集団の質を高める。
- 学級・学年の活動を母体として、生徒会活動の充実をはかる。
- 部活動等、異年齢の望ましい集団活動を通して、協力や社会連帯の精神を培う。
- 学校行事を通して、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を促進する。

(2) その他の活動

サンフラワー一中（学習・心・環境）を合い言葉に、落ち着きとうるおいのある学校生活を築くため、次の環境教育や社会性を育む教育を推進、並びにボランティア協力校として活動を推進する。

- 清掃・美化活動の徹底をはかり、心豊かな教育環境を醸成する。
- クリーンフェスティバルや花のある教室・学校づくり、古切手・アルミ缶集め、ユニセフ募金等の体験的・勤労的・奉仕的な活動を通して、心豊かな社会性を育む。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 生徒の規律ある・充実した学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図り、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育てる。その一環として、標準服の検討を行う。
- 生徒指導の共通理解・共通実践に努め、職員が一枚岩となって取り組む生活指導態勢を確立する。
- あいさつや朝会等の集会指導の充実により、集団行動の質的向上を図る。

- 教育相談を重視し、生徒一人一人の内面に迫る個別指導を徹底し、集団及び個の発達に応じた適切な生徒指導を充実する。
- 保護者、地域、小学校、関係機関等と緊密な連携を図り、生徒の健全な育成に努める。

イ. 進路指導

- 一人一人の生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と態度を育てる。生徒の進路選択に当たっては、生徒の能力・適性・希望等に基づいて適切に助言・援助を行う。
- 3年間を見通した全体計画を作成し、組織的・計画的・継続的な指導を行う。
- 学級活動における進路指導の時間を確保し、充実に努める。
- 職場訪問・職業調べ・高校調べ・卒業生の話聞く会・高校の先生の話聞く会等体験的な学習を通して、生きた進路情報を取得させ、適切な進路選択能力を育てる。

7. 本年度の研究主題 「生徒の個性を生かす指導の工夫」

- ① 新しい学力観に基づく通知表の改訂
- ② 標準服の検討
- ③ 高校入学選抜推薦資料の作成
- ④ 7年度に向けた選択履修幅の具体的検討
- ⑤ 校務分掌組織の検討

8. 本年度の特色

次のことを、組織的な研究活動のもとに推進する。

サンフラワー中

- ・学・心・体の力
- ・美しい環境

9. その他（教職員の研究歴）

	文 部 省 等	研 究 員	研 究 生	開 発 委 員	道徳助言研
1		石 川 光 男 (46. 保体)	浅 野 哲 男 (58. 保体)	石 川 光 男 (60. 保体)	荒 延 江 (61)
2		松 澤 茂 久 (59. 特活)		浅 野 哲 男 (元. 保体)	清 水 肇 (2)
3		吉 田 俊 明 (63. 教育課題)			
4		岸 隆 男 (63. 国語)			
5		浅 野 和 也 (2. 教育課題)			
6		清 水 肇 (3. 特活)			
7		千 葉 英 明 (4. 教育課題)			
8		沢 田 陽 子 (5. 英語)			
9		菅 野 武 (5. 保体)			
10		山 田 智 之 (6. 教育課題)			



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 中 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 4 - 5 - 2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中 央 線 豊 田 駅 下 車 北 へ 徒 歩 10 分
生 徒 数 男 310 名 女 299 名 計 609 名

校長氏名 日 食 和 雄

教頭氏名 太 田 俊 彌

1. 沿革の概要

昭 29 年度 設立認可、開校式、入学式
(生徒 200 名)
第二期工事八教室増築落成

昭 31 年度 第三期工事竣工落成

昭 32 年度 第 1 回卒業式(卒業生 204 名)

昭 33 年度 校旗・校歌制定

昭 34 年度 産業教育研究校に指定される

昭 35 年度 特別教室(工作、調理、理科)
竣工落成

昭 36 年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行
研究発表会

昭 37 年度 プール竣工落成

昭 38 年度 保健体育研究発表会

昭 39 年度 普通教室 3 教室竣工、創立 10
周年記念式典挙行

昭 40 年度 体育館竣工

昭 41 年度 防音校舎第一期工事完成(6 教室)

昭 42 年度 防音校舎第二期工事完成(18 教
室)、プール用更衣室工事完成

昭 43 年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成

昭 48 年度 創立 20 周年記念式典挙行

昭 49 年度 南校舎 3 階塗装。技術科教室及
同準備室改造整備。中庭・他整備

昭 50 年度 南校舎 6 教室増設、南校舎 2 階
塗装

昭 51 年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備

昭 52 年度 体育館照明工事、暗幕完成
校舎電気配線整備

昭 55 年度 第二技術室の新設

昭 56 年度 北校舎内部塗装工事、校長室・
事務室の床張替え工事

昭 57 年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイド
改修工事。体育館床塗装工事

昭 59 年度 創立 30 周年記念式典挙行

昭 60 年度 給食棟建設工事着工

昭 62 年度 給食始まる
南校舎内部塗装工事

昭 63 年度 南校舎内部塗装工事
体育館西側舗装工事
健全育成相談室設置

平 元 年度 南校舎二階廊下改修塗装
青桐祭(文化の部)市民会館で
挙行

平 2 年度 体育館、床、壁、更衣室等改修
被服室、理科室の床改修

平 3 年度 コンピューター室新設

平 4 年度 南校舎一階廊下天井改修
北校舎階段張替え工事
北校舎二階トイレ改修

平 5 年度 南校舎二階教室天井改修
南校舎昇降口 1.2 階戸改修
北校舎廊下手すり新設
(第二音楽室)

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 貴 一	昭 29. 3. 1 ～ 30. 9. 30
増 山 恒	昭 30. 10. 1 ～ 41. 3. 31
飯 田 栄 一	昭 41. 4. 1 ～ 46. 3. 31
河 村 俊一郎	昭 46. 4. 1 ～ 48. 3. 31
飯 田 卯 吉	昭 48. 4. 1 ～ 51. 3. 31
小 林 政之助	昭 51. 4. 1 ～ 55. 3. 31
渡 辺 吉 彦	昭 55. 4. 1 ～ 59. 3. 31
小 林 節 夫	昭 59. 4. 1 ～ 63. 3. 31
大 野 隆 久	昭 63. 4. 1 ～ 平 6. 3. 31
日 食 和 雄	平 6. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、たくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

指導内容の充実・精選及び、指導方法の工夫改善につとめ、基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習を通して自主学習を促進し、内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

イ. 道徳

日常的教育活動全体を通して、組織的・計画的に内容の重点化を図り、学校生活全般において自主的判断のもと、責任ある行動がとれる豊かな道徳性の育成に務める。また人権尊重教育の立場から「人の命の尊さ」を学ばせる場面を設定する。

ウ. 特別活動

学年・学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動を通して、自主性・協調性・奉仕性等を養う。

特に、生徒会活動においては環境教育の一環として、リサイクル運動を発展させ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加させる。

部活動の種類や内容の充実を図ることによって、生徒の活動意欲を促進し、学校生活の活性化を図る。

(2) その他の活動

小集団を基に学級・学年・生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し、生徒集団の質を高める。

行事や諸活動を充実させ、活発な活動を促進することによって、生徒自身の参加の意欲を高め、主体性・協調性・創造性の伸展を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めることによって、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。

問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続・徹底するとともに、ゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

イ. 進路指導

教師・生徒・保護者の交流を促進し、発達段階に応じた指導をすすめる、自己の個性や適性の伸長を図り、正しい職業観を育成し、自らの進路を選択できる能力を高める。

6. 本年度の研究主題

「人の命の尊さ」を学ばせる為の指導法の研究

7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も15年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員
1	小 島 俊 子 （6. 研究美術）



学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6-7-1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅（京王線）下車徒歩 8 分
豊田駅（J R）下車徒歩 18 分
生 徒 数 男 272（5・3）女 197（6・1）計 469（11・4）
（ ）内は心障・相談学級の生徒数

校長氏名 名 塚 三 雄

教頭氏名 片 倉 俊 秀

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校
を役場庁舎内に設置
5. 15 七生村役場を仮校舎として開校
式挙行 2 部授業で発足
昭 23. 2. 15 七生村南平 1994 番地に七生中
学校敷地決定、地鎮祭を挙行
9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行
創立十周年の記念式典及び校歌
制定の発表を挙行
昭 33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
昭 37. 7. 31 プール開きを挙行
昭 37. ～ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
昭 41. 7. 1 体育館落成
昭 42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
4 ～ 9 七生中学校に三中分校設置
昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
昭 47. 3. 20 観察用水槽完成
5. 22 訪問学級開級式
昭 50. 5. 22 南校舎西側（4 階）増築工事完
成 訪問学級教室完成
7. 1 地番変更日野市南平 6-7-1
昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
昭 58. 4. 1 心障学級開設（2 教室改造）
5. 心障特別教室完成
昭 59. 5. 校庭南フェンス改修（歩道完成）
昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換
・外装吹付け工事実施

- 昭 60. 3. 廊下塗装工事実施
5. 給食棟（厨房・食堂）完成
昭 61. 3. 校庭南フェンス（高）延長
昭 62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会
を挙行
平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
2. 4. 相談（情障）学級を開級
3. 10. 体育館を改修
4. 3 コンピュータールーム工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
飯 塚 節 三	昭 22. 4 ～ 昭 25. 9
増 山 恒	昭 25. 10 ～ 昭 30. 10
飯 島 一 吉	昭 30. 10 ～ 昭 37. 3
木 村 巧	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
芳 西 幸 三	昭 40. 4 ～ 昭 44. 3
羽 崎 一 男	昭 44. 4 ～ 昭 47. 3
高 橋 太 一	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
吉 岡 孝二郎	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
山 本 保	昭 55. 4 ～ 昭 61. 3
川 崎 昭 三	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
村 田 志 信	平成元. 4 ～ 平成 4. 3
名 塚 三 雄	平成 4. 3 ～ 現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川に沿う静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に住宅が増えてきた。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、次のことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心を持とう。
- ・健全な心と身体を作ろう。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育活動全てにわたり人権尊重の精神を培い、生徒の個性を伸長し、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ② 基礎的・基本的な内容を身に付けるために各教科および学年間の連携を密にして、組織的・計画的な研究を日常的に進める。
- ③ 心身障害学級との積極的な交流を図ることを通して、障害児に対する理解を深め、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育てる。
- ④ 学区小学校、諸機関との連携を深め、生徒の健全育成に努めるとともに、学校5日制に伴い、地域の人々や文化と触れ合う機会を通して、地域との連帯感、地域への帰属意識を培い、地域に開かれた学校教育を進める。
- ⑤ 生命を尊び、健康で明るく活力のある学校生活を送ることを目指して、自ら進んで健康の保持、増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。
- ⑥ 自主性と創造性に富む集団の育成を目指して、話し合い活動を積極的に推進する。
- ⑦ 教科・学級での指導を通して、自国の文化や伝統に対する理解を深め、国際的な視野に立って行動できる生徒を育てる。

(3) 心障学級の目標

- ① 情緒・情操豊かで、健康な身体を育てる。
- ② 一人一人の発達段階に応じて、言語による表現活動（認識）を豊かに育てる。
- ③ 生活に必要な知識や技能を学び、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ④ 互いに命や個性を大事にし、助け合って働ける力を育てる。

(4) 相談学級の目標

- ① 登校のための援助を通して、生活のリズムを回復するよう努め、基本的な生活習慣を養う。
- ② 個別指導を中心として、継続してものごとに取り組む意欲を育て、豊かな人間性を養う。
- ③ 体験を豊かにし、判断力を養い、自ら行動できる自立心を養う。
- ④ 人間性を豊かにし、人権を尊重する対人関係を養い、社会性を育てる。
- ⑤ 学習に対する不安感を取り除きながら、学習の遅れを取り戻し、学習の習慣化に努める。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・指導内容・方法・評価の改善を通して、基礎的・基本的事項の指導を徹底し、生徒一人一人の個性の伸張を図るとともに、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- ・基礎的・基本的事項を徹底し、より一層の定着を図るために、2・3学年の外国語、3学年の社会、理科、保健体育、技術家庭の授業時数は下限を超えて定める。
- ・理科においてティーム・ティーチングを導入し、個に応じた指導法の研究を進める。

イ. 道徳

- ・健康で、明るく、他を思いやり、互いに協力する態度を育てる。
- ・物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てることを通して、社会規範

を身に付ける。

ウ. 特別活動

- ・学級活動・生徒会活動、クラブ活動を一層充実することを通して、生徒の自主的活動を積極的に援助し、一人一人の個性・能力の伸張を図る。

生徒が主体的に取り組む行事を行うことを通して、達成感・充実感を味わうよう指導する。

(2) その他の活動

- ・生徒理解を深めるための教育相談を充実し、生徒一人一人の内面を捉えることを通して、生活意欲の向上に努める。
- ・学校5日制と関連し、地域社会と結び付いた活動を充実し、地域の社会人講師を活用する。
- ・小学校、育成会との連携を通して、地域に開かれた学校教育を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・啓発・体験的な行事活動への取組みを通して、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- ・校則問題等、生徒による自治活動の場を積極的に援助することを通して、中学生として望ましい生活態度・基本的生活習慣を身に付けるよう指導する。
- ・多面的に保護者と話し合うことにより、保護者とともに生徒の個性を伸張する。

イ. 進路指導

- ・自己理解を深め、自分の特性に合った進路を選択するとともに、自ら向上し、生涯にわたって自己実現を図ろうとする態度を育てる。
- ・啓発的活動を重視し、生き方・在り方を考える指導の充実を図る。

6. 本年度の研究主題

「生きがいと自身を育てる進路指導」の在り方

7. 本校の特色

- 生徒は明るく素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して意欲的に活動している。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒会活動が盛んで、新入生を迎える会、三年生を送る会等の行事が、活発に行われている。
- 地区育成会や小学校とも連携して、開かれた学校づくりに努めている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	名塚 三雄（43. 特活）	柳沢 美澄（56. 英語）	瀬川 昭英（元、国語）
2	柳沢 美澄（55. 英語）	瀬川 昭英（63. 国語）	
3	瀬川 昭英（60. 国語）		
4	片倉 俊秀（62. 道徳）		
5	長坂 昌弘（元、音楽）		
6	岡田 洋子（元、障教）		



学 校 名 日野市立日野第三中学校

所 在 地 日野市程久保 650

電 話 0425-91-2228・2229

順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで
高幡台団地下車 徒歩7分

生 徒 数 男374名 女311名 計684名

校長氏名 福 島 良 樹

教頭氏名 三 浦 義 次

1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中
分校として、七生中学校内で授
業開始 生徒数26名、教職員
数12名
- 昭 45. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校
七生中学校内で授業 生徒数44
名、教職員14名、百草、高幡の
両団地を学区にする
- 昭 46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部、
三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加
える
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開校
記念日とする 校章・校歌を発
表
- 昭 48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭 59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅お
よび日本信販西部百草園住宅地
域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭 59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プー
ル管理棟竣工
- 昭 62. 3. 31 プール改修工事竣工
- 平 元・ 8. 31 集中コントロールガス暖房工事
竣工
- 平 2. 6. 22 クラブハウス竣工
- 平 2. 6. 26 校庭夜間照明施設竣工
- 平 2. 8. 13 給食棟竣工
- 平 2. 9. 28 給食開始
- 平 2. 11. 17 創立二十周年記念式典
- 平 4. 5. 20 校庭改修工事着工

- 平 4. 7. 27 体育館改修工事着工
- 平 4. 10. 3 校庭改修工事完了
- 平 4. 10. 20 体育館改修工事完了
- 平 5. 4. 26 パソコン教室工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭 45. 9 ～ 48. 3
松 延 耕 作	昭 48. 4 ～ 53. 3
田 中 引 明	昭 53. 4 ～ 56. 3
長 岡 宗 次	昭 56. 4 ～ 59. 3
千 葉 廣 志	昭 59. 4 ～ 63. 3
清 水 春 海	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
高 木 宏 文	平 3. 4 ～ 平 6. 3
福 島 良 樹	平 6. 4 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遥か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などあって、文教地区を形成している。

4. 教育目標

- (1) 人権尊重の精神を基調に国際社会に活躍できる心身ともに健かな人間を育成するため次の目標を定める。「自ら判断し、責任をもって実行する人となる。」
- 自ら学び、考え工夫する人
 - 自然や人々を大切にすること
 - 自ら心身を鍛え、やりぬく人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標を具体化した学年・学級目標を設定し、それに基づいて学年・学級経営の充実を図る。
- ② 指導方法の改善、工夫、基礎基本の重視をするため、パソコン、VTRなど視聴覚機器の利用やティームティーチング・外国人講師を導入し、生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ③ 修学旅行の自主学習を始め、学年・生徒会行事・委員会の諸活動を通して、生徒の自主的実践的な特別活動を充実させるとともに、満足感のある学校生活を送らせる。
- ④ 行事の精選や授業内容の精選をはかり、ゆとりのある学校生活を送らせる。
- ⑤ ティームティーチングや外国人講師の導入による効果を通し、研究・実践部門の活性化と充実を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・教材を基礎的・基本的な内容への一層の精選を図り、自ら選ぶ意欲を大切にし、自主的な学習を促進する。特に、T・Tの導入により基礎的学力を向上させ、AETの導入においては基礎的英会話力を身につけさせるとともに、国際理解を役立たせ一助とする。
- ・視覚に訴える機器、VTR・パソコンなどを活用し工夫することにより、生徒によりわかりやすい授業を展開する。
- ・指導と評価の一体化により、学習意欲の増大を図る。

イ. 道徳

- ・他領域との関連を図りながら豊かな心を育てる。自主的判断のもとに責任ある行動ができる生徒を育てるよう、指導内容を工夫する。豊かな体験を通して思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ. 特別活動

- ・学級・学年内の小集団を基本に、学校行事等に主体的に取り組ませ、協力し、力強く生きていく能力を育む。諸行事における班活動や、学校行事での兄弟学級の活動を通して、生徒の自主的活動の力を育てる。
- ・生徒会活動に重点をおき、各委員会为重点目標を設定し、生徒の自主的・体験的な活動を重視する。また、清掃活動などを通して、勤労生産・奉仕活動の充実を図る。
- ・地域の中での交流を通して、心や身体に障害のある人への正しい理解を培い、思いやりの心を育てる。

(2) その他の活動

- ・落ち着きと潤いのある学校生活を送らせるため、清掃美化指導の徹底を図る。あわせて、地域環境美化につとめるため、リサイクルボックスの利用・空き缶の回収を行う。
- ・諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主的・自律的な活動ができるように指導にあたる。
- ・地域の小学校・養護学校との交流を図り、相互の理解を深めるため、小学校との交流会を行い、養護学校生徒を合唱祭に招く。
- ・移動教室においては、校内では経験できないスポーツを体験するとともに地域では経験できない自然に親しむ機会を与える。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・自ら正しく判断することを基本に、自律ある生活態度を身につけさせる。具体的には、「時間のけじめをつける」「話を聞く態度を養う」を2本の柱として指導をする。

- ・教育相談を充実させ、学校生活への適応に関する指導をする。
- ・問題行動に対する指導は、全教職員の共通理解に基づき、一致した指導の徹底をめざす。

イ. 進路指導

- ・各学年に応じた系統的指導の徹底をめざし、生き方に関わる指導を充実させる。1年の職業調べ、2年の進路指導行事、3年の卒業生の話聞く会を通して、具体的に自己の進路を考えさせる。
- ・教師、生徒、保護者の緊密な交流を図り、進路情報を有効に活用し、適切な進路選択ができるようにする。

6. 本年度の研究課題

ア. 主題「個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫」

イ. 研究内容

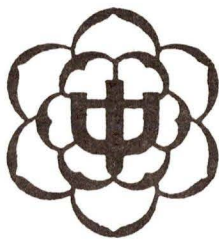
- ① 主体的に学習させる授業研究
- ② 自主、自律、思いやりの心を育てる道徳の進め方
- ③ 自主的活動を促進する生徒指導
- ④ 各学年に応じた進路指導の検討

7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校24年目で、学級数は19、学区内の小学校は、潤徳小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。
- 学校、地域環境美化のため、リサイクルボックス利用、空き缶回収を行う。

8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	大 宅 寛(42音)	伴 野 博 夫(55美)	現代化、高木 宏文(51特活)
2	高 木 宏 文(46数)	橋 陽 臣(57体)	海外派遣、長期 高木 宏文(2)
3	三 浦 義 次(46技)	福 島 良 樹(57教)	
4	飯 島 利 三(47技)	鈴 木 渉(59音)	
5	福 島 良 樹(52理)	乙 黒 義 夫(2国)	
6	乙 黒 義 夫(57国)		
7	飯 島 利 三(60課)		
8	乙 黒 義 夫(62書)		
9	横 溝 雅 之(2保体)		
10	片倉俊秀(63.3道・元2性教)		
11	辻 野 良 子(4道徳)		
12	山 口 俊 浩(4保体)		
13	井 上 義 孝(5技)		



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭が丘 2-42
電 話 0425-83-3905・3906
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩 17 分
バス（長房団地行、都立科学技術大学下車 5 分）
生 徒 数 男 356 名 女 346 名 計 702 名 19 学級

校長氏名 高 橋 和 子

教頭氏名 酒 井 徳 行

1. 沿革の概要

- 昭 47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置
8. 21 校舎起工式（工事費 19 億円施工
小田急建設）
12. 7 学区決定
昭 48. 1. 18 屋内体育館着工
3. 26 都教委・第四中学校設立を認可
4. 1 初代校長 河村俊一郎氏以下
教員 24 名発令・開校
7. 2 屋内体育館完成 使用開始
（工費約 4,600 万円 施工 小
田急建設）
7. 18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール完成（工費 2,700 万円）
10. 13 校歌作詞完成
10. 16 校章決定、教育目標設定
11. 10 校歌作曲完成（寺原伸夫氏）
11. 16 校旗完成
11. 17 落成式挙行
11. 22 第一回開校記念日
昭 49. 2. 2 標準服制定
5. 30 保健室 冷房装置取り付け
7. 1 増築工事開始
7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け
9. 6 駐車場舗装（体育館西側）
昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
3. 8 増築部完成 校舎 3 スパン
機械室 工費約 1 億 6 千万円
施工 小田急建設
4. 26 テニスコート完成
校庭の校舎に U 字溝設置
昭 51. 1. 16 図書館開館
昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄氏着任

- 昭 52. 9. 13 第三期工事開始、東端 3 スパン、
美術室を理科室に改造
（工費 9,500 万円 施工 小田
急建設、年度末完成）
昭 53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置
昭 54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置
昭 55. 1. 18 仮称八中（現平山中）学校準備
委員会発足
6. 26 校庭南側に防球フェンス設置
昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲氏 着任
昭 58. 4. 10 学校警備、機械化となる
11. 21 創立十周年記念式典挙行
校歌碑建立・除幕
昭 59. 8. 1 体育館床の研磨
昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司氏 着任
昭 62. 1. 17 給食棟建設工事着工
9. 30 給食棟及びテニスコート（全天
候型に）改修
昭 63. 4. 1 五代校長 桑原和正氏 着任
5. 16 給食開始
平成 2. 8. 18 西側校舎外壁塗装
平成 3. 7. 21 東側 “
平成 4. 4. 1 六代校長 高橋和子氏 着任
平成 4. 9. 30 校庭の全面改修工事終了
平成 5. 11. 5 開校 20 周年記念式典

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
河 村 俊一郎	昭 48. 4. 1 ～ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ～ 56. 3. 31
花牟礼 哲	昭 56. 4. 1 ～ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ～ 63. 3. 31
桑 原 和 正	昭 63. 4. 1 ～ 平 3. 3. 31
高 橋 和 子	平 4. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく昭和12年、小西六写真工業(株)(六桜社)、昭和18年富士電機製造(株)の進出まで、ほとんど見るべきものはなかった。

しかし、戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

平和で民主的な国家社会の形成者として世界にひらかれた日本人の育成をめざし、つぎの目標をさだめます。

- 一、よく考え、自ら学ぶ人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人
- 一、他を思いやり、責任ある行動をとる人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標を達成するため、以下の点を特に配慮し基本方針を設定する。

- 「望ましい人間関係の育成」をめざす健全育成を推進する。
- 「個を生かす教育」を推進するために、教育相談活動の充実に努める。
- 「心豊かな生徒の育成」をめざし、情操教育を充実させる。
- ティームティーチングなどにより指導法の改善を図る。

1. 各教科・領域及び学年の指導目標を学校教育目標との関連において明確にし、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。
2. 生徒の自主的活動を重視した行事、および学年・学級経営の充実をめざし、研修・実践に努める。
3. 基礎的・基本的な内容を重視する上に個に応じた指導に努めるため、上限下限の時数を示された教科については、3年保健体育を除き上限の時数とする。
4. 生徒理解を深めるため、余裕教室を教育相談室として活用するとともに諸会議の効率化を図り、学校裁量の時間を計画的に運用し日常的な教育相談活動の充実を図る。
5. 学ぶにふさわしい教育環境の整備、美化に努め、あわせて地域の自然や文化を大切にする態度を育成する。
6. 地域・家庭との連携を密にし、理解と協力を得て、教育目標の達成を図る。
7. 学校週五日制への対応については、地域・家庭に理解を得られるように配慮する。
8. 教師としての力量を高めるため、研修の充実・指導資料の収集・活用を図る。

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材等の精選につとめ、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人一人の能力の伸長に努める。
3. 各生徒の学力を明確に把握し、個に応じた指導法を工夫する。

イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切にする心を養う。
3. よく考えて行動し、結果に責任を持って着実にやりぬく強い意志を養う。
4. 各学年の発達段階に応じて、生き方在り方などの指導を充実し、よりよい生き方を考えさせる。
5. 八王子東養護学校をはじめ近隣の福祉施設との交流を進め、生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進を図る。

ウ. 特別活動

1. 教師と生徒、生徒相互の心のふれ合いを深める。

2. 生徒自身が自己の役割や責任の自覚を深め、集団の一員としてよりよい集団生活を送れるよう社会性を育む。
3. 諸活動を通して、生徒の能力や個性を的確にとらえ、個を生かす場の設定と伸長に努める。
4. 学級活動と生徒会活動との関連を深めて、生徒の主体的な活動を充実する。
5. 生徒の手による「泰花祭体育の部」と「泰花祭文化の部」を創り上げる過程を通して生徒会活動や学級活動の充実を図り、生徒一人一人が満足感を得られるようにする。
6. クラブ活動は、部活動によって代替し、年間の計画のもとに実施する。

(2) その他の活動

充実した中学校生活を送らせるために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的体験的活動を重視する。
2. 生徒一人ひとりの学習や生活の悩みを解決するため、教育相談活動を充実し、生徒理解を深める。
3. 「八王子東養護学校との交流」や「旭が丘ふれあいマラソン大会」など生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進に努める。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

1. 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、家庭・地域との連携を密にし、生徒の健全育成に努める。
2. 身近な環境の清掃活動や整備に努めさせ、ものを大切にする心や勤労意欲を向上させる。
3. 心身の健康安全に対する指導の充実を図り、事故防止に努める態度を養う。
4. 学級活動や学校行事などを通して、集団生活の意義や個人の果たす役割を理解させ、主体的に判断できる態度を養う。
5. 一人ひとりの生徒について正しい理解を深めるため、教育相談活動を充実する。
6. 生徒による全校集会・学年集会などの企画運営を通して、社会性を高める指導に努める。
7. 校則検討委員会を設置し、学校生活のきまりを検討する。

イ. 進路指導

1. 3年間の系統的な指導で自己理解を図り、生徒一人ひとりが将来の進路を主体的に選択する能力と態度を育成する。
2. 各教科の学習活動を通して人間の生き方在り方に触れる指導の工夫をする。
3. 図書室に進路コーナーを設けるなど、図書資料等の情報を有効に活用し、主体的に進路を選択する能力の育成を図る。
4. 各学年の発達段階に応じた進路指導の研修に努め、3年間を見通した進路指導の充実を図る。

6. 本年度の研究主題

「人権尊重教育の推進」―望ましい人間関係を育成する指導のあり方―

7. 本校の特色

- (1) 教育活動 各領域の調和を保ちながら、明るく活力ある校風を育てる。
 - ア. 授業 生徒の理解を深める指導法の研究に努め、生徒の自ら学ぶ態度を育てる。
 - イ. 特別活動 学級活動、生徒会活動、部活動と学校行事の調和をめざし自主・自立の心を育てると共に、感動体験を多く得られる活動をめざす。
- (2) 健全育成の推進……東京都健全育成推進校として健全育成の推進に努める。
- (3) 父母との連携……学級・学年父母会・地域懇談会などにより、共通理解をふかめ連携を図る。
- (4) 美化・緑化の推進……清掃のゆきとどいた校舎内外の環境美化に努める。
- (5) 体験学習の推進
 - ・八王子東養護学校や光の家との触合いマラソン等の交流を通して、共に生きる豊かな心を育てる。

8. その他（教職員の研修歴）

№	研 究 員			開 発 委 員			研 究 生		
1	高橋和子	38	保健体育	村上敏雄	62	音 楽	村上敏雄	51	音 楽
2	高橋和子	40	特別活動	酒井徳行	63	特別活動			
3	高橋和子	43	学校保健	高麗隆治	4	英 語			
4	村上敏雄	47	音 楽						
5	高麗隆治	63	英 語						
6	鈴木直也	5	保健体育						



学 校 名 日 野 市 立 三 沢 中 学 校
所 在 地 日 野 市 三 沢 1-17-4
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園より西へ徒歩10分
高幡不動駅より東へ徒歩12分
生 徒 数 男271名 女264名 計535名

校長氏名 山 崎 妙 子

教頭氏名 深 山 睦 弘

1. 沿革の概要

昭 51. 9. 18 仮称 5 中学校校舎起工式
昭 52. 2. 1 初代校長 古川 豊発令
4. 1 日野市立三沢中学校開校 教頭
以下教職員 22 名発令
4. 6 始業式（2 年 156 名、3 年 147
名
4. 7 第 1 回入学式（1 年 188 名、
全校生徒 491 名）
9. 16 第 1 回開校記念日
昭 53. 3. 22 第 1 回卒業式（男 80 名 女 66 名）
4. 7 第 2 回入学式（男 109 名 女 85 名）
昭 54. 3. 19 第 2 回卒業式（男 75 名 女 88 名）
4. 7 第 3 回入学式（男 111 名 女 91 名）
昭 55. 3. 18 第 3 回卒業式（男 93 名 女 91 名）
4. 8 第 4 回入学式（男 107 名 女 105 名）
昭 56. 3. 20 第 4 回卒業式（男 105 名 女 86 名）
4. 6 第 5 回入学式（男 131 名 女 94 名）
昭 57. 3. 19 第 5 回卒業式（男 108 名 女 95 名）
4. 1 二代校長 降旗経雄発令
4. 7 第 6 回入学式
（男 137 名 女 108 名）
昭 58. 3. 19 第 6 回卒業式
（男 110 名 女 108 名）
4. 7 第 7 回入学式
（男 107 名 女 122 名）
18 学級 教職員 35 名
昭 59. 3. 19 第 7 回卒業式（男 130 名 女 95 名）
4. 1 校舎増築、給食室完成
4. 7 第 8 回入学式
（男 174 名 女 161 名）
昭 60. 3. 19 第 8 回卒業式
（男 136 名 女 102 名）
3. 31 西側第二グラウンド完成

昭 60. 4. 8 第 9 回入学式
（男 171 名 女 153 名）
昭 61. 3. 20 第 9 回卒業式
（男 110 名 女 119 名）
3. 31 前庭、中庭緑化完成
4. 8 第 10 回入学式
（男 169 名 女 170 名）
24 学級 教職員 55 名
昭 62. 3. 20 第 10 回卒業式
（男 174 名 女 169 名）
4. 1 三代校長 綿引正己発令
4. 7 第 11 回入学式
（男 173 名 女 142 名）
23 学級 教職員 55 名
11. 7 創立 10 周年記念式典
昭 63. 3. 18 第 11 回卒業式
（男 175 名 女 164 名）
4. 7 第 12 回入学式
（男 142 名 女 129 名）
23 学級 教職員 56 名
平 元. 3. 20 第 12 回卒業式
（男 170 名 女 168 名）
4. 7 第 13 回入学式（男 132 名 女 97 名）
21 学級 教職員 50 名
平 2. 3. 20 第 13 回卒業式
（男 173 名 女 142 名）
4. 1 四代校長 阿部忠志発令
4. 7 第 14 回入学式
（男 129 名 女 111 名）
18 学級 教職員 44 名
平 3. 3. 20. 第 14 回卒業式
（男 142 名 女 123 名）
4. 8 第 15 回入学式
（男 96 名 女 103 名）
17 学級 教職員 42 名

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
古 川 豊	昭52. 2. 1 ～ 57. 3. 31
隆 簇 経 雄	昭57. 4. 1 ～ 62. 3. 31
綿 引 正 己	昭62. 4. 1 ～ 平2. 3. 31
阿 部 忠 志	平 2. 4. 1 ～ 平5. 3. 31
山 崎 妙 子	平 5. 4. 1 ～ 現 在

平 4. 3. 19 第15回卒業式(男133名 女99名)
 4. 7 第16回入学式(男108名 女86名)
 18学級 教職員 42
 平 5. 3. 19 第16回卒業式(男136名 女111名)
 4. 1 五代校長 山崎妙子発令
 4. 7 第17回入学式(男86名 女101名)
 15学級 教職員 40
 平 6. 3. 19 第17回卒業式(男97名 女106名)
 4. 7 第18回入学式(男80名 女78名)
 14学級 教職員 38

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区域は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科、各領域の調和とそれぞれの充実により、学習の基礎的・基本的内容の定着を図る。
- (2) 生徒と教師、生徒相互の理解を深め、一人一人を生かす指導を充実する。
- (3) 学校週五日制の拡大を念頭に、指導内容の精選、指導方法の工夫に努め、現行の教育水準を維持する。
- (4) 健康・安全の指導を充実、体位、体力の向上に努めるとともに、集団の一員としての自覚ある態度を育てる。
- (5) 教育環境を整えるとともに、生徒の自主的・自治的能力の育成に努め、明るく生き生きした校風を確立する。
- (6) 保護者、地域と連携し、その役割を明確にし、一体感のある指導体勢を高め、社会の信頼に応える。

◆指導の重点

(1) 各教科

自ら学ぶ意欲を高める指導を推進する。そのために

- ア. 指導内容を精選、工夫し、基礎・基本の指導の徹底に努める。
- イ. 生徒の自主的な学習活動、体験的な学習活動、地域の教材を生かした教育活動等を重視した指導の推進に努める。
- ウ. 情報の収集や活用能力を高める指導の推進に努める。

(2) 道 徳

- ア. 人権尊重の精神を基本に据え、自他を尊重し、認め合い、支え合い、励ましあう態度の育成に努める。
- イ. 自然や美的なものを愛する豊かな心を育てる指導に努める。
- ウ. 郷土を愛する心、地域社会の一員としての自覚を育くむ指導に努める。

(3) 特別活動

- ア. 望ましい集団活動を育成し、自己実現をはかる能力の向上に努める。特に、生徒会活動、学級活動の活発化とともに、学年、学級単位の活動の創意工夫に努める。
- イ. 自主性、自律性の向上を目指す指導の推進に努める。そのために自己理解の深化、集団の一

員としての自覚の高揚、進んで生活課題の解決に取り組む態度の育成に努める。

ウ．学校行事を体験的な学習の機会として生かし、個性、創造性の伸長に努める。

(4) その他の活動

ア．校舎外の美化活動を通して、連帯感や奉仕の心を育てる。

イ．特別活動と関連させ、学年・学級の独自性を生かし、明るく楽しい学校生活を創造する意欲や態度を育てる。

ウ．外国人英語指導助手の活用を図り、国際理解教育の拡充に生かす。

エ．個別指導を工夫し、学力補充、学校不適応生徒の指導に取り組む。

(5) 生活指導

ア．教育相談の手法を取り入れ、教師と生徒との心の触れ合いを深め、全教職員のまとまりのある指導を徹底する。

イ．健康・安全についての理解を徹底し、規則正しい態度を身につけさせる。

ウ．進んで協力し、責任を果たす態度を育てる。

エ．集団生活のきまりを守り、明るい学校生活を送らせる。

オ．余暇を有効に利用できるようにするため、主体的に行動できる態度を育てる。

(6) 進路指導

ア．3年間を見通した進路指導を整備し、適時、適切な指導を工夫する。

イ．将来の希望や期待をもたせ、目標達成への意欲を高める。

ウ．個性、能力の理解を深め、進路選択を適切に援助する。

5. 本年度の研究主題

生徒理解（文部省生活指導の研究指定校として遅進児の指導のあり方、TT研究などの授業研究から多面的に生徒理解に迫る）

6. 本校の特色

本校は開校以来 17 年が経過し、教職員の努力と地域、父母の協力により、学校の基礎が確立されたところである。また平成 3 年度にコンピュータ室も設置され、情報教育にも力を入れるなど体験的な活動、生徒の創意を生かす教育も定着しつつある。また、今年度より 2 年間文部省の指定を受け、生活指導の推進校として研究を進めることになった。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明るく伸びやかな雰囲気大切にしている。その中で自ら考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成をめざしている。このことを可能にするため、授業研究、行事の充実、生徒理解のための校内研修を重視している。

7. その他（教職員の研究歴）

教育研究員	開 発 委 員	道徳助言研	研 究 生
深山 睦弘（60.英語）	深山 睦弘（61.英語）	山崎 妙子（46.47年度）	中野 秀樹（平3.社会）
	中野 秀樹（61.社会）	中野 秀樹（55年度）	
	磯部 博子（平6.国語）		



学 校 名 日野市立大坂上中学校
所 在 地 日野市大坂上4-17-1
電 話 0425-83-9755・9756・9696 FAX 0425-83-9696
順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分
生 徒 数 男326(6) 女305(4) 計631(10)
()内 心障学級生徒数

校長氏名 伴 野 博 夫

教頭氏名 鈴 木 渉

1. 沿革の概要

昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任
4. 1 日野市立大坂上中学校開校
教頭以下教職員37名発令
4. 7 始業式(2・3年449(15)名
4. 8 第1回入学式 272(2)名
5. 15 校舎・校庭工事完成
6. 6 体育館工事完成
6. 28 プール工事完成
7. 12 落成式挙行
8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定
11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成
11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌発
表会挙行
昭56. 3. 9 第1回卒業式 244名
4. 7 第2回入学式 262(12)名
昭57. 3. 19 第2回卒業式 222名
4. 7 第3回入学式 225(7)名
昭58. 3. 9 第3回卒業式 292名
3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、
普通教室4完成
4. 7 第4回入学式 269(5)名
昭59. 3. 19 第4回卒業式 285名
4. 7 第5回入学式 317(6)名
昭60. 3. 19 第5回卒業式 257(4)名
4. 8 第6回入学式 284(4)名
昭61. 3. 20 第6回卒業式 270(5)名
4. 8 第7回入学式 336(5)名
昭62. 3. 20 第7回卒業式 320(6)名
4. 7 第8回入学式 307(3)名
昭63. 3. 18 第8回卒業式 285(4)名
4. 1 第2代 名塚三雄校長着任
4. 7 第9回入学式 278(4)名
平元 3. 20 第9回卒業式 334(6)名

平元 4. 7 第10回入学式 244(1)名
平 2. 3. 20 第10回卒業式 296(3)名
4. 7 第11回入学式 242(4)名
平 3. 3. 20 第11回卒業式 276(3)名
平 4. 4. 8 第12回入学式 241(3)名
3. 19 第12回卒業式 243(1)名
4. 1 第3代 伴野博夫校長着任
4. 7 第13回入学式 214(3)名
平 5. 3. 19 第13回卒業式 240(5)名
4. 7 第14回入学式 183(5)名
平 6. 3. 19 第14回卒業式 247(3)名
4. 7 第15回入学式 226(2)名

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
1	長谷川 辰 美	昭55. 2. 1 ～ 63. 3. 31
2	名 塚 三 雄	昭63. 4. 1 ～ 平4. 3. 31
3	伴 野 博 夫	平 4. 4. 1 ～ 現在

3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。
また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11
年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)
のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も
多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接し
ており、教育環境は良好である。

4. 教育目標

広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向
上しつづける人になろう。

- ① よく考え、進んで学ぼう。(知性)
- ② 思いやりの心をもち、他につくそう。敬愛)
- ③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。(健全)

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 授業規律の確立を図り、生徒一人一人が主役となるよう小集団による主体的・創造的な学習活動や地域の素材等を生かした指導等を取り入れた授業を展開する。
- 基礎学力の充実を図り、学習の遅れがちな生徒への対策を図る。
- 各教科の学習活動で、教育機器や学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し、活用していく能力と態度を育てる。

イ. 道徳

- 正しい道徳的判断力と思いやりの心を培う。
- 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- 学校生活全体を通して系統的に、道徳的实践力を育てる。
- 年間指導計画の整備を図り、道徳時間の確保と充実に努める。

ウ. 特別活動

- 自主性を育て、主体的な実践活動を通して充実した学校生活を送らせる。
- 体験を重視した行事を通して、社会性を培い、感動の奉仕の心を養う。
- 歌声の響く学校づくりを通して、みずみずしい感性と豊かな心を培う。
- 心身障害学級との交流を積極的に図り、生徒・保護者・並びに全教職員の理解を深める。

(2) その他の活動

- 落ち着きと潤いのある学校生活の中で、喜びと生きがい育てるために清掃美化教育の徹底を図る。
- 外国人講師等を招いて進路指導の充実を図り、国際的視野を広げる教育の推進を図る。
- 委員会や学級の係活動等を計画的に行うとともに、リサイクル運動を展開し、環境に配慮した望ましい働きかけのできる技能や判断力を育てる。
- 教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう、学年、学級の諸活動の充実に努める。
- 各種委員会等の活動を活発にし、一人一人を生かす教育活動の充実を図る。
- 地域の社会人講師を活用等、地区育成会との交流を深め生徒の視野を広げると共に、地域の教育力を学校教育へ取り込むようにする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 生徒一人一人の自らを律する態度の育成を図る。
- 規律ある学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図る。
- 共通理解から共通実践へ、職員の指導体制の一層の充実を図る。
- 生徒一人一人との対話を重視し、生徒が納得する指導に努める。
- 言語に対する意識や関心を高め、言語活動の適正化を図る。
- 不登校生徒への対応については、関係諸機関との相談や連携を図り、家庭との連絡を密に取りながら、一日も早く登校できるよう改善に努める。

イ. 進路指導

- 生徒が広い視野にたって、自己の能力と適性を伸ばし、目的意識をもって将来の進路を選択すると共に、生涯をたくましく意欲的に生きつづける力を育てるよう系統的、計画的な指導の充実に努める。
- 外国人留学生や地域の社会人講師等との交流を通し、啓発的経験を重視し、生き方・在り方を考えさせる指導の充実を図る。
- 進路選択に当たっては、生徒の能力・適性や進路希望等に基づいて適切に助言・援助することができるよう指導内容・方法の改善・充実に努める。

6. 本年度の研究主題

一人一人を生かす進路指導の研究

7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校 14 年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢 30 年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢 100 年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58 年度より学校給食が始まり 396 名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

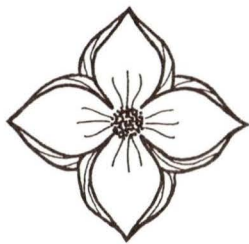
また本校は心身障害学級設置校であり、交流学习等教育内容の充実に努めている。幸いにして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成六年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備し、安全・清潔・静粛な学校の維持・向上につとめていく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心をもち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1	伴野 博夫(46.美術)	伴野博夫(55.美術)		佐藤至正(59.進路中央研)
2	田熊 裕(49.数学)	鈴木 渉(59.音楽)		鈴木 渉(H元.道徳助言)
3	渡辺やす子(H3.家庭科)	佐藤至正(60.技術)		
4	宇田川 修(H4.心障)	成瀬 誠(60.特活)		
5		木嶋 健(62.社会)		
6		山田よし子(H元.音楽)		
7		高橋陽子(H4.美術)		



学 校 名 日野市立平山中学校
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3
電 話 0425-93-3015
順 路 JR中央線豊田駅下車 徒歩18分
京王線 南平駅下車 徒歩10分
生 徒 数 男子237名・女子220名・計457名

校長氏名 中 根 勉

教頭氏名 辻 野 良 子

1. 沿革の概要

- 昭55. 6. 14 校舎建設工事着工
昭56. 2. 1 初代校長 河野 寿忠着任
3. 26 校舎使用開始
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭29名
主査1名 市職員11名着任
4. 7 第一回入学式挙行（男子137名
女子140名 計277名 7学級）
5. 6 市内中学校最初の完全給食開始
5. 27 プール完成
8. 21 体育館完成
12. 25 校旗完成
昭57. 1. 7 校歌完成
2. 6 校歌、校章発表会
昭58. 1. 24 平山中PTA規約成立
4. 1 第二代校長 川崎 昭三着任
昭61. 4. 1 第三代校長 高木 宏文着任
平 元 8. 31 図書室（四階）の改修完了
平 3. 4. 1 第四代校長 北原 景昭着任
11. 9 10周年記念式典
平 4. 4. 13 食堂建設工事完了
平 5. 4. 26 パソコン室工事完了
平 6. 4. 1 第五代校長 中根 勉着任

2. 歴代校長

氏 名	在 職 期 間
河 野 寿 忠	昭56. 2. 1～58. 3. 31
川 崎 昭 三	昭58. 4. 1～61. 3. 31
高 木 宏 文	昭61. 4. 1～平3. 3. 31
北 原 景 昭	平 3. 4. 1～平6. 3. 31
中 根 勉	平 6. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

多摩丘陵北部に開けた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先を京王線が走り、校舎北側は、堤防道路を隔てて浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境に恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴い、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増がみられたが生徒数は昭和62年度を峠に漸減に向かっている。

保護者の教育への関心は極めて高い。

4. 教育目標

本校は、憲法・教育基本法の示すところに従い、学力・体力の基礎とゆたかな情操を身につけることを教育の基本とし、生涯を通じて学び続ける人間を育てることを目標とする。

1. 考え、工夫する人

1. 協力し、進んで働く人
1. 自然や人々を、大切にすること
1. 心身を鍛え、やりぬく人

5. 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- ・基礎・基本を大切にし、わかりやすい授業、楽しい学習を展開し、個性を伸ばす指導法や教材に工夫をこらす。
- ・教育機器や学校図書館の活用を通し、生徒が積極的に主体的に情報を選択する力を養うとともに、機器操作の基本を学ぶ機会を通し、情報社会への適応能力を高める。
- ・地域の自然、文化を教材や教育活動に取り入れる。
- ・基礎学力の充実を図り、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。
- ・体験学習を通し情操教育を充実させ豊かな感性を養う。

イ. 道徳

- ・温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心身の育成を図る。
- ・ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇気をもって実践する態度を養う。
- ・全教育活動を通して、人間としての生き方についての自覚を深め道徳的实践力を育成する。

ウ. 特別活動

- ・生徒会・クラブ・部活動・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯感の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- ・1年野外活動・2年スキー教室・3年修学旅行などを実施し、各学年の発達段階に応じた協力・思いやり・責任感等の心を育てるとともに、物事を計画的・組織的に進める能力や態度を養う。

(2) その他の活動

- ・教育相談・個人面談・進路相談の実施をおしすすめる。
- ・基礎的な学力を身につけるための自主活動、補充学習・質問教室など計画的にすすめる。
- ・生徒会活動を通じて、浅川の清掃活動やリサイクル活動などボランティア活動を積極的にすすめる。

(3) 生活指導、進路指導

ア. 生活指導

- ・生徒が主体的に運営する集会活動などを計画的に実践し、望ましい生活集団や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- ・個人面談、教育相談などを通して、生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、豊かな人間関係を育てる。
- ・全教職員が一致して指導する体制をつくって、問題傾向には早期に対応策を構じ、家庭や関係諸機関との連携を密にして、全生徒の健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- ・個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、3年間を見通した計画的、系統的な指導を実施する。

6. 本年度の研究主題

「生徒の主体性を生かした指導の工夫・改善」

——学年、学級、学習及び進路の指導において——

7. 本校の特色

開校14年目の学校で、生徒一人ひとりの個性を尊重し、生徒一人ひとりを大切にする教育を基本としている。

○生徒が自信と誇りを持って生き生きと学んでいる学校

○生徒のために力一杯やろうとする教師のいる学校

○生徒を取り巻く教育環境のよい、活気に満ちた学校

8. 教職員の研究歴

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生	そ の 他
1	中 根 勉 (56. 教育課程)	中 根 勉 (62. 社会)	坂 井 悦 子 (元. 理 科)	中 根 勉 (63. 海外派遣)
2	辻 野 良 子 (4. 道 徳)	北 野 一 也 (4. 保 体)		北 野 一 也 (5. 海外派遣)
3	池 田 純 二 (元. 数 学)			
4	渡 邊 淳 (元. 3. 英語)			

